

令和2年版

# 小金井の教育



小金井市教育委員会



## 小金井市市民憲章

昭和54年3月20日

武蔵野のゆたかな緑にかこまれた小金井市は、水清い泉のむらからおこり、名勝小金井桜の地として人々に親しまれ、環境のよい文教住宅都市として発展してきました。

私たちは、この自然と伝統を生かすとともに、人々の心のふれあいをたいせつにし、真に住みよいまちづくりのために市民憲章を定めます。

私たち小金井市民は

- 1 平和をねがい、健康と安全を守り、生活環境の充実につとめ、あかるいまちをつくりましょう。
- 1 あすをになう青少年をはぐくみ、情操ゆたかな、気品あるまちをつくりましょう。
- 1 友愛と連携のもとに、市民の自治をとうとび、調和ある、いきいきとしたまちをつくりましょう。
- 1 たがいに人権を尊重し、みんながしあわせになるように助けあい、うるおいのあるまちをつくりましょう。
- 1 緑ゆたかな自然と、貴重な文化財を守り、次の世代に誇りうる、美しいまちをつくりましょう。

## 男女平等都市宣言

平成8年12月3日

私たちは、誰もが人間として尊ばれ、また、自らの個性にあった生き方を自由に選択できる社会を願っています。

そのため、個人の尊厳と両性の平等を基本理念として社会的、文化的、歴史的な性差を排し、職場、家庭、学校、地域などすべての領域での真の平等をめざして、ここに「男女平等都市」を宣言します。

- 1 私たちは、人権を尊重し、互いの性を認め支えあい、いきいきと充実した人生がおくれる男女平等の「小金井市」をめざします。
- 1 私たちは、一人ひとりが共に個性や能力を発揮し、社会のあらゆる分野に男女が共同参画できる「小金井市」をめざします。
- 1 私たちは、男女が共にかげがえのない地球の環境を守り、平和と平等の輪を世界へ広げる「小金井市」をめざします。

## 発刊にあたって

このたび、令和2年版「小金井の教育」を刊行することになりました。

本冊子は、学校教育、生涯学習の分野でどのように取り組んできたかをまとめたものです。

第Ⅰ編には、令和2年度教育施策の概要及び学校紹介を掲載しています。

第Ⅱ編には、平成30年度・令和元年度の主要事業を掲載するとともに、事業の実績を掲載しました。

小金井の教育をご理解いただくための資料として、少しでもお役に立てれば幸いです。

令和3年2月

小金井市教育委員会



# 目 次

## 発刊にあたって

### 第Ⅰ編

1	小金井市教育委員会の教育目標	1
	・小金井市教育委員会の基本方針	2
	・教育目標・基本方針・各計画・教育施策の関係	3
	・第2次明日の小金井教育プラン概要	4
	・第3次小金井市生涯学習推進計画 施策の概要	5
	・小金井市教育委員会令和2年度教育施策	6
2	学校紹介	11

### 第Ⅱ編

1	教育委員会	27
1	1 教育委員会の制度	27
2	2 教育委員会のしくみ	27
3	3 教育長及び教育委員	27
4	4 歴代教育長及び教育委員	28
5	5 教育委員会の組織と事務分掌	32
6	6 教育委員会・教育機関の職員数	33
2	教育財政	35
1	1 教育費決算額と財源内訳	35
2	2 教育費決算の推移	36
3	3 市立小・中学校施設保有状況	37
4	4 児童・生徒数の推移と進路状況	38
3	学校教育	41
1	1 事業概要	41
2	2 学校保健	46
3	3 学校給食	48
4	就学奨励・教育相談・適応指導他	50
1	1 就学奨励	50
2	2 教育相談	50
3	3 もくせい教室	53
4	4 市立以外の幼稚園・学校一覧	53
5	生涯学習	55
1	1 生涯学習の概要	55
2	2 社会教育委員	57
3	3 各種事業	57
4	4 社会教育関係団体	63

<b>6</b>	<b>文化財・市史編さん</b> . . . . .	64
	1 文化財 . . . . .	64
	2 市史編さん . . . . .	69
	3 市制施行60周年記念事業(平成30年度) . . . . .	70
<b>7</b>	<b>社会体育</b> . . . . .	72
	1 社会体育のあゆみ . . . . .	72
	2 スポーツ推進委員 . . . . .	72
	3 スポーツ団体等の育成・支援 . . . . .	72
	4 各種事業 . . . . .	73
	5 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組 . . . . .	76
	6 体育施設 . . . . .	77
<b>8</b>	<b>市立清里山荘</b> . . . . .	81
	1 清里山荘のあゆみ . . . . .	81
	2 施設の概要 . . . . .	81
	3 利用状況 . . . . .	82
	4 主催事業 . . . . .	83
<b>9</b>	<b>図書館</b> . . . . .	84
	1 利用方法 . . . . .	84
	2 施設 . . . . .	84
	3 蔵書統計表 . . . . .	85
	4 利用状況 . . . . .	86
	5 各種事業 . . . . .	86
	6 図書館活動の充実 . . . . .	88
<b>10</b>	<b>公民館</b> . . . . .	89
	1 施設の概要 . . . . .	89
	2 公民館運営審議会 . . . . .	90
	3 公民館企画実行委員 . . . . .	90
	4 各種事業 . . . . .	91
	5 公民館の利用状況 . . . . .	105
	6 公民館事業別予算 . . . . .	105
<b>11</b>	<b>小金井市の教育年表</b> . . . . .	106

# 第 I 編

## 令和 2 年度教育施策の概要及び学校紹介

## 1

## 小金井市教育委員会の教育目標

教育は、人格の完成を目指し、平和で民主的な国家及び社会の形成者として必要な資質を備えた心身ともに健康な国民の育成を期して行われるべきものである。

また、教育には、一人一人の子供が自分のよさや可能性を認識するとともに、あらゆる他者を価値のある存在として尊重し、多様な人々と協働しながら様々な社会的変化を乗り越え、豊かな人生を切り開き、持続可能な社会の創り手となることが求められている。

小金井市教育委員会は、このような考え方に立って、「みどりが萌える・子どもが育つ・絆を結ぶ小金井市」の実現を目指し、以下の「教育目標」に基づき、積極的に教育行政を推進していく。

小金井市教育委員会は、一人一人の子供が未来を創造する当事者として、活発な好奇心をもち、創造的な課題発見・解決力を身に付けるとともに、健康で人間性豊かに成長することを願う

- 自他の人権や多様な文化を尊重し、寛容で思いやりのある人
- 自ら学び協働して問題を解決していく、創造力豊かな人
- 地域社会の一員として、社会貢献できる人
- 健康の大切さを理解し、心身ともにたくましく生きる人の育成に向けた学校教育を推進する。

また、すべての市民が生涯を通じ、個性が活かされ、より豊かな生活を営めるよう

- 自らを高める学習の機会の創出
  - 学び合いの場、多様な交流の場の創出
- が提供できるよう生涯学習を推進する。

そして、この学校教育と生涯学習の充実に向けて、家庭・学校及び地域が相互に連携・協力できる教育を推進する。

(令和2年1月14日 小金井市教育委員会決定)

## 小金井市教育委員会の基本方針

小金井市教育委員会は、「教育目標」及び「基本方針」を実現するための「第2次明日の小金井教育プラン」及び「第3次小金井市生涯学習推進計画」に基づき、総合的に教育施策を推進する。

### 【基本方針1 「人権尊重の精神」と「社会貢献の精神」の育成】

すべての子供たちが、人権尊重の理念を正しく理解するとともに、思いやりの心や社会生活の基本的ルールを身に付け、社会に貢献しようとする精神を育むことが求められる。

このため、人権教育及び心の教育を充実するとともに、権利と義務、自由と責任についての認識を深めさせ、公共心をもち自立した個人を育てる教育を推進する。

### 【基本方針2 「個性」と「創造力」の伸長】

子供たち一人一人が、国際社会に生き社会の変化に対応できるよう、自分のよさや可能性を認識できる自己肯定感を育み、持続可能な社会の創り手となることが求められている。

このため、子供たちの個性と創造力を伸ばす教育を重視するとともに、国際社会に生きる日本人を育成する教育を推進する。

### 【基本方針3 「信頼される学校づくり」と「確かな学力」の確立】

子供たちには、基礎的・基本的な知識・技能の習得と、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力、人間性等の涵養が求められている。

このため、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を進めるとともに、保護者や地域に信頼される魅力ある学校づくりを目指した学校経営を支援する。

### 【基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興】

市民一人一人が生涯にわたって学び、その成果を社会に還元できるようにするとともに、次代を担う子供たちの健やかな成長を社会全体で支えることが求められる。

このため、学校・家庭・地域の教育力を高め、その連携が進むよう支援するとともに、市民が生涯を通じて、自ら学び、文化・スポーツに親しみ、社会参加できる機会の充実を図る。

(平成31年2月12日 小金井市教育委員会決定)

## 教育目標・基本方針・各計画・教育施策の関係

○理念的な原理・原則

小金井市教育委員会の  
教育目標・基本方針

○中期的な計画

「第2次明日の小金井教育プラン」(学校教育)

「第3次小金井市生涯学習推進計画」(生涯学習)

○当該年度の短期的な計画  
(毎年度策定)

教育施策・主要事業

### 小金井市教育委員会が目指す教育の実現

小金井市教育委員会は、「教育目標」及び「基本方針」の実現に向け「第2次明日の小金井教育プラン」と「第3次小金井市生涯学習推進計画」を策定しています。

これらの中期的な計画に基づき、当該年度に実施する「教育施策」及び「主要事業」を明確化することができますようにします。

これらの「教育施策」及び「主要事業」等を推進していくことで、小金井市教育委員会が目指す教育を実現していきます。

## 第2次 明日の小金井教育プラン (平成28年度～平成32年度)

～ 学校教育の未来のために ～ 概要  
平成28年3月 小金井市教育委員会

### 1 プラン策定の経緯

小金井市教育委員会では、学校教育を取り巻く環境の変化、目まぐるしく変わる社会経済情勢に対応するため、教育基本法を踏まえ、小金井市の学校教育の質を更に高め、推進していく計画として策定した「明日の小金井教育プラン」(計画期間：平成23年度～27年度)の計画期間が終了となることに伴い、これまでの計画の成果と課題について、毎年度実施している小金井市教育委員会の権限に属する事務の管理及び執行の状況の点検及び評価の結果を踏まえて検証を行った上で、今後の小金井市の学校教育において重点的に取組を進めるための計画として、第2次明日の小金井教育プランを策定いたしました。

### 2 プランの位置づけ

本プランは、小金井市教育委員会が掲げる教育目標・基本方針の実現に向けて取り組む中期的な実施計画と位置づけるものです。

小金井市教育委員会で毎年策定している教育施策については、取組を進めるための短期的な実施計画と位置づけます。

プランの対象は小金井市の学校教育分野に限定し、生涯学習分野については個別の計画が策定されていることから、本プランの対象としません。

### 3 プランの計画期間

平成28年度を初年度とする5年間(平成28年度～平成32年度)を計画とします。

ただし、計画にとらわれず早期の実施が有益な場合は、可能な限り早期の実施に努めます。

### 4 プランの進行管理

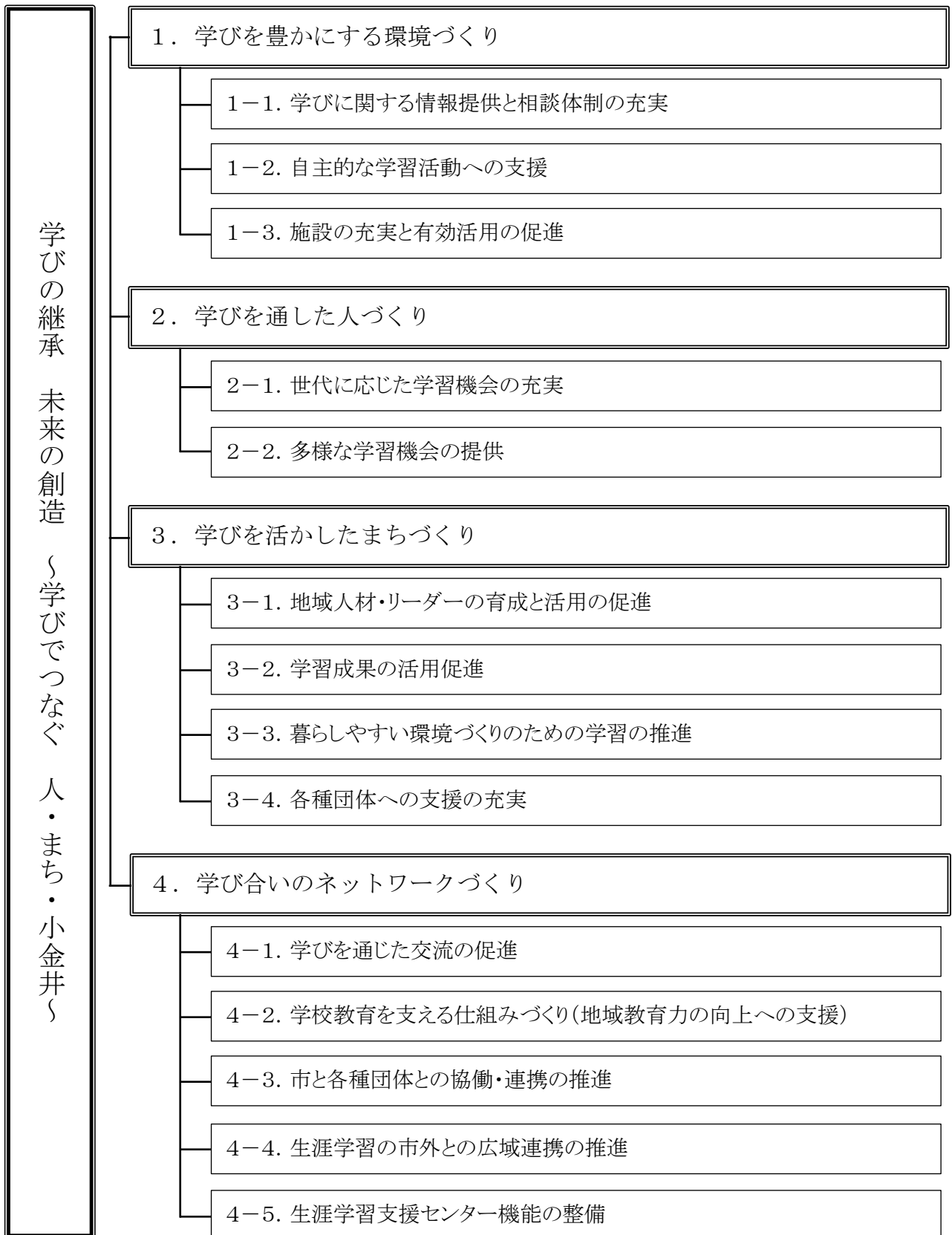
本プランについては、毎年度実施している点検評価において、毎年度、進行管理を行います。

その結果については、毎年度公開することとし、情報公開の推進と説明責任を果たしていきます。

プラン体系図

			視点	取組	重点施策	
小金井市教育委員会の教育目標	小金井市教育委員会の基本方針	第2次 (H28～H32) 明日の小金井教育プラン	基本視点 1 知育・徳育・体育の推進	1 学力の向上	1 教員の授業力向上	
					2 心の教育	2 学校における個別学習支援の充実
						3 家庭学習の充実
						4 情報教育の充実・教育の情報化
				5 人権教育の充実		
				6 豊かな心の育成		
				7 教育相談の充実		
				3 健康教育	8 社会貢献精神の育成	
					9 ふるさと教育の推進	
					10 食育の推進	
			11 児童・生徒の体力向上			
			2 教育環境の整備	4 福祉教育	12 心のバリアフリー事業の推進	
				5 特別支援教育	13 特別支援教育の充実	
				6 地域連携	14 学校地域連携の推進	
				7 ICT環境の整備	15 ICT機器の整備	
				8 学校施設	16 学校施設整備の推進	

## 第3次小金井市生涯学習推進計画 施策の概要





# 小金井市教育委員会

## 令和2年度教育施策

小金井市教育委員会は、「教育目標」及び「基本方針」を実現するため「第2次明日の小金井教育プラン」、「第3次生涯学習推進計画」に基づき、総合的に教育施策を推進する。

### 1 知育・徳育・体育の推進

#### (1) 学力の向上

##### ア 教員の授業力向上

- (ア) 基礎的・基本的な知識・技能の習得と、思考力・判断力・表現力等の育成、学びに向かう力、人間性等の涵養を図るため、「主体的・対話的で深い学び」の実現という視点からの授業改善を図る。
- (イ) 教員の教科等の専門性や実践的指導力、幅広い識見を高め、授業力を一層向上させるために、全教員が研究授業に取り組み指導案等を市内教員間で共有する。また教職経験や職層に応じた研究・研修の充実を図る。
- (ウ) 「主体的・対話的で深い学び」を実現する授業を展開するために、年間指導計画の充実、授業改善推進プランの作成・活用、児童・生徒による授業評価の実施、授業公開の充実を図る。
- (エ) 学習指導要領に基づいた年間指導計画の適正な作成と実施及び評価の実施、教員の授業力向上に関する成長を感じられる校内研究・研修の充実を図る。

##### イ 外国語活動・外国語科授業の充実

- (ア) ALT（外国語指導助手）の効果的な活用により、英語によるコミュニケーション活動の充実を図る。
- (イ) 小学校と中学校の接続を見通した連携を推進する。

##### ウ 学校における個別学習支援の充実

- (ア) 学生ボランティア、インターンシップ、教職大学院等、地域の教育資源等を活用し、授業の指導補助、放課後や夏季休暇等の補助学習を実施する等、確かな学力の定着を図る。
- (イ) 東京学芸大学等と連携して放課後等の学習の充実を図る。

##### エ 家庭学習の充実

- (ア) 学校と家庭が連携して家庭学習の習慣化を図るとともに、宿題や予習・復習などの学習課題の充実を図る。
- (イ) 家庭学習のすすめや保護者向け資料「ハートコンタクト」を作成し、家庭での学習習慣の確立やそのための方法等についての啓発を図る。

##### オ 情報教育の充実・教育の情報化

- (ア) 家庭・地域との連携の下、ICT機器の正しい使い方やインターネットやSNS等の利用に関するモラルやマナーを身に付けるための情報モラル教育の充実を図る。
- (イ) 授業において、効果的にICT機器を活用することで、児童・生徒の情報活用能力を高めるとともに、学習内容への興味関心を引き、わかりやすい授業を展開する。また、教員研修の充実を図る。
- (ウ) 小学校プログラミング教育を推進し、論理的思考の育成やプログラミング体験の充実を図る。

#### (2) 心の教育

##### ア 人権教育の充実

- (ア) 教育活動全体を通じて、人権尊重の理念の定着を図るために人権教育を一層

推進し、偏見と差別のない望ましい人間関係を確立する。

- (イ) いじめは、人間として絶対に許されない人権侵害である。「いじめのないまち 小金井宣言」の実現に向け、小金井市いじめ防止基本方針及び学校いじめ防止基本方針に基づき、学校と家庭、地域社会が連携し「いじめを絶対に許さない」ことを児童・生徒の心に浸透させる。
- (ロ) 小金井市子どもの権利に関する条例のリーフレット、人権教育プログラム（東京都教育委員会）等を活用し、権利と義務、自由と責任についての認識を深めさせ、鋭い人権感覚を身に付けた自立した個人を育てる教育を推進する。
- (ハ) 小金井市男女平等基本条例の男女両性の本質的平等の理念に基づき、男女が互いの違いを認めつつ、個人として尊重されることを児童・生徒に理解させ、その具現化を図る男女平等教育を推進する。

#### イ 豊かな心の育成

- (ア) 児童・生徒が、自他をいつくしみ、かけがえのない生命や自然を大切にする等、思いやりの心を育み、人間性豊かに成長できるよう心の教育の充実を図る。
- (イ) 児童・生徒が、自分自身の問題と捉え向き合う「考え議論する道徳」の実現を目指した道徳科の充実を図る。
- (ロ) 児童会・生徒会が主体となって、道徳心や公共心、礼儀正しく生活できる力が育つような校内の取組を推進する。
- (ハ) 東京オリンピック・パラリンピックの開催に向け、その歴史や意義を学んだり、我が国と世界の国々の歴史や文化、習慣等を体験したりすることで、進んで平和な社会の実現に貢献しようとする児童・生徒を育成する。
- (ニ) 家庭や地域と連携した道徳教育の推進や道徳授業地区公開講座の充実を図り、社会の一員としての自覚を高め、規範意識を育む教育を推進するとともに、郷土小金井を愛し共に生きる子供を育成する。

#### ウ 教育相談の充実

- (ア) 不登校やいじめ、暴力行為等、児童・生徒が抱える多様な課題の解決に向け、早期発見・早期対応ができるように不登校カルテを作成のうえ活用し、不登校支援員の派遣等、学校における組織的な教育相談体制の強化を行い、校内支援体制の充実を図るとともに、教員研修の充実を図る。
- (イ) 児童・生徒が抱える多様な課題等の対応に当たっては、状況に応じて関係機関等との連携を図りながら、組織的な対応の充実に取り組む。
- (ロ) 不登校等の課題に対応するため、スクールカウンセラーを学校の生活指導や教育相談組織の中で活用することで、学校の教育相談機能を充実させる。また、教育相談所、もくせい教室及び他の相談機関との連携を深め、児童・生徒等に対する教育相談体制の充実を図る。
- (ハ) スクールソーシャルワーカーを派遣し、児童・生徒が置かれた様々な環境への働きかけや関係機関とのネットワークを活用することで、児童虐待や家庭の状況等に起因する問題行動等の未然防止、早期発見及び改善を図る。

#### エ 社会貢献精神の育成

- (ア) 社会の一員としての自覚を高め、規範意識等を育むために、教育計画に基づき、教職員の適切な指導のもと、社会体験活動やボランティア活動等の充実を努める。
- (イ) 職場体験学習の充実を図り、望ましい勤労観・職業観を育むとともに、キャリアパスポート等を活用し、子供たちの生き方指導や進路に関する指導の充実を図る。

#### オ ふるさと教育の推進

- (ア) 日本や世界の伝統・文化に触れる異文化教育や小金井市に由来する人物、風土、環境等を学ぶふるさと教育を通じて、多様な文化や郷土に対する理解を深めると

ともに、国際的視野を広める教育を推進する。

- (4) 児童・生徒及び教員が、郷土の自然や人、社会や文化、産業と触れ合う機会を充実させ、ふるさとのよさの発見や愛着心を育むために、積極的に地域と関わる。
- (3) 健康教育
  - ア 食育の推進
    - 食育リーダーによる指導方法の研究を行い、食育を推進する。新入生に食育リーフレットを配布することで、家庭における食生活の大切さの理解向上を図る。また、給食では、地場野菜を活用し、和食献立を充実させる。
  - イ 児童・生徒の体力向上
    - (7) 東京オリンピック・パラリンピックに関連した体験や活動を通して、児童・生徒が積極的に運動やスポーツに親しみながら、体力の向上を図る。
    - (8) 体力向上推進委員会による児童・生徒の体力調査の実施、分析をもとに体育的活動の改善に努め、体力のさらなる向上を図る。
    - (9) 関係機関と連携した保健教育を推進し、健康で安全な生活を送る能力や態度の育成を図る。
- (4) 福祉教育「心のバリアフリー」事業の推進
  - ア 障害のある人との交流活動や福祉体験活動等に取り組み、自他を尊重する心や障害についての理解教育の充実を図る。
  - イ 障害のある人との相互理解を深め、共に助け合い、支え合って生きていくことの大切さを学ぶための交流教育の充実や副籍制度に基づいた交流及び共同学習を推進する。
  - ウ 「障害のある人もない人も共に学び共に生きる社会を目指す小金井市条例」及び「障害の社会モデル」の理解推進に努める。
- (5) 特別支援教育の充実
  - ア 障害のある児童・生徒の教育的なニーズに応じた多様な学びの推進に向け、巡回相談、専門相談、校内委員会を充実させる。
  - イ 障害のある児童・生徒の教育的なニーズに応じた指導、支援の充実に向け特別支援教室の設置や効果的な活用、合理的配慮の提供等についての研究を推進する。
  - ウ 全教職員の特別支援教育に関する資質、能力を高めるために、校長会、特別支援教育研修会、特別支援学級推進委員会を充実させる。
  - エ 特別支援教育支援員を配置し、学校における学習支援や日常生活上の介助等を含め、特別な支援が必要な児童・生徒の支援を一層充実させる。
  - オ 特別な支援を必要とする児童・生徒のライフステージに応じた効果的な支援を実現するために、特別支援教育研修会や市民等を対象とした講演会の開催、関係する福祉担当部局と連携することで、支援体制の充実を図る。

## 2 教育環境の整備

- (1) 学校地域連携の推進
  - ア 校長のリーダーシップのもとに、学校の自主性と自律性を確立し、学校、家庭、地域と連携・協力した特色ある教育活動を推進することで各校の教育力の向上を図る。
  - イ 小金井市公立学校運営連絡会及び学校運営協議会による保護者や地域住民の参画や積極的な授業公開の実施等、社会に開かれた教育課程の推進に努める。
  - ウ 学校評価に基づき、学校の教育活動を積極的に保護者や地域住民に説明し、効果的で透明性の高い学校運営を推進する。
  - エ 全校で地域や近隣の大学、研究所、高度教育機関等との連携を深め、地域・外部の人材等を活用した学校支援体制の整備の充実を図る。

オ 保護者や地域住民との一層の連携を図り、登下校時の見守り等の取組を推進し、通学路や学区域内での児童・生徒の安全確保に努める。

(2) ICT環境の整備

児童・生徒用情報端末の台数・機器を更新し、児童・生徒の学習環境の向上及び情報化への対応を推進するとともに、新学習指導要領の実施に向けたICT教育環境の整備を計画的に推進する。

(3) 学校施設整備等の推進

ア 学校教育の質的向上を図るため、施設・設備及び教育機器等の教材・教具、図書等を充実させるとともに有効活用に努める。

イ 安全・安心な教育環境づくりに努めるとともに、地域の防災拠点の機能を併せもつ学校施設としての充実を図る。

3 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興

(1) 生涯学習の推進

ア 市民一人一人が生涯にわたって自ら学び、文化・スポーツに親しみ、その成果を地域社会の活動に反映できるよう第3次小金井市生涯学習推進計画に沿って施策の推進に努める。

イ 学校、家庭、地域がその役割と責任を自覚し、相互に連携協力して地域全体で教育力を高める活動を推進する。

ウ 地域の貴重な資源である大学、文化施設、NPO等市民団体と連携して生涯学習施策を推進する。

エ 退職前後の中高年層を対象として、学習の機会や情報を提供し、地域活動への参加を推進する。

オ 市民の学習活動に資するため、市報やホームページ等を活用し、積極的に情報提供に努める。

(2) 青少年教育の推進

ア 家庭教育の充実を図るため、家庭教育に関する学習の機会や情報提供の充実を図る。

イ 子供たちの安全安心な居場所づくりとして、学校、家庭、地域と一体となって実施している「放課後子ども教室」事業の充実を図る。

ウ 清里山荘指定管理者と連携し、青少年が豊かな人間関係や社会性を育んでいくことができるよう、自然体験教室、ふれあい体験教室等多くの体験活動の機会を提供するとともに、自然や科学に対する関心を深め、創造性豊かな青少年の育成に努める。

(3) スポーツ・レクリエーション活動の推進

ア 幼児期から高齢者までの市民が、スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の場を提供し、健康・体力づくりを推進する。小金井市スポーツ推進計画を、スポーツ関係団体や市民と協働して推進する。

イ 楽しむスポーツから競技スポーツまで、幅広いスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、スポーツ団体の活動を支援する。

ウ 誰でも、いつでも気軽にスポーツすることができる環境づくりとして体育協会や総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。

エ スポーツ・レクリエーションの普及のため、スポーツ団体と連携して、指導者の育成・派遣等の指導体制の充実を図る。

(4) 文化財の保存と啓発活動の推進

ア 貴重な文化遺産を後世に継承していくため、埋蔵文化財の調査・保存・市指定文化財の保存及び郷土芸能の伝承を支援していくとともに、文化財センターの機能の

充実を図る。

イ 市民の郷土に対する理解を深め地域資料を利活用するため、古文書等の調査を進め、市史編纂資料集等を刊行する。

ウ 市民が生涯を通じて、地域の歴史や文化財に親しむことができるよう、文化財等の解説や学習団体の支援の充実を図る。

エ 史跡玉川上水、名勝小金井（サクラ）の整備活用を通して、東京都及び市民団体と協働してヤマザクラ並木の歴史的景観を復活させる等、協働のまちづくりを推進する。

(5) 公民館の充実

ア 誰もが気軽に立ち寄り、共に学び、共にふれあう身近な公民館運営に努める。

イ 公民館運営に公民館運営審議会委員、企画実行委員の他、市民参加を図り、関連諸機関や市民団体とも協働して充実を図る。

ウ 事業の実施には、地域社会との連携に努め、団体・サークルやNPO法人等の諸機関・諸団体とも協力して充実を図る。

エ 主催講座については、地域的・今日的な課題、心豊かに生きることのできる学びの充実を図り、市民の自主的・自発的な学習活動の推進を支援する。

オ 市民の学習活動に機材・教材を提供し、活動の場の環境整備に努める。

カ 広報活動に市民も参加し、情報の提供に努める。

キ これまでの公民館が果たしてきた役割を踏まえ、公民館の中長期計画を策定する。

(6) 図書館の充実

ア 「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」、「なんでも」利用できる図書館運営に努める。

イ 「小金井市立図書館運営方針」に基づき、図書館施策を推進する。

ウ 子供の読書活動推進のため、「第3次小金井市子ども読書活動推進計画」に沿って施策の推進に努めるとともに、「第4次小金井市子ども読書活動推進計画」の策定作業を進める。

エ 図書館の利便性向上のため、電子図書の導入、様々なデータベースの提供、資料用I C タグの導入などのI C T化推進について検討を進める。

(7) 社会教育施設の整備

ア 市民の学習・文化活動及び集会の場として、施設の整備等を推進する。

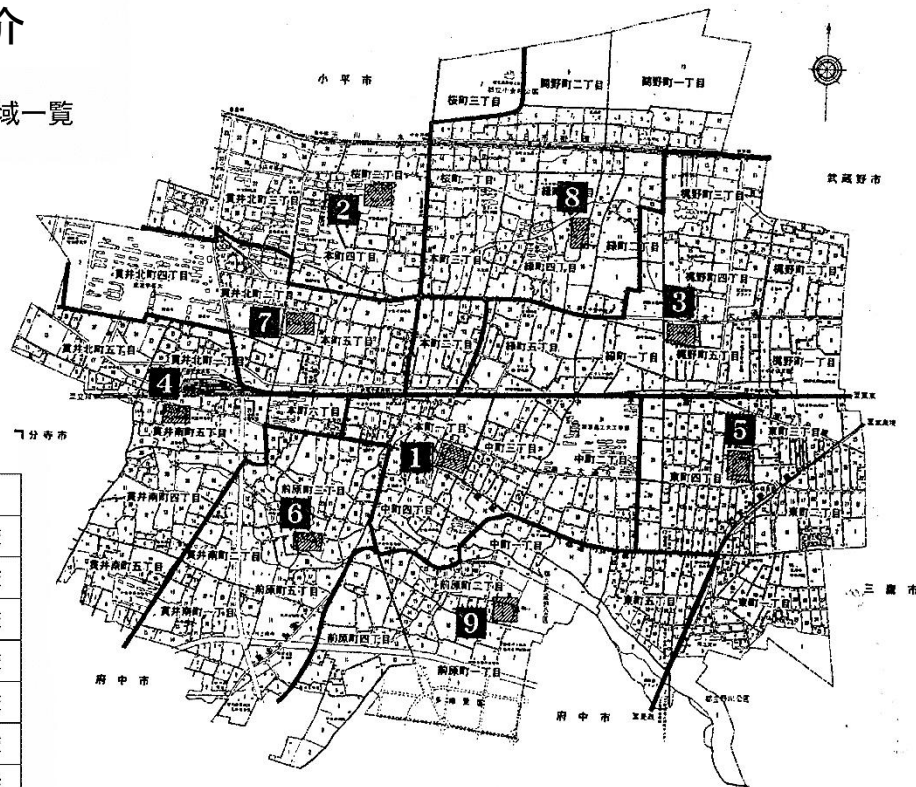
イ 市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として、施設の整備充実を図る。

ウ 公民館、図書館、体育館、学校など既存施設の有効活用を積極的に推進する。

エ 震災の経験を踏まえた施設のあり方を検討する。

## 2 学校紹介

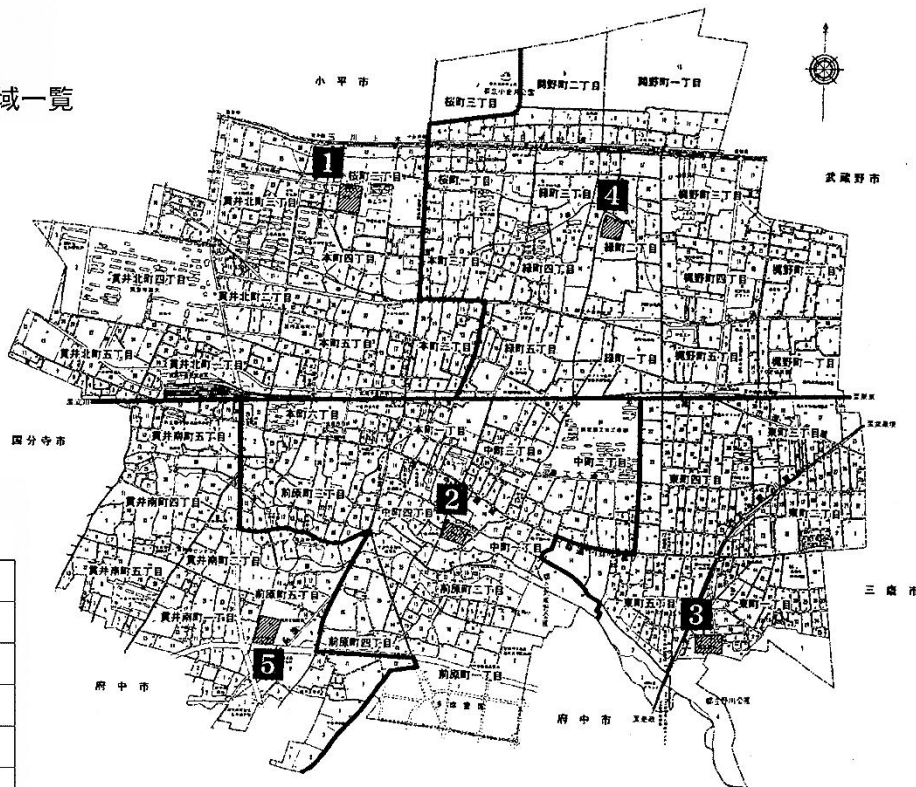
市立小学校通学区域一覽



凡例

番号	学校名
1	小金井第一小学校
2	小金井第二小学校
3	小金井第三小学校
4	小金井第四小学校
5	東小学校
6	前原小学校
7	本町小学校
8	緑小学校
9	南小学校

市立中学校通学区域一覽



凡例

番号	学校名
1	小金井第一中学校
2	小金井第二中学校
3	東中学校
4	緑中学校
5	南中学校



## 小金井市立 小金井第一小学校

所在地 小金井市本町一丁目1番6号  
電話 042-383-1141 FAX 042-382-2041  
梅の実学級 383-1174  
校長 浅野 正道  
<http://koganei.ed.jp/~kogan1es/>

### 《教育目標》

- 心も体もたくましい子
- ◎進んで考えくふうする子
- いつも仲よく助け合う子

人間尊重の精神を基調とし、知・徳・体の調和のとれた人間性豊かな子供を育成する。子供が自分のよさを発揮し、心豊かに主体的・創造的に生きていくことができる資質や能力を自ら獲得しようとする意欲や態度を育てる。

### 《教育目標》(梅の実学級)

- 進んで体を動かし、元気な子
- 友だちと関わり合い、協力する子
- 見る、聞く、考える力のある子

子供の興味・関心・学習意欲を高め、基礎・基本を着実に身に付け、主体的に対応できる能力や態度を育てるために少人数学習・体験学習・交流活動等に力を入れ、子供の笑顔輝く学級を目指す。

### 《小金井市の歴史とともに》

本校は令和2年度に147周年を迎えた。小金井市の発展と共に歩み続けてきた本校の伝統は、今も脈々と息づいている。武蔵小金井駅周辺を学区域としており、多くの卒業生が、学校を見守り、支援をしてくださっている。現在は通常の学級18、特別支援学級(知的固定)2の計20学級全610人の児童に対し、校長を中心とした約60人の教職員が、教育目標の実現に向け職務に当たっている。

### 《特色ある教育活動》

#### 『児童が主体的に考え、話し合い、表現する授業の継続』

令和2年度から国立教育政策研究所「実践研究協力校」の指定を受け、校内研究主題を「問いをもち、社会とつながる子供を育てる社会科学習・生活科学習 ～主体的に学習に取り組む社会科・生活科指導の工夫～」と設定し、全学年での授業実践を行い、また、文部科学省教科調査官を始めとした講師からの指導を受けながら、研究活動を推進している。また、互いに授業をとおして学び合い、高め合う教職員集団を目指し、校内研究会や校内OJT研修の充実を図っている。

#### 『人権教育の一層の推進による、互いに認め合い学び合う児童の育成』

一人一人の人格を大切に作る心の育成をめざし、生活面で、特に挨拶の励行に重点的に取り組み、代表委員会による朝の挨拶運動等を継続実施している。通常の学級と特別支援学級の交流や異学年集団での活動、地域住民との触れ合い、児童主体の活動等をとおして、思いやりの心と集団の一員としての所属感や自己肯定感を育む教育活動を、全校体制で展開している。

#### 『特別支援教育の充実』

通常の学級と特別支援学級(知的固定)(梅の実学級)との交流及び共同学習や、通常の学級と特別支援教室(くじらぐも教室)との連携を進め、校内委員会の充実や特別支援教育支援員やSC、SSW、子ども家庭支援センター等、関係機関との連携を深め、個別の指導・支援の充実を図っている。

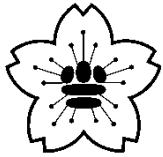
### 《地域にある学校》

PTA、学校運営連絡会、放課後子ども教室、おやじの会など、継続的に児童を見守り、育成して下さる地域の方々により、児童は安全に、楽しく安心して学校生活を送っている。また、植栽の水やりや、日々の消毒活動など、各種ボランティアに多くの地域の方々が参加し、教育活動を支援してくださっている。

### 〈主な沿革〉

明治6年6月	尚綱学舎が金蔵院にできる
25年3月	小金井尋常小学校と改称
34年	小金井尋常高等小学校と改称
昭和16年4月	小金井国民学校となる
22年4月	町立小金井小学校と改称
24年	町立小金井第一小学校と改称
33年10月	小金井市立小金井第一小学校となる
38年4月	梅の実学級開設
45年2月	市研究協力校研究発表(算数)
48年11月	創立100周年記念式典
60年2月	梅の実学級開設20周年記念式典
平成2年2月	市研究奨励校研究発表(国語)
4年10月	校舎改修工事完了
8年3月	新体育館・屋上プール完成
8年9月	校庭大改修・遊具施設改修完了
11年4月	市研究奨励校研究発表(総合的な学習)
15年2月	市研究奨励校研究発表(国語)
15年10月	創立130周年記念式典
17年8月	耐震補強工事完了
20年9月	水道直結式工事完了
23年11月	教室にエアコン設置
25年11月	創立140周年記念式典
26年6月	セントヘレナの松おわかれ会
27年2月	市研究奨励校研究発表(運動・保健・食育)
28年6月	都ICT教育環境整備支援事業公開授業
30年4月	特別支援教室「くじらぐも学級」開設
令和2年2月	東京都人権尊重教育推進校研究発表
2年4月	国立教育政策研究所実践研究協力校指定
2年11月	体育館にエアコン設置





## 小金井市立 小金井第二小学校

所在地 小金井市桜町二丁目3番58号  
 電話 042-383-1142 FAX 042-382-2042  
 さくら学級 383-9571 大空教室 385-3598  
 こだま学級 385-3327  
 校長 諏訪 伊都子  
<http://www.koganei.ed.jp/~kogane2es/>

### 〈教育目標〉

- 心豊かな子ども
- 自ら考え行動する子ども
- 健康な子ども

### 〈令和2年度の指導の重点〉

- 差別と偏見のない好ましい人間関係を育てる。
- 基礎的、基本的な内容を確実に身に付けさせる。
- 体験的な活動を重視し、自ら学ぶ意欲と態度を養う。
- 安全で、心身共に健康な生活環境を整備する。
- 学校を開き、地域を生かした学習の充実を図る。
- 異文化理解や環境意識の高揚、情報教育を推進する。

### 〈主な沿革〉

昭和21年4月 小金井国民学校中部分教場として、陸軍技術研究所跡に開設  
 22年9月 小金井町立小金井第二小学校として独立  
 34年4月 市内最初の心障学級(さくら学級)開設  
 44年11月 体育研究優良校として文部省表彰  
 52年2月 さくら学級 研究発表  
 52年4月 情緒障害学級(大空学級)開設  
 56年4月 難聴学級(こだま学級)開設  
 59年2月 市・研究指定(国語)研究発表  
 61年11月 給食優良校として都表彰  
 平成2年9月 校舎改修完了  
 6年4月 言語障害学級(ことばの学級)開設  
 15年1月 文部科学省人権教育指定研究・中間発表会  
 15年10月 文部科学省人権教育指定研究・本発表会  
 17年2月 小金井市教育委員会研究奨励校発表  
 18年9月 耐震補強工事完了  
 19年10月 創立60周年記念式典挙行  
 20年9月 校庭全面芝生化完了  
 22年4月 東京都スポーツ教育推進指定校(3年目)  
 23年1月 東京都教育委員会学校表彰(校庭芝生化)  
 26年10月 小金井市授業改善推進指定校 発表  
 28年3月 東京都学校歯科保健優良校として表彰  
 29年10月 開校70周年記念式典挙行  
 31年4月 西部共同事務室本格実施



体育「体づくり運動」



特別支援学校との交流



広々とした芝生校庭で縦割り班活動

### 〈特色ある教育活動〉

#### ① 特別支援教育の推進

本校には、固定の知的障害学級「さくら」、特別支援教室「大空(通級)」、難聴・言語障害学級「こだま(通級)」が設置されている。これらの学級・教室では児童一人一人の発達段階に応じた学習内容を設定し、日常生活や将来の社会参加に必要な知識・技能の定着とコミュニケーション能力の向上を図っている。

さくら学級と通常学級は、交流を通して経験を広げたり、お互いを認め合い、励まし合う機会をもったりしている。さらに年間を通じ、通常学級における理解教育を全学年で実施している。

#### ② 校庭全面芝生の活用

本校は平成20年に4,400㎡の校庭を全面芝生化し、学校、市当局、保護者、地域、委託業者との連携を図りながら維持管理している。体育の授業をはじめ、学校行事、体育的な活動を通して、体力向上や技能の習得などに取り組んでいる。運動面だけでなく、環境教育や情操教育の視点からも芝生の校庭を活用している。校庭を「緑の大きな教室」と位置付け、教科の学習をはじめ、様々な教育活動で活用し効果を上げている。

#### ③ 主体的に考えて運動する子をめざして

校内研究のテーマを「わかる!できる!楽しい!で“もっと”があふれる体育の授業～体づくり運動における主体的で対話的な学びを目指して～」と設定し、体育の授業研究に取り組んでいる。児童が自分のめあてを明確にし、「もっとやりたい」「もっと挑戦したい」という気持ちが芽生えるような体育の学習を通して、主体的に考えて運動する子の育成を目指している。研究の推進にあたっては、研究授業を実施する他に、運動意欲を引き出す環境作りや教員の実技研修、オリンピック・パラリンピック教育との関連づけなどに取り組んでいる。

#### ④ たてわり班活動の推進

1～6年生・さくら学級までの児童をたてわり班編成し、異学年交流を通して思いやりの心を育てている。6年生が班長となってリーダーシップを発揮し、全校オリエンテーリングや子どもまつり、たてわり班給食などに、どの学年の児童も楽しく取り組んでいる。

#### ⑤ 触れ合いを大切にした読書活動

自ら本を読む子を育成するため、学級文庫の整備、朝読書を年間通して行っている。年間3回の読書週間は、児童が本と出会うよい機会になっている。春は親子で読書、秋は互いに好きな本を紹介し合い、多くの本と出会う読書、冬は朝学習を利用しての一斉読書である。これらの活動により読書体験が広がっている。また、PTAのサークル(さくらんぼの会)による読み聞かせ活動が児童の本への興味・関心をさらに高めている。





## 小金井市立 小金井第三小学校

所在地 小金井市梶野町五丁目7番1号  
電話 042-383-1143 FAX 042-382-2043  
校長 増田 亮  
<http://www.koganei.ed.jp/~kogane3es/>

### 〈教育目標〉

- 仲よくする子ども      ○働く子ども
- ◎考える子ども        ○体をきたえる子ども

### 〈めざす学校像〉

- 子供たちが明るく元気に学ぶ学校
- 全教職員が子供たちのために力を合わせる学校

### 〈令和2年度の指導の重点〉

- 自ら学び考える児童の育成と教員の授業力の向上
- 豊かな心の育成
- 健康教育・安全教育の推進
- ふるさと教育の推進
- 保護者や地域との連携・協働
- 共生社会の実現に向けた特別支援教育の充実

### 〈授業の改善〉

令和2年度から全面実施となった新学習指導要領の趣旨に則り、「主体的・対話的で深い学び」の授業づくりに取り組んでいる。基礎学力の定着を図り、算数の習熟度別少人数指導や学習ボランティアによるTT(ティームティーチング)など、個に応じた指導を推進している。また、学級経営についての研究を2年間行った成果を生かした校内研究を行っている。

### 〈環境と施設の有効活用〉

東小金井駅から近く、閑静な住宅地にある学校である。敷地内には、四季折々に変化する多くの木々がある。896人という市内で最も多くの児童が在籍している学校として、冷暖房設備が設置された体育館や広い校庭など、校内環境や施設を有効に活用した様々な教育活動を行っている。

新たに今年度、全児童に1台のタブレットが配付され、高速LANも設置された。小金井GIGAスクール構想のもと、ICT機器やコンテンツを有効に活用した授業改善に取り組んでいる。

### 〈心豊かな子どもの育成〉

「静かに読書」を目標に掲げ、毎週金曜日には全校一斉朝読書を行っている。これは、金曜日の朝、図書委員会の児童が各教室に行き、教室の前の方に座って模範を示すという取り組みに支えられている。また、年2回の「あおば読書旬間」と「もみじ読書旬間」も、三小の児童を読書好きにしている。読書は感性を磨き、心を豊かにするための大切な活動であり、今後も指導の充実を図っていく。

挨拶を中心に社会性を育成するための指導を行い、思いやりの心を育てている。

### 〈ふるさと教育の推進〉

地域の教育資源「ものひとこと」を積極的に活用して授業づくりを進めている。ふるさと小金井への理解を深め、郷土愛を醸成する学習活動を展開している。

### 〈保護者・地域との連携〉

学校日より「けやき」や学年日より、学校ホームページ、スクールバスのメール送信等により、保護者や地域へ積極的に情報発信を行っている。

保護者や地域の教育力をボランティア活動として受け入れ、各教科のTTや外部講師として、また安全確保のための補助や学生ボランティアなどで力を発揮していただいております。学校との連携・協働の日常化を進めている。

### 〈共生社会の実現に向けた特別支援教育の充実〉

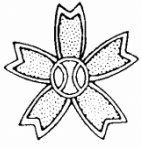
特別支援教育コーディネーターを中心とした組織的な特別支援教育を推進する。また、大空教室(特別支援教室)や特別支援教育専門員、支援員を活用した指導の充実を図る。

### 〈主な沿革〉

昭和26年4月	小金井町立小金井第一小学校東部分校から小金井町立小金井第三小学校として独立
26年6月	開校式、6月5日を開校記念日とする
27年2月	校歌制定 創立1周年記念式典挙行
31年6月	創立5周年記念式典挙行 校章校旗制定
33年10月	小金井市立小金井第三小学校と改称
53年3月	鉄筋校舎4階建工事完成
61年4月	市研究奨励費を受ける(算数)
62年4月	市研究奨励費を受ける(国語)
63年4月	ボランティア活動協力校を受ける
平成元年3月	新体育館完成
2年4月	市研究奨励費を受ける(体育)
12年4月	文部省スクールカウンセラー配置
13年11月	創立50周年記念式典・祝賀会
21年2月	市研究奨励校研究発表会(国語)を行う
22年9月	デジタルテレビ・教育用LAN設置
23年10月	創立60周年記念式典・祝賀会
25年4月	都スポーツ教育推進校を受ける
26年3月	都体力向上推進優秀校として表彰
26年4月	都オリンピック教育推進校 市地域連携事業協力校
27年8月	2階トイレ改修工事
28年4月	緑小と共通ボランティアによるフォニックスの指導を外国語活動に導入
30年12月	市研究奨励校研究発表会(学級経営)を行う
令和2年11月	全児童へタブレット配付・高速LAN設置



タブレットを活用した授業



## 小金井市立 小金井第四小学校

所在地 小金井市貫井南町3丁目9番1号  
電話 042-383-1144 FAX 042-382-2044  
校長 延 毅彦  
<http://www.koganei.ed.jp/~kogane4es/>

### 〈教育目標〉

- ◎ 「つよく かしこく あたたくく」
- 心も体もたくましい子
- よく考え実行する子
- 思いやりのある子

### 〈目指す学校像〉

- 子どもが学びたい学校
- 保護者が行かせたい学校
- 地域と通い合う学校
- 教職員が働きたい学校

### 〈郷土を生かした教育〉

本校は、小金井市の西に位置し、縄文時代の貫井遺跡の上にある。教室の窓からは、校庭の樹木に続いて貫井神社の森、三楽の森と、緑豊かな自然を見渡すことができる。銘水として名高い貫井の湧水とも隣接し、野川の流れも近いなど、自然環境に恵まれている。

校庭から出土した土器や石器や郷土のむかしの暮らしを伝える民具は、現在は小金井市文化財センターに保管されている。また、校舎中央玄関に貫井遺跡発掘に児童が関わった時の写真や縄文土器等を展示している。

さらに、学区域には小金井の郷土芸能のひとつである「貫井ばやし」が伝えられ、地域の人々に愛されている。

### 〈特色ある教育活動〉

- 児童相互の望ましい人間関係を育成するために、年間を通して異年齢集団活動「なかよしタイム」を実施している。朝の時間を使った遊びや特別に時間を設定した「なかよしタイムロング」「つくって遊ぼう」等を通して、関わりあいを深める活動を推進している。  
「四小子ども祭り」では、児童が考えたゲームを行うことで自主性を高め、地域の敬老会や大学の留学生を招き、お年寄りや外国の人たちとの交流を深めている。
- オリンピック・パラリンピック教育推進の取組を通して、「一校一取組」を充実させている。また、全面校庭芝生化のメリットを生かし、体力の向上や自ら実践していこうとする意欲を高めている。
- 読書活動に重点を置き、図書館補助員や図書ボランティアによる図書室の整備を進めている。また、年2回読書週間を設け、教師や児童が「おすすめの本」をポスターで紹介する活動、ボランティアによる読み聞かせ等、読書への関心を高めている。
- 東京学芸大学との連携のもと、1・2年生の「生活科見学」、環境学習を、NPO法人「黄金井倶楽部」と連携し、体育学習などに役立っている。

### 〈地域とともに〉

PTA校外指導委員会、地域7つの自治会と連携した「地域ぐるみ防犯の会」を立ち上げて地域の安全について話し合っている。また、「四小防犯イベント」では護身術、カンガルーポケットの家について児童、保護者、地域の方々が共に学び合い、児童の見守り活動を積極的に進めている。また、芝生ボランティア、放課後子ども教室「楽しい4」や社会科や生活科、総合的な学習の時間などのゲストティーチャーによる体験的学習等、地域の皆様に多大なお力をいただき教育活動を推進している。

### 〈主な沿革〉

昭和26年4月	小金井町立小金井第一小学校貫井分校から小金井町立小金井第四小学校として独立
31年6月	校歌・校章・校旗を制定
33年10月	小金井市立小金井第四小学校と改称
38年2月	体育館、同年8月プール、41年5月中央校舎、43年7月東校舎、52年8月西校舎完成
42年10月	東京都研究指定校「統計教育研究」発表
48年7月	貫井遺跡発掘第一次調査（校庭）
54年10月	校舎改築落成記念祝賀会
58年3月	東京都教育研究奨励校「国語教育研究」
62年11月	学校給食優良校表彰
63年～平成3年	市教育研究奨励校「主体的に活動する児童の育成」（算数科）
平成4～6年	市教育研究奨励校「よく考える子どもを育てる」（4年度算数、5～6年度体育）
13年10月	創立50周年記念式典挙行
16年5月	警視庁交通部長賞受賞
17年4月	教育目標改定
18年9月	耐震・外壁改修工事竣工
19年11月	市教育研究奨励校発表
23年10月	創立60周年記念式典挙行
25年1月	市教育研究奨励校発表
25年9月	学校給食業務民間委託開始
28～29年	市授業改善推進指定校
30年12月	小金井警察署秋の「交通安全教育」表彰



長縄チャレンジ



校舎内での稲刈り



## 小金井市立東小学校

所在地 小金井市東町四丁目25番6号  
 電話 042-383-1145 FAX 042-382-2045  
 校長 不破 淳一  
<http://www.koganei.ed.jp/~higasies/>

### 〈教育目標〉

支え合い、学び合い、高め合いの精神を大切にし、小金井の地に育ち、これからの22世紀の世界に羽ばたく人間として、徳・知・体の調和のとれた人間性豊かな児童を育成する。

- やさしい子
- ◎考える子 (令和2年度の重点)
- 元気な子

前文は、東小学校の教育理念であり、東小で育てるべき望ましい人間像、東小の教育の方向性を示している。その実現を目指して、日々の教育活動を推進していく。

### 〈令和2年度 指導の重点〉

「支え合い 学び合い 高め合う学校 東小」をキャッチフレーズに、次の5つを柱として学校経営を進めている。

- 新学習指導要領の趣旨を実現する授業改善の推進
- 寛容の心、共生の心を育てる教育の推進
- 地域との連携を深める教育の推進
- オリンピック・パラリンピック教育、安全教育、食育の推進
- 「学びの共同体」の実現と「働き方改革」の推進

### 〈特色ある教育活動〉

- 地域の人材や環境を活かした教育活動
  - ・学校支援地域本部との連携
  - ・地域の人材、施設の活用
  - ・留学生との国際交流活動
  - ・日本の伝統文化体験
  - ・ふれあい交流給食
- 読書活動の推進
  - ・読書句間
  - ・読み聞かせ
  - ・図書指導補助員との連携
  - ・市図書館集団貸出を活用した学級文庫の充実
- 交流活動の充実
  - ・縦割り遊び
  - ・異学年交流遠足
  - ・ひまわり学級との交流
- 安全教育、食育の充実
  - ・「3つのあ(挨拶、安全、後始末)」の指導
  - ・各種安全教室
  - ・食育朝会

### 〈本校の研究活動〉

平成28・29年度は「協働的な学びの実現」を研究主題として、平成30、令和元・2年度は『深い学び』の実現』を研究主題として、社会科、生活科を中心に研究を推進している。子供に「問い」をもたせる指導の工夫、新たな教材の開発、多様な発問の工夫等において確かな成果を得ている。校内研究会では、学年の全学級が同時並行で授業を公開し、学級毎に協議会を実施する等、教師の授業力を高める運営方法の工夫も図っている。

### 〈地域と一丸となって〉

本校は、保護者や地域の方々の関心が極めて高く、PTA活動やおやじの会、くるまざ、ちQ人などのボランティア活動が充実している。また、学校支援地域本部事業のコーディネーターを中心に、学校支援活動の更なる充実と発展を図っている。地域の方々の大きな援助と尽力によって支えられ発展してきた学校である。

### 〈主な沿革〉

昭和34年4月	小金井市立東小学校開校	25日開校記念日
34年7月	校章制定	
36年3月	校歌制定	
41年8月	プール完成	
58年11月	校舎鉄筋化工事完了	
62年4月	市研究奨励校「国語」	
平成3年3月	新体育館完成	
4年8月	校庭改修工事	
8年9月	ランチルーム開設	
12年9月	コンピュータ室改修工事完了	
18年1月	市研究奨励・学力向上推進指定校発表	
10月	市学力向上推進指定校発表(算数)	
20年9月	耐震・外壁改修工事完了	
21年10月	創立50周年記念式典挙行	
22年9月	太陽光発電設備設置	
23年4月	ひまわり学級(知的障害特別支援学級)開級	
11月	「わかる・できる・活かす」授業改善推進校研究発表	
24年4月	都OJT推進モデル校	
26年4月	都言語能力向上拠点校	
26年4月	市研究奨励校「道徳」	
28年1月	市研究奨励校・都言語能力向上拠点校発表	
28年6月	都ICT教育環境整備支援事業発表	
30年4月	くじらぐも教室(特別支援教室)開室	
31年2月	都小社研研究発表会会場校	
令和元年11月	創立60周年記念式典挙行	



学校支援地域本部ボランティアによる「かけ算九九検定」



## 小金井市立前原小学校

所在地 小金井市前原町三丁目4番22号  
 電話 042-383-1146 FAX 042-382-2046  
 校長 檀原 延和  
<http://www.maehara.school/>

### 〈教育目標〉

心身ともに健やかで、思いやりをもって行動し、自ら学び続ける子供の育成を目指す。

**やさしさ**   **かしこさ**   **たくましさ**

### 〈令和2年度の指導の重点〉

#### (1) やさしさ【人権尊重と規範意識、郷土への思い—豊かな心の醸成—】

- 褒めて育てる指導の充実、自己肯定感の醸成、温かい雰囲気、学級づくり、異学年交流の充実
- 学校生活、社会生活上のルール、定着（時間・集団行動・対人関係・学校のきまり等）
- 特別支援教育の充実と「ひだまり教室」との連携不登校児童への組織的対応
- 「前原小学校いじめ防止基本方針」に基づいた、いじめの未然防止及び早期発見・早期対応
- 地域の人材や教育資産の活用と野川等の自然環境を生かした体験活動の充実

#### (2) かしこさ【基礎・基本の徹底と主体的・対話的で深い学びの視点での授業改善】

- 「主体的・対話的で深い学び」と「授業のユニバーサルデザイン化」に向けた授業改善及び校内研究の推進
- ICT機器を活用した授業改善（GIGAスクール構想及びプログラミング授業の推進）
- 読書の推奨と子供の読書の質の向上
- 互いに授業を公開し、相互に授業の質を高める。（OJT 授業研究の実施）

#### (3) たくましさ【体力の向上—健やかな体と健康への意識の育成—安全教育の充実】

- 体力テストの結果を生かした授業改善及び1校1取組、1学級1実践等の体力向上に向けた取組
- オリンピック・パラリンピック教育の推進
- 学校安全教育プログラム等に基づいた自分の身は自分で守る態度や能力の育成

#### (4) 保護者・地域との連携強化と働き方改革の推進

- コミュニティスクール（学校運営協議会）を立ち上げ、地域と共に発展する学校づくりを目指す。
- 保護者・地域の方々の立場になって考える姿勢を大切にし、一層の信頼関係を築く。
- 子育ての悩みを保護者と共有し、力を合わせて子供を育てる教育活動を進める。
- 保護者や地域等のゲストティーチャーや協力者を活用した授業づくりを行う。
- 学校・学年だより、ホームページの充実により教育活動の様子を積極的に発信し、理解を得る。
- ICTの効果的な活用により業務の効率化を一層推進するとともに、職層に応じた役割を明確にする。
- ねらいを明確にして行事を精選し、児童と教職員がゆとりをもって教育活動を進めていく。

### 〈主な沿革〉

昭和39年4月	小金井市立前原小学校開校
41年2月	校歌制定
56年1月	54～56年度文部省道徳教育共同推進校 研究発表会
58年6月	野川改修工事の完成
60年4月	市研究奨励校（算数）
61年11月	都学校保健優良校表彰
62年2月	62、63年都よい歯の学校表彰
63年4月	市研究奨励校（社会）
平成3年11月	都学校給食優良校表彰
9年5月	前原小学校観察池完成
12年9月	コンピュータ室増設
14年9月	耐震工事完了
16年3月	中央校舎新築完成
16年10月	40周年記念式典挙行
17年11月	市研究奨励校（算数）研究発表会
20年2月	市学力向上推進指定校（国語）研究発表会
23年2月	市研究奨励校研究発表会（豊かなコミュニケーション能力をもつ児童の育成）
23年10月	普通教室にエアコン設置工事完了
24年8月	校庭芝生敷設工事完了
24年12月	校舎裏倉庫改築工事完了
27年2月	50周年記念式典挙行
令和元年5月	プール改修工事
6月	市ICT活用授業推進校・総務省次世代「スマートスクール・プラットフォーム実証事業実証校（H29～31）研究発表会「21世紀を拓く新しい学びの創造」～総合的な学習におけるプログラミング授業を通して～
8月	1階西トイレ改修
2年10月	体育館エアコン設置
2年11月	GIGA school 構想環境構築



たてわり班活動



プログラミング授業（カムロボ）



ICTを活用した対話的な学び（図工・鑑賞）



芝生ポット苗づくり



## 小金井市立本町小学校

所在地 小金井市本町五丁目29番21号  
電話 042-383-1147 FAX 042-382-2047  
校長 黒木 智道  
<http://www.koganei.ed.jp/~honchoes/>

### 【教育目標】

○強い子 ○やさしい子 ○考える子 ○働く子

### 【めざす児童像】

- 心身ともに健康な子供
- 心豊かで思いやりのある子供
- 他の子供のために頑張る子供
- 自分で考え行動できる子供

### 【特色ある教育活動】

#### ○プログラミング教育

Chromebook を使ってロボットを操作する、プログラミング教育を通して、粘り強く取り組む児童の育成に取り組んでいる。

#### ○地域の人材、施設等との連携

近隣の大学や地域の人材・施設等と連携し、児童の学習意欲・学力を高めるとともに、地域への愛着を深めている。

#### ○福祉体験や都立小金井特別支援学校との交流

共に助け合い、支え合って生きることの大切さを学ぶ機会の充実を図っている。

#### ○読書活動の充実

学校図書館司書と連携し、ブックトークやアニメーション、ビブリオバトル等を取り入れた授業や、保護者ボランティアによる読み聞かせ等、読書に親しむ児童の育成を図っている。また、図書ボランティアの協力で、図書室の整備等も行っている。

#### ○校庭芝生の維持管理と活用

6年生による芝生苗作り・植え付け活動や保護者・地域ボランティア、課外スポーツクラブと協力した校庭芝生の維持管理を行うとともに、校庭芝生を活用した体育的活動や環境学習の工夫に努めている。

### 【豊かな心の育成】

児童一人一人の自己肯定感や自尊感情を高めるために、日々の授業や教育活動の中で、教師が「ほめる・認める」ことを心がけている。

また、全校児童による挨拶運動や、学校行事の中で、上の学年が下の学年に対して励ましたり、努力のポイントを教えたり、共に協力して取り組むなど、心の交流に力を入れている。このような活動を通して、相手の立場や気持ちを考えた行動ができるようになるとともに、児童相互の心の絆や、下級生に対する思いやりや優しい気持ちが育成されており、このことが本校の伝統となっている。

### 【令和2年度の重点】

児童が「主体的・対話的で深い学び」をするための場や時間を確保している。思考力・判断力を高め自分の考えや思いを他者に理解させる表現力を育成するとともに、学びに向かう力や仲間と共に課題解決をしていく力の醸成に努めている。また、論理的思考力を育てるために、プログラミング教育に取り組むとともに、ICT機器の活用や読書の推進を図っている。

### 〈主な沿革〉

昭和41年4月	小金井市立本町小学校開校
41年10月	10月18日を開校記念日と定め、式典挙行
46年11月	学校教育賞受賞「強い子づくりの実践」
47年2月	研究発表会「強い子めざして」
48年11月	全国小学校社会科研究会開催
57年3月	研究発表会「考える子を育てる授業の工夫」
58年10月	ソニー理科教育振興資金受賞
平成5年12月	東京都学校給食優良校表彰
6年3月	市研究奨励校「学級活動」
10年4月	ボランティア活動協力校指定(～12年度)
10年8月	市研究奨励校「飼育栽培等の体験活動」
10年4月	市研究奨励校「理科」
12年4月	東京都消費者・環境教育課題研究校指定
13年4月	省エネルギー教育推進モデル校(～15年度)
14年1月	東京都消費者・環境教育研究発表会
15年8月	耐震工事竣工
16年2月	省エネルギー教育推進モデル校の表彰
17年10月	開校40周年記念式典
19年1月	市研究奨励校「国語」
22年8月	校庭芝生化工事竣工
25年2月	市研究奨励校「国語」
25年3月	東京都体力向上推進優秀校表彰
27年10月	開校50周年記念式典
30年4月	都プログラミング教育推進校
令和元年4月	市授業改善推進指定校「プログラミング」
2年10月	体育館エアコン工事竣工
2年11月	GIGAスクールChromebook一人1台配備





## 小金井市立緑小学校

所在地 小金井市緑町四丁目15番39号  
 電話 042-383-1148 FAX 042-382-2048  
 校長 所 夏目  
<http://www.koganei.ed.jp/~midories/>



### 〈教育目標〉

人間尊重の精神を陶冶し、知・情・意・体の調和のとれた人間性豊かな子どもの育成を目指す。

- たくましい子ども  
(健康・安全に留意し、健全な心身を育てる)
- すすんでする子ども  
(自主性を養い、責任と実践力を育てる)
- たすけあう子ども  
(情操を豊かにし、協調性を育てる)
- かながえる子ども  
(探求心を培い、創造性を育てる)

### 〈目指す学校像〉

みんなが輝く 緑小

- ・一心豊かで、自ら考え、行動する「緑っ子」の育成
- ・家庭・地域とともに豊かな心を育てる学校
- ・主体的に学習に取り組む態度と、確かな学力を身に付ける学校
- ・自ら考え、自主的に実践する態度を育む学校
- ・あいさつ・礼儀・きまりを守る等の生活の基本を大切にする学校

### 〈令和2年度の指導の重点〉

「すすんでする子ども(自主性を養い、責任と実践力を育てる)」を重点目標とし、「主体的・対話的で深い学び」の実現という視点からの授業改善に取り組む。また、外部人材や地域・近隣大学等の教育資源、ICT機器を積極的に活用し、学習内容への興味・関心を高め、わかりやすい授業を展開する。

### 〈特色ある教育活動〉

- 1 児童の主体的な取組を中心に、人権スローガン「ひまわり」の意識化と行動化を図る。特に、あいさつはコミュニケーションスキルの第一歩であることを意識し、学校や地域で児童が自らあいさつする習慣を身に付けさせる。
- 2 公園の清掃活動や高齢者施設との交流など、児童の発達段階に応じたボランティア活動を通して、社会貢献活動の意義を理解させ、勤労・奉仕・協力の精神を培う。
- 3 オリンピック・パラリンピック教育の中で、日本の伝統・文化に関する学習を系統的に行うとともに、世界の多様な国々の歴史や文化について、外国の方と交流することを通して、豊かな国際感覚を養う。
- 4 全校一斉の朝読書や読み聞かせ、読書週間の実施、「みどり小読書ノート」の活用等、読書習慣の定着に向けた読書活動の充実を図り、進んで読書する児童を育てる。
- 5 異年齢集団による兄弟学級(1・6年、2・4年、3・5年)で、小金井公園への校外学習や児童集会等を実施し、異なる学年とのかかわりを通してより豊かな人間関係を育む。

### 〈保護者・地域との協働〉

今年度から、小金井市で初めてのコミュニティ・スクールに指定されている。「緑小コミュニティ・スクール憲章」の下、学校・家庭・地域の協働による教育目標の実現を目指し、行動目標「ひまわりプラン」の意識化と実践化を図り、共に子供を育てていく(共育)。また、地域学校協働本部の協力を得ながら、外部人材との円滑な調整を図り、よりよい教育環境を整え、特色ある教育活動を進めていく。

### 〈主な沿革〉

昭和44年 4月	小金井市立緑小学校開校
5月	校舎1・2期工事完工
10月	開校記念日・校章制定
昭和46年 3月	校歌制定
昭和51年11月	市研究奨励校として研究発表会
昭和53年10月	開校10周年記念式典挙行 緑小音頭完成
昭和63年10月	開校20周年記念式典挙行
平成10年10月	開校30周年記念式典挙行
平成14年 2月	学校ピオトップ公開
平成18年 4月	「緑のカーテン」の設置
11月	市研究奨励校として研究発表会
平成20年10月	開校40周年記念式典挙行
平成24年 2月	市研究奨励校・都スポーツ推進校として 研究発表会「体育」
平成28年11月	市研究奨励校として研究発表会「国語」
平成29年 4月	オリンピック・パラリンピックアワード校
平成30年 4月	オリンピック・パラリンピックアワード校
5月	校内通級指導(大空教室)開始
11月	開校50周年記念式典挙行
平成31年 4月	オリンピック・パラリンピックアワード校
令和 2年 4月	コミュニティ・スクールに指定 オリンピック・パラリンピックアワード校
12月	高速インターネットの整備完了

### 【5年生の防災学習】





## 小金井市立南小学校

所在地 小金井市前原町二丁目2番1号  
 電話 042-383-1149 FAX 042-382-2049  
 校長 黒田 昭二  
<http://www.koganei.ed.jp/~minamies/>

### 〈教育目標〉

人間愛に根ざし、生命尊重の立場に立って、知・情・意・体の調和した、豊かな個性と創造力をもち、心も体も健康な南小の子供を育てる。

- ふかく考える子           ○なかよく助け合う子
- ◎ねばり強くやり通す子   ○明るく元気な子

### 〈令和2年度の指導の重点〉

- 問題解決型の学習を推進し、児童の主体性を育む。
- 各教科等の指導目標を明確にし、「授業改善推進プラン」に基づく授業改善を進め、基礎的・基本的な学力の定着を図るとともに、思考力、判断力、表現力等を育てる。
- 異年齢集団活動による創造的、体験的な活動を通して、豊かな心を育てるとともに、学年に応じたリーダーシップや連帯する態度を育てる。
- 基本的な生活習慣の定着を図り、社会生活の基本的なルールを身に付けさせ、自らの生活のめあてを主体的に実現しようとする態度を育てる。

### 〈豊かな自然環境を生かす教育活動〉

本校は、緑豊かな広々とした武蔵野公園に隣接し、学区の中には野川が流れており、自然環境に恵まれた地にある。こうしたすばらしい環境を意図的、計画的に教育活動に取り入れ、自然とふれあい、自然から学ぶ学習の機会の確保に努めている。

具体的には、生活科の「木の葉・木の実で遊ぼう」「公園で遊ぼう」の単元、理科学習における植物や生物の観察、学級活動やたてわり班による集会活動など、様々な学習の機会に積極的に地域の自然環境を活用している。また、総合的な学習の時間においても、野川流域の自然環境や水生動物の生態、水質調査を題材に「野川の通信簿」等、地域との連携を推進しながら体験的な学習活動の充実を図り、教育的効果を上げている。

### 〈心の交流を図るみなみたてわり活動〉

年間を通して異年齢集団による創造的、体験的な活動に重点的に取り組み、豊かな心を育てるとともに、学年に応じたリーダーシップや連帯する態度を育てる。

### 〈保護者・地域との連携〉

特色ある教育活動を進めるうえで、自然環境を生かした学習とともに、車椅子体験、手話、高齢者福祉施設や病院への訪問、和楽器学習のほか、「稲作体験協力者」や「ケナフの会」といった地域の教育力の活用を図っている。また、保護者による図書ボランティア、学習支援等も行っている。今年度は実践が厳しいが、今後とも連携を密に取りながら継続させ、教育活動の充実を図るとともに、人との関わり方、あいさつや礼儀といった基本的なことを身に付けさせる場として位置付けていく。

### 〈本校の研究活動〉

「関わり合い、主体的に学び、深い学びを実現する児童の育成～『読むこと』の技能を身に付け、活用する学習～」を研究主題とし、国語科で校内研究を進めている。国語科の目標である「言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を育成する」ことは、すべての学習の基礎・基本となる。本研究主題でスタート1年目の今年度は、「読みを深めるための指導事項の明確化」「言語活動を日常的に行う」という両面から研究を深めている。

### 〈主な沿革〉

- 昭和48年4月 小金井市立南小学校開校
- 58年10月 創立10周年記念式典挙行
- 平成5年10月 創立20周年記念式典挙行
- 15年10月 創立30周年記念式典挙行
- 18年12月 市研究奨励校研究発表（算数）
- 20年4月 通級指導学級「くじらぐも」開設
- 20年11月 市研究奨励校研究発表（算数）
- 24年4月 東京都スポーツ教育推進指定校
- 25年2月 都教育委員会より校務改善推進校として表彰
- 25年4月 東京都理数フロンティア指定校
- 11月 創立40周年記念式典挙行
- 26年4月 東京都オリンピック教育推進指定校
- 11月 東京都地域安全マップコンクール 最優秀賞
- 28年1月 交通安全国民運動中央大会最優秀校
- 29年2月 東京都学校歯科保健優良校として表彰
- 29年4月 教育委員会授業改善推進指定校（～30年度）
- 30年4月 特別支援教室（拠点校）開始
- 30年11月 教育委員会授業改善推進指定校研究発表（国語科～話すこと・聞くことの活動）
- 令和元年10月 群読発表集会（～2年2月）







## 小金井市立 小金井第一中学校

所在地 小金井市桜町二丁目3番15号  
電話 042-383-1161 FAX 042-382-0401  
校長 木下 英典  
<http://www.koganei.ed.jp/~kogan1js/>

### 〈教育目標〉

- すすんで学び、考える人になろう…………… (知)
- ひろく思いやる人になろう…………… (徳)
- 自ら鍛える人になろう…………… (体)

### 〈令和2年度の基本方針〉

- ①わかる・できる・活かす授業の一層の充実
- ②生活指導及び安全教育の一層の充実
- ③豊かな心を育成する教育の一層の充実
- ④進路に関する指導の充実
- ⑤特別支援教育の一層の充実
- ⑥体力の向上の推進と保健教育・食育の充実
- ⑦地域・保護者との積極的な連携
- ⑧服務規律の遵守と教育環境の整備

### 〈主な沿革〉

昭和22年4月	小金井町立小金井中学校開校 校章制定
29年4月	小金井町立小金井第一中学校と校名変更
33年10月	小金井市立小金井市第一中学校と校名変更
35年10月	市研究奨励校「道徳について」発表
38年3月	市研究奨励校「生徒を育てるために」
39年2月	文部省指定研究発表「一中の特別活動」
49年2月	市研究奨励校「分掌事務と組織のあり方」
平成2年2月	市研究奨励校「コンピュータ利用授業」
15年3月	一中ホームページ開設
16年3月	市研究奨励校「一中として目指す「生きる力」の具現化を図る」
19年11月	創立60周年
20年4月	特別支援学級設置
20年8月	耐震補強工事完了
21年2月	市研究奨励校「生徒が自ら考え進んで参加する授業の確立をめざして」
25年4月	特別支援学級（情緒固定I組、知的固定G組）設置
29年11月	創立70周年

### 【ふじがね祭】



### 【運動会】



### 〈恵まれた環境と施設〉

本校は、都立小金井公園と玉川上水に近く、武蔵野の面影を色濃く残す閑静な住宅地域の中に位置している。校地面積27,696m<sup>2</sup>を有し、専用のテニスコートやサッカーの公式大会もできる広い運動場と柔剣道場や談話室を併設した屋内運動場も設置されている。また、学年ごとの委員会室や多目的室のほかにも相談室やPTA会議室などがある。恵まれた教育環境の中で生徒たちはのびのびと学習・学校行事・部活動等に取り組んでいる。

### 〈本校の特色〉

- 生徒、教職員共にあたりまえのことを、あたりまえに「みんなが輝く小金井一中」を合言葉に「あいさつ」「時間を守る」「話を聞く」「正しい服装」の4つを「あたりまえ」のこととして大切にしている。また、教職員は、フットワーク・ネットワーク・チームワークを大切に「チーム一中」として組織的に取り組んでいる。
- 特別支援教育の充実  
通常学級に加え、知的障害特別支援学級と自閉症情緒障害特別支援学級を併設し、あらゆる障害についての理解を深めながら、生徒の指導・支援に当たっている。また、都立小金井特別支援学校と定期的な交流活動を行い、「障害の理解」を図る教育を展開している。  
スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、関係諸機関等と連携を密にし、教育相談活動の充実を図ることで、生徒や保護者の様々な相談に対応できる体制を整えている。
- 部活動の充実  
生徒の諸活動は活発である。部活動を通して規律ある生活習慣や粘り強く取り組む態度の育成を図っている。公式試合では、全国大会、関東大会、東京都大会に出場する部活動が多く、優秀な戦績を残している。  
令和2年度の部活動は次の通りである。  
陸上部、サッカー部、野球部、テニス部、ソフトテニス部、卓球部、男子バレー部、女子バスケットボール部、合唱部、吹奏楽部、美術部、ハンドクラフト部





## 小金井市立 小金井第二中学校

所在地 小金井市中町一丁目8番地25号  
 電話 042-383-1162 FAX 042-382-0402  
 042-385-3375 (特別支援学級)  
 校長 川井 まさよ  
<http://www.koganei.ed.jp/~kogane2js/>

### 〈教育目標〉

学校の目的は「良き社会人」の育成であり、民主的で自治力のある「正義の集団」を育成し、その集団の中で「良き社会人」としての資質・能力を最大限に伸ばしていく。

- 自他を認め、支え合う生徒
- すすんで学び、考え、行動する生徒
- 心身を鍛え、たくましく生きる生徒

### 〈令和2年度の取組目標と方策〉

- ① 集団の育成及び社会性を育む取組
  - ・生徒会活動や学級活動における自治的活動を通して、集団としての意識の向上を図り、正義の通る集団の育成を行う。
  - ・特別活動、特別の教科 道徳、総合的な学習の時間の取組を充実させ、勤労観・職業観の育成を図る
  - ・基本的生活習慣の定着を図り、特に挨拶ができる生徒の育成を行う。
  - ・不登校・いじめの未然防止、早期発見、早期対応への組織的取組を行う。
- ② 学力向上に関する取組
  - ・生徒に身に付けさせたい力を明確にし、生徒自らがその達成度を判断し、課題に基づいた学習の充実を図るための工夫を行う。
  - ・「主体的・対話的で深い学び」を実現できる授業を工夫し、「わかる・できる・活かす」力を育成するための授業改善を推進し、授業力の向上を図る。
  - ・学力に課題の多い生徒に対する支援体制を整え、その伸長を図る。
  - ・各教科等での言語活動の充実を図る。
  - ・新学習指導要領を見据えた教育活動の充実を図る。
- ③ 特別支援教育の充実
  - ・通常学級における特別な配慮を要する生徒への支援の充実を図る。
  - ・特別支援コーディネーター校内委員会を中心とした組織的取組を行う。
  - ・特別支援学級の進路指導の充実（就労）を図る。
  - ・特別支援学級の生徒と通常学級生徒との交流活動を計画的に進め、生徒相互の理解を図り、互いに支え合いながら共に暮らす地域社会の実現に取り組む。



### 〈主な沿革〉

昭和29年 4月	小金井町立小金井第二中学校開校 (校舎は一中)
29年10月	校舎完成 落成式挙行 (10月23日が開校記念日となる)
平成 6～8年	中学校進路指導総合改善事業実施校 (文部省)
7年7月	校舎改築工事開始
9～11年	校舎耐震補強工事
15～16年	東京都教育委員会男女平等教育推進校
16年10月	創立50周年記念式典
18年	小金井市学力向上推進校
19年	グループ研究 「社会に貢献する生徒の育成に関する研究」
20年	東京都スポーツ教育推進校
21～22年	小金井市教育委員会研究奨励校
22～23年	東京学芸大学総合的道德プログラム連携協力校 東京都環境教育実践推進校
24～25年	東京都教育委員会人権尊重教育推進校
26年11月	創立60周年記念式典
27年	オリンピック・パラリンピック教育推進校
27～28年	東京学芸大学教職大学院連携協力校 小金井市教育委員会授業改善推進校
28～30年	スーパーアクティブスクール指定校

### 〈特色のある活動〉

- ① 人生の先輩に学ぶ会  
 全学年グループに分かれ、様々な職業の社会人の方からその職業や社会との関わり方などのお話を伺い、「働く」ということについて考え、自己を見つめ直す機会としている。
- ② 生徒会活動によるあいさつ運動  
 生徒会本部役員による朝の「あいさつ運動」や学習生活委員会による「あいさつコンクール」など、生徒が主体的に取り組んでいる。今年度のあいさつ川柳に選ばれた「おはようの その一言で 笑顔咲く」にあるように、笑顔であいさつが飛び交う学校である。



## 小金井市立東中学校

所在地 小金井市東町一丁目 5 番33号  
 電話 042-383-1163 FAX 042-382-0403  
 校長 大友 敬三  
<http://www.koganei.ed.jp/~higasijs/>

### 〈教育目標〉

- 慈愛** 心豊かな、思いやりのある生徒  
**自主・自律** 自ら学び、意欲的に活動する生徒  
**創造** 夢や希望をもち、たくましく生きる生徒

### 〈目指す学校像〉

- 文武両道** 勉強、学校行事や部活動に一生懸命取り組む、たくましさをもった学校  
**礼儀・規律** 将来を見据え、礼儀や規範を身に付け、秩序があり楽しく過ごせる学校  
**安全・安心** 「一人ひとりを大切に」を教育の原点として、安全で安心感のある学校

東中学校は、昭和39年に市内で3番目の中学校として開校し、現在までに8,000名の卒業生が巣立っている。校章は「光は東方より」という言葉にちなみ、「光」をテーマとして、「東方から光のように輝いて、郷土の文化の発展を担う人になってほしい」という強い願いがこめられている。

### 〈令和2年度学校経営方針より〉

#### 学習指導

- 新学習指導要領に即した授業改善
  - 〇興味・関心を高める指導方法
  - 〇ICT機器の有効活用
  - 〇新しい道徳授業の実践
- 「考えさせる」「自分の意見を表現する」「発表させる」授業の推進
- 学びのサイクルの構築と持続的な学習の推進
  - 〇基礎基本の徹底
  - 〇シラバスの作成と活用による学習習慣の育成
  - 〇家庭学習習慣の確実な定着

#### 生活指導

- 全教職員の共通理解と協力体制の強化
- 生徒理解、いじめ・不登校や問題行動等へのていねいな対応
  - 〇「東中いじめ基本方針」に沿って未然防止と早期発見・初期対応に努める。
- 特別支援教育の推進と教育相談体制の充実
- あいさつの励行をはじめ、言語環境整備の推進

#### 進路指導

- 人間関係形成・社会形成能力の育成
- 主体的に進路を選択できる能力の育成
  - 〇3年間の系統的な指導と自己理解の深化
  - 〇進路情報の提供
  - 〇体験学習の充実
  - 〇キャリア教育の推進
- 相談体制の充実

#### 特色ある教育活動

- 人権教育・道徳教育の重視
- 特別活動の充実
- 読書活動の充実
- ボランティア活動への参加の奨励
- 食育・健康教育の推進
- 防災教育・安全教育の推進
- オリンピック・パラリンピック教育の推進と体力向上

### 〈主な沿革〉

- 昭和39年 4月 小金井市立東中学校開校  
 42年 4月 42・43年度 文部省の生徒指導推進校  
 43年 4月 市の教育研究協力校（生活指導）  
 43年10月 校舎増築（6教室）工事完了  
 53年 6月 東京都道徳教育指導助言者研究協議会の研究授業の発表  
 54年 5月 文部省の道徳教育推進校  
 54年 6月 東京都の研究奨励校  
 59年 3月 校舎増改築（特別教室棟）工事完了  
 平成 4年 3月 体育館・プール改築工事完了  
 4年11月 校庭改修工事完了  
 13年 4月 東京都体力づくり研究協力校・都中学校体育連盟及び市の研究奨励校  
 14年11月 体力づくり研究発表  
 16年10月 創立40周年記念式典  
 17年 5月 都研究「学区域小・中学校連携推進」  
 18年 2月 市の学力向上推進指定校の発表  
 20年 9月 校舎耐震補強工事・校庭改修工事完了  
 23年 2月 校庭トラック周辺芝生化工事完了  
 24年 4月 市の研究奨励校  
 「ICT機器を活用した授業改善」  
 26年 2月 研究奨励校の発表  
 26年11月 創立50周年記念式典  
 27年 9月 東京都 ICT 教育環境整備支援事業推進校  
 28年 4月 東京都リビビック・パラリビック教育重点校  
 29年 4月 東京都リビビック・パラリビック教育アワード校  
 令和 2年 4月 東部地区共同事務室開室



オリンピック・パラリンピック教育  
「オリンピックによる柔道の授業」



安全教育「救命救急講習」



## 小金井市立緑中学校

所在地 小金井市緑町二丁目11番47号  
 電話 042-383-1164 FAX 042-382-0404  
 校長 山中 栄 治  
<http://www.koganei.ed.jp/~midorijs/>

### 〈教育目標〉

- すすんで学び、高い知性を身につけよう…… (知)
- 社会の一員として、思いやりのある人になろう (情)
- 希望をもって、ねばり強くやりぬく人になろう (意)
- からだをきたえ、健康な人になろう…………… (体)

### 〈学校の教育目標を達成するための基本方針〉 (抜粋)

- (1) 人間性の育成 (情・意の育成)
 

人権尊重の精神を基盤に、思いやりと規範意識をもつ自立した個人を育てる。また、様々な奉仕活動や体験活動を通じて、地域社会の一員としての自覚を高め、地域を愛し地域に貢献する態度を育てる。
- (2) 学力の定着と向上 (知の育成)
 

基礎基本の定着を図るとともに個性の伸長を目指し、自ら学び自ら考える力を育て、学力を向上させる。  
 そのために授業改善推進プランに基づいた授業改善を推進する。
- (3) 健康・体力の向上 (体の育成)
 

生活指導をはじめ全教育活動において、生命の大切さと心身の健康についての認識を深めさせ、健康安全と体力増進に努めさせる。

### 〈地域と連携したボランティア活動〉

生徒会本部役員を中心に意欲的なボランティア活動を展開してきた。東京都ボランティア活動協力校になって以来、落ち葉回収作戦や子ども祭り、ウォーキングフェスタ等の地域行事などにも積極的に参加し、地域の関係団体や施設との連携を図りながら様々な活動に取り組み、国際ソロプチミストからSクラブの認証を受けてきた。また、学校支援地域本部を設置し、大人のボランティアを学校に導入し、地域住民、学生、保護者等の協力で英検・数検・漢検の事前学習及び試験会場の運営を行ったりしてきた。さらには、放課後の補習や地域住民による図書室の時間外開室、放課後カフェ (放課後の居場所作り)、フォニックス講座等も実施したりしてきた。

### 〈文化発表会〉

文化発表会はスローガン決めから始まる。令和2年度スローガンは「繋ぐ(つなぐ)」である。合唱や貼り絵でクラス、学年、全校がつながり、全校生徒による全校貼り絵が体育館の舞台正面を飾る。

文化発表会の内容は、全校生徒で取り組んだ全校貼り絵の発表と合唱発表である。合唱発表はクラス合唱、学年合唱とスケールを変える。ホールに響く質の高い迫力ある歌声は、緑中の伝統的となっている。そして舞

台上で合唱部と弦楽部の発表もあり、会場内を魅了する。



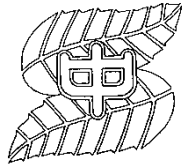
全校貼り絵



舞台発表 (府中芸術の森劇場にて)

### 〈主な沿革〉

昭和47年 4月	小金井市立緑中学校開校
5月	鉄筋校舎完成、給食開始
11月	開校記念式典、22日を開校記念日と定める
48年 3月	校歌制定
	緑中学校父母と教師の会発足
5月	校舎落成記念発表会実施
55年10月	校庭改修記念行事実施
57年 2月	増築校舎完成 (普通教室各階2教室分)
63年11月	父母と教師の会、文部大臣表彰受賞
平成2年11月	学校給食優良校表彰 (財団法人東京都学校給食会)
4年 4月	東京都ボランティア活動協力校
7年 4月	東京都ボランティア推進モデル校
12~14年	校舎改修・耐震補強工事完了
15年 3月	生徒会の継続的なボランティア活動により 東京都教育委員会児童・生徒等表彰を受賞
16年 2月	合唱部 第70回NHK全国学校音楽コンクール・全国コンクール金賞受賞により東京都教育委員会児童・生徒等表彰を受賞
17~18年	東京都日本の伝統・文化理解教育推進指定校
22年	東京都スポーツ教育推進指定校
22~23年	東京都人権尊重教育推進指定校
24年11月	創立40周年記念式典
25年 4月	通級指導学級 (I組)開設
25~26年	東京都理数フロンティア校
25~26年	小金井市地域連携事業協力校 東京都学校と家庭の連携推進事業校
27~28年	東京都言語能力向上拠点校
28~29年	小金井市研究奨励校
28~30年	東京都道徳教育推進校



## 小金井市立南中学校

所在地 小金井市貫井南町一丁目26番1号  
 電話 042-383-1105 FAX 042-382-0405  
 校長 塩原 真一  
<http://www.koganei.ed.jp/~minamij/s/>



### 〈教育目標〉

- 自ら学び深く考える生徒
- 心豊かで仕事に励む生徒
- 明るく心身を鍛える生徒

### 〈令和2年度の指導の重点〉

- ・「一人一人が生きる真の学び」に向け基礎的・基本的な学習を充実し、基礎・基本の定着を図るとともに、生徒の理解や能力に応じた発展的な学習の充実に努める。また、新学習指導要領完全実施に向けて、スムーズな移行・導入ができるように、教材・教具や授業展開方法の工夫・改善を図る。
- ・道徳：道徳の充実に向けて、特別の教科「道徳」において「考える道徳」「議論する道徳」を推進し、心の教育の充実を図る。
- ・特活：キャリア教育に関わる活動において、活動を記録するワークシート等蓄積する教材「キャリア・パスポート」を活用して、学びのプロセスを振り返らせる。
- ・生活：基本的な生活習慣とスクールカウンセラーやソーシャルワーカーを活用し、教育相談の充実を図る。
- ・総合的な学習の時間：「未来を切り拓く力」を目指し、一人一人が課題を設定し、自ら解決していく力を育成する。

### 〈本校が目指す学校・生徒像〉

- 1 最上級生が名実とともにリーダーである学校
- 2 安心・安全が確保された居心地の良い学校
- 3 人の話をきちんと聞き、自分の意見を言える学校
- 4 礼儀、マナーをきちんと指導する学校
- 5 子供たちの規範意識を高める学校

### 〈教育活動の内容〉

- 人間尊重の精神を基本とし、広く国際社会に生きる人間として、心身ともに健康で生涯を通して学び続けることのできる生徒の育成を目指し、その具現化を図る。
- ・人権尊重精神を基盤にいじめの早期発見・早期対応を図り、偏見と差別のない好ましい人間関係を確立する。また、常に人権感覚を磨き、生命を大切にすると共に、自他を思いやる心を育成する。
- ・望ましい人間形成の育成と規範意識の向上に努める。(挨拶運動、基本的な生活習慣の定着指導、生徒会活動の充実)
- ・学生ボランティアを活用した「学習教室」や定期考査前等、教科ごとに「質問教室」を設定する。
- ・生徒手帳を活用し、スケジュール管理及び計画力の向上を図りながら学力向上を目指す。
- ・毎月、一週間読書活動を行い豊かな感性や情緒を育むとともに、放課後に学校図書館を開放し読書・学習の便宜を図る。
- ・保護者や地域に信頼される学校を目指し、学校の情報を積極的に発信するとともに保護者と情報の共有を図る。(学校ホームページ、学校便り・学年便りの充実、学校公開、道徳授業地区公開講座、地区懇談会等)
- ・安全教育の徹底を図る。(安全指導、交通ルール、セーフティ教室、避難訓練、救助訓練活動、救急救命講習会、保護者引き取り訓練)
- ・健康教育を推進する。(食育の推進、熱中症予防講習会やスポーツ行事等への積極的参加)
- ・オリンピック・パラリンピック教育を推進するとともに、併せて、教職員に対しては、専門医によるアレルギー対応研修及びエビペン講習、小金井消防署と連携を図った救命措置講習等を開催し指導の徹底を図る。

### 〈主な沿革〉

- |           |   |
|-----------|---|
| 昭和52年 4月  | 小金井市立南中学校開校                               |
| 52年 6月    | 校舎(第一期工事)完成                               |
| 52年11月    | 開校式挙行、22日を開校記念日とする。                       |
| 53年 2月    | 校章制定                                      |
| 53年 5月    | 校舎(第二期工事)体育館・プール完成                        |
| 54年 2月    | 校歌制定                                      |
| 58年 4月    | 都教育研究(生活指導)奨励指定校                          |
| 58年 4月    | 都ボランティア活動推進協力校                            |
| 61年11月    | 創立10周年記念式典挙行                              |
| 平成 4年     | 第一期校舎改修工事                                 |
| 4年 4月     | 学区一部変更                                    |
| 5年        | 第二期校舎改修工事                                 |
| 8年11月     | 創立20周年記念式典挙行                              |
| 10年~11年   | 文部省スクールカウンセラー活用調査研究協力校、市研究奨励校             |
| 12年 5月    | 文部省心の教室相談員調査研究協力校、市研究奨励校                  |
| 17年       | 市研究奨励校「主体的学習習慣の形成を目指す指導の工夫」               |
| 18年10月    | 創立30周年記念式典挙行                              |
| 19年       | 学力向上推進指定校「主体的学習の形成を目指す指導の工夫」～学力向上を視野に入れて～ |
| 24・25年度   | 「わかる・できる・活かす」授業改善推進指定校(25年度に発表)           |
| 25年度      | スポーツ教育推進校(東京都)                            |
| 26年度～     | オリンピック教育推進校(東京都)校庭芝生化(部分的)                |
| 27年 9月    | 「交通安全運動市民の集い」に吹奏楽部が参加、小金井警察署長より感謝状授与      |
| 28年11月    | 創立40周年記念式典挙行                              |
| 30年 9月    | 救急業務協力校にて感謝状授与                            |
| 31年・令和2年度 | 研究奨励校「ICT活用の推進」                           |

## 第 II 編

平成30年度・令和元年度の事業概要及び実績



# 1 教育委員会

## 1 教育委員会の制度

昭和23年、「教育委員会法」が制定され、戦前の中央集権的教育行政に代わって新しい戦後の教育行政制度として教育行政の民主化、地方分権、そして自主性を確保しようとしたものである。本市では、昭和27年11月に教育委員の選挙が行われ教育委員会が設置された。

さらに昭和31年6月から「教育委員会法」に代わり、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律」が制定され、今日に至っている。教育委員会は、学校その他の教育機関の管理、学校の組織編成、教育課程、教科書その他の教材の取扱い及び教育関係機関の職員の身分取扱い並びに社会教育その他教育、学術、文化に関する事務を執行するために、地方公共団体が設置する合議制の執行機関である。

## 2 教育委員会のしくみ

小金井市教育委員会は、市長が市議会の同意を得て任命した教育長と4人の委員で構成される。

教育長の任期は3年。委員の任期は4年だが、教育行政の方針が急激に変わるとともに、安定性を確保するため、発足当時から一部の委員を改任するよう任命の時期が異なっている。

教育長は教育委員会の会務を総理（会議の主宰、事務の執行等の権限を持つこと。）し、その事務を処理するため事務局が置かれている。

教育委員会の会議は、毎月第2火曜日を定例会とし、必要に応じて臨時会が開かれている。会議録は図書館・議会図書室・情報公開コーナーに備え付け公開されている。また、会議録は小金井市のホームページでも見ることができる。

## 3 教育長及び教育委員

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	大 熊 雅 士	平成30年10月1日～令和3年9月30日
教 育 長 職 務 代 理 者	鮎 川 志 津 子	平成28年12月1日～令和2年11月30日
委 員	福 元 弘 和	平成30年4月1日～令和4年3月31日
委 員	岡 村 理 栄 子	平成30年4月1日～令和4年3月31日
委 員	浅 野 智 彦	平成29年7月11日～令和3年7月10日

令和2年3月31日現在

#### 4 歴代教育長及び教育委員

昭和32	33	34	35	36	37	38	39	
31.10.1 中野功一 (任期一年)	32.9.30	中野功一			35.9.30	36.9.30	佐藤卯吉	
	32.10.1		35.10.1		36.10.1			
(任期四年) 星野和子				35.9.30	前田須磨		38.4.17	
				35.10.1			38.10.1	
(任期四年) 鴨下良輔				35.9.30	36.9.30	伊藤文平		
				35.10.1				
(任期三年) 大堀梅雄			34.9.30	清水角治		38.3.30	本田卓	
			34.10.1			38.6.24		
畑野春吉(教育長)		33.9.30	畑野春吉(教育長)			37.9.30	大嶋	
(任期二年)		33.10.1				37.10.1		

昭和46	47	48	49	50	51	52	53
46.9.30		中島勇次		48.10.17	中島勇次		52.10.17
				48.10.18			52.12.16
46.10.15		稲垣信雄			50.10.15		
				46.10.1			52.4.1
46.9.30		47.10.11		中村幸之助		51.10.11	52.10.17
						50.10.1	51.10.12
46.10.1		47.10.12		佐藤忠恕		51.12.31	52.10.18
河野通明		47.10.11				52.1.1	
		48.1.1					
大嶋英二(教育長)			49.5.16	小林主計(教育長)		51.12.11	
				50.9.19			

昭和60	61	62	63	平成元	2	3	4
60.7.10		鴨下源一			元.7.10	鴨下源一	
				元.7.11	2.1.23		
60.7.10		佐瀬宗一郎			元.7.10	佐瀬宗一郎	
				元.7.11			
中村幸之助				63.10.11	中村幸之助		
				63.10.12			
60.12.15		田中正一			元.12.15		
				2.4.1			
60.8.9		60.12.16		高橋 榮(教育長)		3.9.18	
				62.9.18		3.10.1	
高橋 榮(教育長)		62.9.19		高橋 榮(教育長)			



	40	41	42	43	44	45	46
39.9.30	40.9.30	41.10.1	42.9.30	中島 勇次		44.10.4	45.10.1
	40.10.5		42.10.1			44.10.18	
39.9.30	小松 齡司	41.9.30	42.9.30	稲垣 信雄	44.9.30	45.9.30	
	39.10.1			42.10.16	43.10.1	44.10.1	
39.9.30	鴨下 誠一郎	41.9.30	42.9.30	43.9.30	中村 幸之助		45.9.30
	39.10.1	41.10.1	42.10.1		43.10.12	44.10.1	45.10.1
39.9.30		本田 卓		43.9.30	河野 通明		
	39.10.1				43.10.12		
英二 (教育長)		41.9.30	大嶋 英二 (教育長)			45.10.25	
			41.10.26				45.10.26

	54	55	56	57	58	59	60
	保立 旻		56.3.31		鴨下 源一		
				56.7.11			
	鈴木 富三		56.3.31	濱 真喜男			
				56.7.11			
	中村 幸之助	55.10.11	中村 幸之助			59.10.11	
			55.10.12				59.10.12
	佐藤 忠恕	55.12.31		56.12.15 田中正一	田中正一		
				56.7.11	56.12.16		
	54.6.19	大嶋 英二 (教育長)			57.12.7	58.6.22	高橋 榮 (教育長)
	54.9.19					58.9.19	

	5	6	7	8	9	10	11
	5.7.10	中川 雅晴				10.7.31	
		5.7.11			9.7.16		
	5.7.10	5.7.13	佐瀬 宗一郎	8.10.13	9.7.10	有近 哲郎	
		5.7.11		8.10.14		9.12.24	
4.10.11	中村 幸之助			8.10.11	梶尾 高根		
	4.10.12			8.10.12	10.8.11		
	倉田 照子	6.3.31	倉田 照子		9.7.15		
		6.4.1		8.10.14	9.7.16	10.4.1	
	小野 武敏 (教育長)			7.9.30	小野 武敏 (教育長)		
				7.10.1			

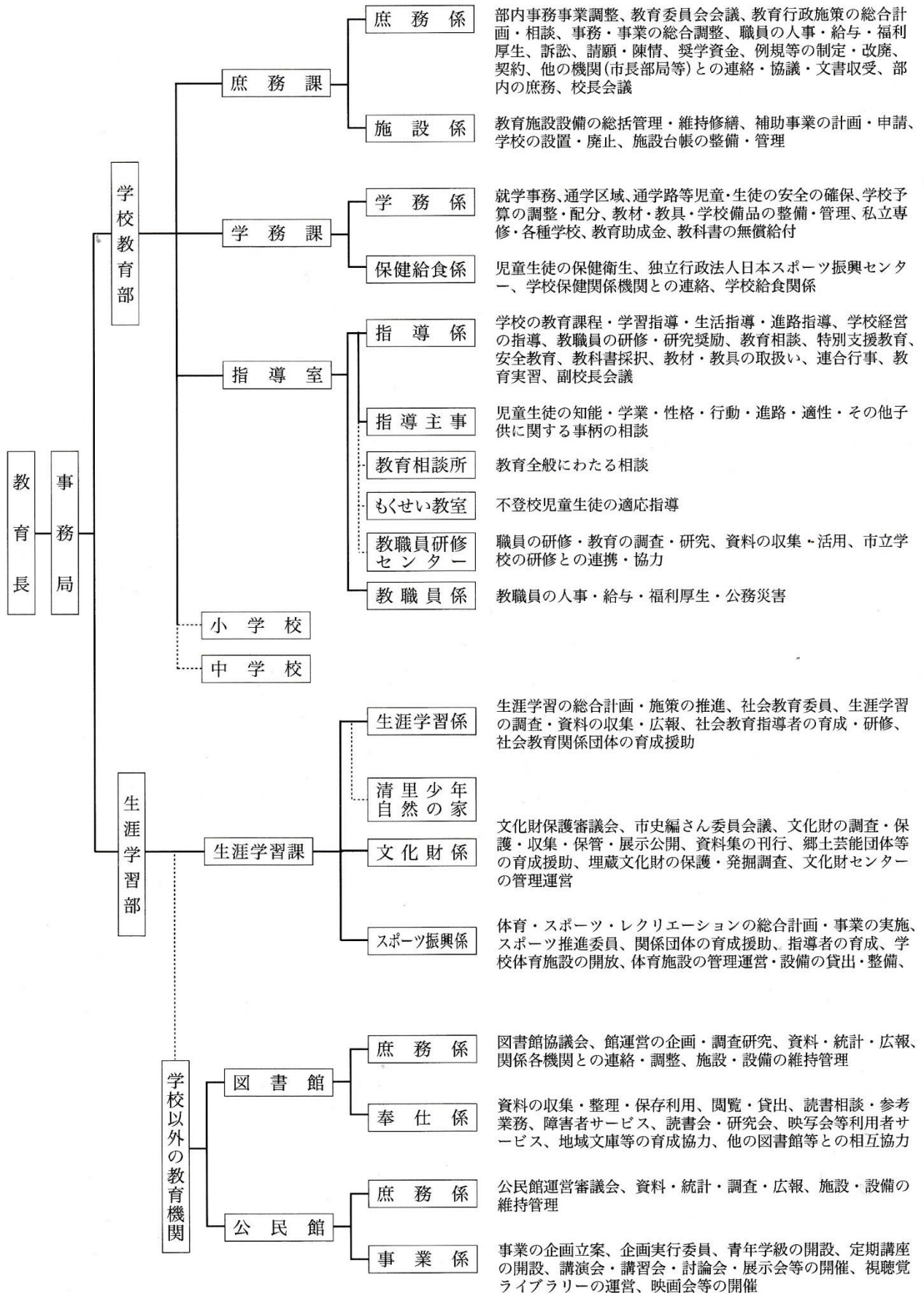
平成12	13	14	15	16	17	18	19
伊東 淨堯	13.7.10	14.1.8	14.4.1	伊東 淨堯	17.7.10		
11.6.25		13.7.11				17.7.11	
有 近 哲 郎	12.11.6	13.12.23	14.4.1	伊 藤 恒 子		18.3.31	18.4.1
		巨理千鶴子	14.4.1		16.11.30		
	12.10.11	12.12.1			16.12.1		
倉 田 照 子		14.3.31	14.4.1	菊 地 邦 夫		18.3.31	18.4.1
11.9.30				15.9.30			
11.10.1		小 野 武 敏 (教育長)			15.10.1	谷 垣 十 四 雄 (教育長)	

平成27	28	29	30	令和元	2
		29.7.10			
	渡 邊 恭 秀		29.7.11	浅 野 智 彦	
福元弘和	27.9.30	福 元 弘 和	30.3.31	福 元 弘 和	
26.4.1				30.4.1	
鮎川志津子	27.9.30	28.11.30		鮎 川 志 津 子	
26.4.1	27.10.1	28.12.1			
	岡 村 理 栄 子		30.3.31	岡 村 理 栄 子	
26.4.1				30.4.1	
山本修司	27.9.30	山 本 修 司 (教育長)	30.3.31	30.9.30	大 熊 雅 士 (教育長)
(教育長)	27.10.1			30.4.1	30.9.30

	20	21	22	23	24	25	26
伊東 淨 堯		21.7.10	高 木 裕			25.7.10	渡邊恭秀
			21.7.11				25.7.11
伊 藤 恒 子			22.3.31	伊藤恒子			26.3.31
	20.12.1	21.7.14	22.4.1				
	20.11.30	鮎 川 志津子			24.11.30		
	20.12.1		22.4.1			24.12.1	
			22.3.31	宮本 誠			26.3.31
菊 地 邦 夫		21.7.14	22.4.1		向井一身 (教育長)		
19.9.30	向井一身 (教育長)			23.4.26	23.9.30	24.1.13	山本修司 (教育長)
	19.10.1				23.7.1	23.10.1	26.1.6
					津幡 道夫 (教育長)		
					24.4.1	25.10.31	

 欠員 ← 委員長 ← 委員長職務代理者 (～H27.9.30)  
 教育長職務代理者 (H27.10.1～)

## 5 教育委員会の組織と事務分掌



## 6 教育委員会・教育機関の職員数

### (1) 教育委員会・社会教育機関職員数

(令和2年3月31日現在)

部・課名等	内 容	(任期付含む) 正規	再任用	非常勤
学 校 教 育 部	部長1	1		
庶 務 課	課長1、庶務係3 (係長1、主任1、主事1)、施設係4 (係長1、主任2、主事1)	8		2
学 務 課	課長1、学務係4 (係長1、主任3)、保健給食係3 (係長1、主査1、主事1)	8		2
指 導 室	室長1、統括指導主事1、指導係3 (係長1、主任1、主事1)、教職員係3 (係長1、主任1、主事1)	8		36
生 涯 学 習 部	部長1	1		
生 涯 学 習 課	課長2、生涯学習係2 (係長1、主任1)、文化財係2 (係長1、主事1)、スポーツ振興係3 (主任2、主事1)	9		4
図 書 館	館長1、庶務係2 (係長1、主事1)、奉仕係10 (係長1、主査1、主任2、主事7)	13		20
公 民 館	館長1、庶務係2 (係長1、主任1)、事業係7 (係長1、主査1、主任3、主事2)	10		3
合 計		58	0	67

### (2) 市立小・中学校教職員数

学校名	都費負担教職員 (令和元年5月1日現在)										
	教 員 数					事 務 等				合計 ①+②	非常勤 講師
	校長	副校長	教諭	養護	計①	事務 (正規)	事務 (非常勤)	栄養士	計②		
第一小学校	1	1	25	1	28		1	1	2	30	4
第二小学校	1	1	35	1	38	4	1		5	43	8
第三小学校	1	1	31	1	34	1			1	35	6
第四小学校	1	1	26	1	29		1		1	30	5
東小学校	1	1	28	1	31	1			1	27	6
前原小学校	1	1	21	1	24		1		1	25	4
本町小学校	1	1	19	1	22		1		1	23	4
緑小学校	1	1	25	1	28	1		1	2	30	5
南小学校	1	1	25	1	28	1			1	29	4
小学校小計	9	9	235	9	262	8	5	2	15	272	46
第一中学校	1	1	28	1	31		1		1	32	11
第二中学校	1	1	23	1	26	1			1	27	6
東中学校	1	1	16	1	19	1			1	20	6
緑中学校	1	1	26	1	29	1			1	30	8
南中学校	1	1	18	1	21		1		1	22	5
中学校小計	5	5	111	5	126	3	2		5	131	36
教育委員会			2		2					2	3
合 計	14	14	348	14	390	11	7	2	20	405	85

※教諭には、栄養教諭・病気休暇・在籍専従・在外教育施設派遣・過員を含む。

	市費負担教職員（令和2年3月31日現在）										
	正 規			正規職員 合計	給食 調理 (会計年度)	用務 (会計年度)	用務 (会計年度)	施設 管理 (会計年度)	学校 事務 (会計年度)	介助員 (会計年度)	支援員 学習指導員 (会計年度)
	栄養士	給食 調理	一般 用務								
第一小学校		4	1	5	4		1	2	1	2	1
第二小学校	1		1	2			1	2	1	2	1
第三小学校	1	4	1	6	5		1	2	2		1
第四小学校	1		1	2		1		2	1		1
東小学校		3	1	4	5		1	2	1	2	1
前原小学校	1			1		1	1	2	1		1
本町小学校	1	3	1	5	3	1		2	1		1
緑小学校			1	1		1		2	1		1
南小学校	1		1	2			1	2	1		1
小学校小計	6	14	8	28	17	4	6	18	10	6	9
第一中学校	1			1		1	1		1	2	1
第二中学校	1		1	2			1		1	1	1
東中学校	1		1	2			1		1		1
緑中学校	1		1	2			1		1		1
南中学校	1		1	2		1		2	1		1
中学校小計	5		4	9		2	4	2	5	3	5
合 計	12	14	10	36	17	7	11	28	14	9	14

## 2 教育財政

### 1 教育費決算額と財源内訳

(1)平成30年度

(単位：千円)

項	内訳 決算額	(財源内訳)					
		国庫支出金	都支出金	地方債	基金繰入金	その他	一般財源
		教育総務費	705,330	0	13,537	0	0
小学校費	969,065	8,064	82,364	0	24,568	183	853,886
中学校費	564,559	11,509	67,127	0	16,780	15	469,128
社会教育費	699,831	0	23,411	0	0	1,880	674,540
保健体育費	354,757	0	32,990	0	0	14,318	307,449
合計	3,293,542	19,573	219,429	0	41,348	17,678	2,995,514

(2)令和元年度

(単位：千円)

項	内訳 決算額	(財源内訳)					
		国庫支出金	都支出金	地方債	基金繰入金	その他	一般財源
		教育総務費	671,669	241	20,931	0	0
小学校費	1,071,208	3,928	70,213	0	69,394	523	927,150
中学校費	590,126	4,851	48,848	0	31,721	24	504,682
社会教育費	736,502	0	23,326	40,000	0	1,513	671,663
保健体育費	513,735	0	63,807	118,000	0	20,180	311,748
合計	3,583,240	9,020	227,125	158,000	101,115	23,107	3,064,873

(注) その他には使用料及び手数料、財産収入等を含む。

## 2 教育費決算の推移

### (1) 一般会計教育費の5年間の推移（決算）

年度	一般会計 決算額 (円)	教 育 費				校舎等建設整備費	
		決算額 (円)	一般会計に 占める割合	人口1人当 たりの額 (円)	児童生徒1人当 たりの額 (円)	決算額 (円)	教育費に 占める割合
27	38,621,286,306	3,144,270,494	8.1%	26,721	435,193	149,805,344	4.8%
28	40,243,534,260	3,064,262,802	7.6%	25,892	426,778	114,821,762	3.7%
29	40,118,080,107	3,294,789,501	8.2%	27,549	451,341	271,640,234	8.2%
30	45,587,073,801	3,217,566,331	7.1%	26,610	440,099	217,800,554	6.8%
元	44,787,476,566	3,489,554,524	7.8%	28,601	464,098	198,308,072	5.7%

(注) 人口（住民基本台帳と外国人登録による）、児童生徒数（市立小・中学校在籍全児童生徒数）は5月1日現在

### (2) 学校教育関係費の5年間の推移（決算）

年度区分 学校種別		平成27年度			平成28年度			平成29年度		
		人数	需用費	備品購入費	人数	需用費	備品購入費	人数	需用費	備品購入費
小学校	児童数	人 4,895	円 225,975,644	円 40,055,979	人 4,921	円 203,043,214	円 24,846,879	人 5,056	円 212,284,853	円 67,893,838
	児童1人 当たり		46,165	8,183		41,260	5,049		41,987	13,428
中学校	生徒数	2,330	120,837,684	17,091,274	2,208	134,273,491	10,728,455	2,149	129,451,794	23,229,312
	生徒1人 当たり		51,861	7,335		60,812	4,859		60,238	10,809

年度区分 学校種別		平成30年度			令和元年度		
		人数	需用費	備品購入費	人数	需用費	備品購入費
小学校	児童数	人 5,227	円 215,877,702	円 28,579,229	人 5,480	円 213,185,630	円 57,416,998
	児童1人 当たり		41,301	5,468		39,903	10,478
中学校	生徒数	2,084	122,261,068	13,799,769	2,039	117,273,129	24,324,954
	生徒1人 当たり		58,667	6,622		57,516	11,930

(注) 1 人口（住民基本台帳と外国人登録による）は4月1日現在、児童生徒数（市立小・中学校在籍全児童生徒数）は5月1日現在

2 学校管理費、教育振興費、学校保健給食費の合計額

3 児童・生徒1人あたりの金額は小数点以下四捨五入



### 3 市立小・中学校施設保有状況

令和元年5月1日現在

学校名	校地面積(㎡)			児童生徒数(人)	1人当たり面積(㎡/人)		校舎	
	建物敷地	運動場	計		校地	運動場	面積(㎡)	1人当たり面積(㎡/人)
小金井第一小学校	7,263	4,270	11,533	597	19.32	7.15	5,416	9.07
小金井第二小学校	5,183	9,910	15,093	541	27.90	18.32	5,922	10.95
小金井第三小学校	8,217	9,687	17,904	867	20.65	11.17	6,503	7.50
小金井第四小学校	8,517	5,910	14,427	552	26.14	10.71	6,125	11.10
東小学校	6,568	6,191	12,759	659	19.36	9.39	7,045	10.69
前原小学校	4,645	6,942	11,587	553	20.95	12.55	4,356	7.88
本町小学校	3,180	6,903	10,083	527	19.13	13.10	4,146	7.87
緑小学校	6,991	6,081	13,072	659	19.84	9.23	5,483	8.32
南小学校	6,938	4,584	11,522	525	21.95	8.73	5,389	10.26
小金井第一中学校	10,355	17,341	27,696	446	62.10	38.88	7,701	17.27
小金井第二中学校	8,481	6,590	15,071	403	37.40	16.35	6,467	16.05
東中学校	8,056	8,677	16,733	282	59.34	30.77	5,013	17.78
緑中学校	6,551	7,026	13,577	533	25.47	13.18	7,087	13.30
南中学校	8,693	7,553	16,246	375	43.32	20.14	5,929	15.81
合計	99,638	107,665	207,303	7,519	27.57	14.32	82,582	10.98

令和元年5月1日現在

学校名	教室数		屋内運動場(㎡)				給食室		プール		
	普通	特別	建築年度	保有面積	運動床面積	1人当たり運動床面積(㎡/人)	建築年度	規模(㎡)	建築年度	長さ(m)	幅(m)
小金井第一小学校	21	14	H 7	1,364	667	1.12	S46	190	H 6	25	11
小金井第二小学校	21	25	S50	1,052	406	0.75	S46	162	S40	25	11
小金井第三小学校	26	12	S63	1,407	764	0.88	S51	262	S36	25	10
小金井第四小学校	18	16	S37	508	400	0.72	S54	252	S38	25	11
東小学校	22	14	H 2	1,036	668	1.01	S57	267	S41	25	11
前原小学校	17	11	S41	608	411	0.74	S54	302	S58	25	11
本町小学校	16	11	S42	619	404	0.77	S40	157	S40	25	11
緑小学校	20	13	S45	726	410	0.62	S44	222	S44	25	11
南小学校	17	17	S49	675	413	0.79	S48	253	S49	25	11
小金井第一中学校	17	24	S59	1,322	879	1.97	S49	262	H 4	25	11
小金井第二中学校	14	20	S61	1,514	826	2.05	S47	234	S61	25	10
東中学校	9	19	H 3	1,514	840	2.98	S46	201	H 3	25	11
緑中学校	15	26	S48	794	569	1.07	S47	248	S47	25	11
南中学校	11	16	S53	1,018	690	1.84	S52	233	S53	25	13
合計	244	238	—	14,157	8,347	1.11	平均	231.79	—	—	—

## 4 児童・生徒数の推移と進路状況

### (1) 学校別児童・生徒数、学級数の推移

(小学校)

(令和元年5月1日現在)

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小金井第一小学校	児童数	575	567	577	569	581
	学級数	18	18	18	18	18
小金井第二小学校	児童数	532	526	519	518	524
	学級数	17	17	17	18	18
小金井第三小学校	児童数	724	733	799	822	867
	学級数	21	22	23	25	26
小金井第四小学校	児童数	513	507	503	516	552
	学級数	17	17	17	17	18
東 小 学 校	児童数	521	541	551	570	641
	学級数	16	18	17	17	19
前 原 小 学 校	児童数	497	512	519	543	553
	学級数	17	17	16	17	17
本 町 小 学 校	児童数	447	477	473	512	527
	学級数	14	14	15	16	16
緑 小 学 校	児童数	549	569	600	612	659
	学級数	16	17	18	18	20
南 小 学 校	児童数	488	489	515	515	525
	学級数	16	17	17	17	17
計	児童数	4,846	4,921	5,056	5,177	5,429
	学級数	152	157	158	163	169

(中学校)

(令和元年5月1日現在)

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小金井第一中学校	生徒数	457	429	433	415	414
	学級数	13	12	12	12	12
小金井第二中学校	生徒数	475	463	441	421	394
	学級数	14	14	13	12	12
東 中 学 校	生徒数	284	263	287	271	282
	学級数	8	8	9	9	9
緑 中 学 校	生徒数	674	662	603	569	533
	学級数	18	19	17	16	15
南 中 学 校	生徒数	410	391	385	364	375
	学級数	12	12	12	12	11
計	生徒数	2,300	2,208	2,149	2,040	1,998
	学級数	65	65	63	61	59

### (2) 特別支援学級児童・生徒数、学級数の推移

(令和元年5月1日現在)

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
小金井第一小学校	児童数	24	20	17	19	16
	学級数	3	3	3	3	3
小金井第二小学校	児童数	13	16	16	18	17
	学級数	2	2	2	3	3
東 小 学 校	児童数	12	13	17	13	18
	学級数	2	2	3	2	3
小金井第二中学校	生徒数	10	12	15	12	9
	学級数	2	2	2	2	2
小金井第一中学校(知的障害学級)	生徒数	9	4	4	5	5
	学級数	2	1	1	1	1
小金井第一中学校(自閉症・情緒障害学級)	生徒数	11	16	26	27	27
	学級数	2	2	4	4	4

## (3) 学年別児童・生徒数、学級数の推移

(小学校)

(令和元年5月1日現在)

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
第 一 学 年	児 童 数	842	875	891	884	968
	学 級 数	29	30	29	29	31
第 二 学 年	児 童 数	814	850	896	898	891
	学 級 数	28	29	30	29	29
第 三 学 年	児 童 数	775	827	858	887	908
	学 級 数	23	25	26	29	27
第 四 学 年	児 童 数	770	782	841	877	900
	学 級 数	23	24	26	27	29
第 五 学 年	児 童 数	789	786	782	853	895
	学 級 数	24	24	23	26	27
第 六 学 年	児 童 数	856	801	788	778	867
	学 級 数	25	25	24	23	26
特 別 支 援 学 級	児 童 数	49	49	50	50	51
	学 級 数	7	7	8	8	8
計	児 童 数	4,895	4,970	5,106	5,227	5,480
	学 級 数	159	164	166	171	177

(中学校)

(令和元年5月1日現在)

区 分		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
第 一 学 年	生 徒 数	765	714	654	654	668
	学 級 数	22	22	20	20	20
第 二 学 年	生 徒 数	718	768	719	668	656
	学 級 数	20	22	21	20	19
第 三 学 年	生 徒 数	817	726	776	718	674
	学 級 数	23	21	22	20	20
特 別 支 援 学 級	生 徒 数	30	32	45	44	41
	学 級 数	6	5	7	7	7
計	生 徒 数	2,330	2,240	2,194	2,084	2,039
	学 級 数	71	70	70	68	66

## 中学校卒業生の進路状況

### 中学校卒業生の年度別進路状況)

種目 年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
高校進学者	804 (96.8%)	711 (95.2%)	747 (94.5%)	696 (95.0%)	694 (94.9%)
専修学校・各種 学 校	5	2	6	7	7
就 職	0	0	2	0	0
定 時 制	22	16	26	24	24
そ の 他	0	4	9	6	6
卒業生総数	831	733	790	733	731

### 高校進学者の主な内訳

種目 年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度
公 立 (都立)	413 (52.1%)	414 (56.9%)	412 (53.3%)	374 (52.1%)	362 (52.8%)
国 立	4	4	3	3	0
私 立	375	309	358	341	323

# 3 学校教育

## 1 事業概要

### 1 小金井らしさの醸成

#### (1) 特色ある教育

- ① 明日の小金井教育プラン学校施策推進委託事業  
市立小・中学校の自主性と自律性を尊重し、教育プランの内容に沿った研究を推進することを目的とし、委託を行う。
- ② 小金井教育の日  
研究奨励校等について、研究をまとめて広く市民等に対し発表する。
- ③ 児童・生徒表彰  
他の模範となるような成績又は行為のあった児童・生徒等を表彰する。
- ④ 中学生生徒会交流会  
生徒会役員が自校の生徒会活動の取組状況や課題を報告し合い、今後の活動の参考とする。
- ⑤ 小学校連合音楽会（小5）  
児童が相互に演奏を発表し、鑑賞し合うことにより、豊かな情操を養う。
- ⑥ 小中学校連合作品展  
児童・生徒の日ごろの学習成果を発表、鑑賞することを通して創造活動の能力を伸ばす。
- ⑦ 小学校オーケストラ音楽鑑賞教室（小6）  
児童がオーケストラ演奏を生で鑑賞することで、音楽的情操を豊かにする。
- ⑧ 中学校合唱鑑賞教室（中2）  
生徒がプロの合唱団の合唱を鑑賞することで、音楽的情操を豊かにする。
- ⑨ 避難訓練の改善、防災・安全指導
- ⑩ セーフティ教室（全校実施）  
児童・生徒に危険回避・犯罪防止等の能力を育成するために、家庭・地域・関係機関と連携を図った安全教育を実施する。
- ⑪ 健全育成推進協議会（年3回開催）  
学校・地域・関係機関が、児童・生徒の健全育成について、具体的・実践的な協議を行う。
- ⑫ 子ども支援ネットワーク会議（年1回・10月開催）  
学校・地域・関係機関が、児童・生徒の健全育成について協議を行う。
- ⑬ 服務研修

#### (2) 人権教育

- ① 人権教育推進委員会（年3回開催）  
市立小・中学校の実態に即し、人権教育の視点に基づき教育の課題の解決を図るための研究・研修活動及び協議を行う。

#### (3) 社会貢献活動

- ① ボランティアカードの作成・活用  
小学校高学年と中学生にボランティアカードを配布し、ボランティアを推進する。
- ② 環境教育研修（夏季に新任教員を対象として実施）  
環境教育にかかわる研修を行う。

#### (4) 伝統・文化理解教育

- ① 小中学校外国人英語指導助手（ALT）配置  
小学校第3～6学年及び中学校を対象に、外国人英語指導助手（ALT）を配置する。

- ② 小中学校ALT運営委員会（年2回開催）  
ALTの円滑な運営が図られるように協議を行う。
- ③ 日本語指導補助員派遣  
日本語の使用に著しい困難を有する外国籍等の児童・生徒に対して、日本語指導を実施する。
- ④ 授業力アップ研修会「外国語」（夏季特別研修会）

#### (5) 体験活動

- ① 中学校職場体験（3日以上）  
中学生の職場体験を充実させるため、関係機関等への依頼、学校との連絡・調整を行う。
- ② 移動教室（小5・中2・特別支援学級）  
学校生活に変化をもたせ、自然に対する関心と理解を深めるとともに、集団生活に必要な社会性・協調性及び規律性を陶冶する目的で実施する。
- ③ 林間学校（小6）  
小学校第6学年を対象に長期休業日中の生活に変化と秩序を与えて、集団生活における規律の重要性を学ばせるとともに、集団生活の楽しさを味わわせ、自然に対する愛着と関心、理解を高める目的で実施する。

#### (6) 家庭教育

- ① 中学生保護者向け資料「ハートコンタクト」作成  
中学校に入学する保護者向けの資料を作成し配布する。

### 2 知育・徳育・体育の推進

#### (7) わかる・できる・活かす授業

- ① 少人数指導教員配置
- ② 市教育研究会への助成  
市教育研究会の研究部活動を促進し、本市の教育水準の向上に資するため、助成する。
- ③ 研究主任研修会
- ④ 学生ボランティア派遣  
市内や近隣の大学に通う学生が小・中学校で学習補助・部活動指導補助等を行う。
- ⑤ 授業改善推進プラン作成
- ⑥ 学力に関わる調査の考察
- ⑦ わかる・できる・活かす授業改善研究推進校  
学力向上に向けての組織的研究を行う学校に対して、研究委託として行う。
- ⑧ 研究奨励校  
教育課程に関連する事項を具体的に研究し、教育内容の充実と発展に寄与することを目的とし、研究委託として行う。
- ⑨ 研究奨励グループ  
教育課題に関連するグループの研究に対し、その推進を図り、本市教育の充実振興に資することを目的とし、研究委託として行う。
- ⑩ 研究紀要の作成  
全小・中学校の校内研究の成果をまとめた資料を作成する。
- ⑪ 教職員の研修 < 職層研修・必修研修・選択課題研修（夏季特別研修） >
- ⑫ 教材開発研修会（夏季特別研修会）  
教員を対象に、市内の江戸東京たても園等において体験活動の授業づくりのための研修を行う。
- ⑬ 中学校評価評定研修会
- ⑭ 社会科副読本作成  
小学校第3・4学年対象の社会科副読本「わたしたちの小金井」を編集・作成し配布する。

## (8) 読書活動と学校図書館

- ① 学校読書活動推進委員会（年3回開催）  
学校読書活動充実のため学校図書館の利用法の工夫等の情報交換を行う。
- ② 学校図書館補助員配置（1日5時間×週2日×45週）  
学校図書館に補助員を配置し、書架整理、選書援助、図書紹介等を行い、図書館の充実を図る。
- ③ 読書感想文コンクール  
児童・生徒がより読書に親しむよう「読書感想文コンクール」を実施する。

## (9) 情報教育

- ① 理科支援員派遣（年間1学級13時間×5・6年各学級）  
小学校高学年での理科の実験補助にあたる理科支援員を派遣する。
- ② 情報教育アドバイザー派遣  
コンピュータを活用した授業の補助・助言、情報教育に係る資料の情報提供を行う。
- ③ ICT研修会（夏季特別研修会）  
ICT機器の操作・活用等の知識・技能の向上のための研修を行う。

## (10) 科学教育

- ① 理科支援員派遣（年間1学級13時間×5・6年各学級）  
小学校高学年での理科の実験補助にあたる理科支援員を派遣する。
- ② 大学との共同研究（コンソーシアム）  
東京学芸大学と近隣市が連携し、教育課題や先進的な事業を研究する。
- ③ 授業力アップ研修会「理科」（夏季特別研修会）

## (11) 道徳教育

- ① 道徳教育推進委員会（年3回開催）  
道徳教育の推進上の課題等を検討・協議するとともに道徳授業の指導法の工夫等について実践的な研修を行う。
- ② 道徳副読本配布  
道徳資料を充実させ、道徳教育の推進を図る。
- ③ 道徳授業地区公開講座  
市立小・中学校の道徳授業を地域に公開し、学校・家庭・地域が連携した心の教育の在り方を協議する。
- ④ 授業力アップ研修会「道徳」（夏季特別研修会）

## (12) 体力の向上

- ① 体力向上推進委員会（年3回開催）  
児童・生徒の体力向上を図るため、授業研究、体力調査分析等を行う。
- ② 部活動運営委員会（年2回開催）  
中学校部活動の運営にかかわる事務手続き及び外部指導者等の配置に関する諸課題の検討・協議を行う。
- ③ 部活動外部指導員配置
- ④ 中学生「東京駅伝」大会記録会  
健康増進、体力向上、スポーツの振興を目的とし行う。
- ⑤ 家庭、地域と連携した食育、保健教育
- ⑥ 水泳指導研修会  
水泳事故防止の徹底と水泳指導の在り方や熱中症の対応、救急法等の研修を行う。
- ⑦ 水泳指導介助員配置

水泳の授業における教員の補助として水泳指導介助員を派遣する。

### (13) 特別支援教育

- ① 特別支援学級設置校長会（年8回開催）  
特別支援学級を設置する学校の校長が情報交換及び特別支援教育の推進について協議する。
  - ② 特別支援学級推進委員会（年8回開催）  
特別支援学級経営にかかわる校内整備のための協議及び市全体の特別支援教育推進の在り方について研修を行う。
  - ③ 特別支援専門・巡回相談  
市立小・中学校を定期的に訪問し、授業観察等を行い、児童・生徒への望ましい教育的対応について、専門的な意見の提示や助言を行う。
  - ④ 特別支援学級介助員配置9人  
（一小、二小、東小、一中、二中）  
特別支援学級の学習補助として、介助員を配置する。
  - ⑤ 特別支援教育学習指導員配置3人  
（東小、緑小、南中）  
通常の学級に在籍する特別な支援を必要とする児童・生徒に対する学習指導及び該当児童・生徒の担任等に対する指導方法の助言を行う。
  - ⑥ 特別支援教育支援員配置11人  
発達障害など、特別な教育的支援が必要な児童・生徒が在籍する学校へ派遣し支援を行う。
  - ⑦ 特別支援教育研修会 <特別支援教育コーディネーター連絡会>（年8回開催）  
特別支援教育推進のための校内整備・特別支援教育コーディネーターの養成等に関する研究を行う。
  - ⑧ 特別支援教育講演会（市民等対象）
- ※ 小金井第一小学校に知的障害学級、小金井第二小学校に知的障害学級、情緒障害学級及び難聴学級、言語障害学級、東小学校に知的障害学級、南小学校に情緒障害学級、小金井第一中学校に知的障害学級及び情緒障害学級、小金井第二中学校に知的障害学級、緑中学校に情緒障害学級を設置している。

## 3 教育環境の整備

### (14) 新しい学校評価

- ① 学校運営連絡会（年間3回開催）  
学期に1回開催し、求めに応じ、委員から学校運営に関し意見をもらう。
- ② 学校関係者評価（全校実施）  
学校の教育活動について自ら評価を行い、その結果について関係者による評価を行う。
- ③ 学校訪問（定期、要請、随時）  
（定期）年1回指導室を中心とした計画的な学校訪問を行い、各学校の経営上の諸課題に関して、校長及び教職員との連絡、研究協議によって解決方法を見出し、将来の発展を期する。  
（要請）校内研修・授業研究等による要請に応じて訪問し、指導・助言を行う。  
（随時）各学校の行事の実施状況を視察するとともに教育相談及び指導事務連絡等のために行う。

### (15) 情報環境

- ① コンピュータ管理業務者派遣  
コンピュータの保守・点検・整備、コンピュータに係る助言・相談等を行う。
- ② 情報教育アドバイザー派遣

### (16) 教育相談・適応指導

- ① 教育相談所



学校の教育相談室及び担当教諭と緊密な連絡をとり、市内在住の幼児・児童・生徒を対象として、教育相談事業を実施する。

② もくせい教室（適応指導教室）

市立小・中学校に在籍する不登校の児童・生徒に対して、社会的自立を目指すため、適切な指導及び援助を行う。

③ いじめ問題対策支援チーム

④ スクールカウンセラー派遣

市立小・中学校にスクールカウンセラーを派遣する。

（小 1日6時間×週2日×35週）

（中 1日6時間×週1日×35週）

⑤ 教育相談研修会（夏季特別研修）

教育相談の基本的な手法に関する研修を行う。

⑥ スクールソーシャルワーカー派遣

児童・生徒が置かれた様々な環境へ働きかけ、関係機関との連携のもと問題解決を図る。

⑦ スクールソーシャルワーカー連絡協議会

⑧ スクールカウンセラー連絡会（年3回開催）

## 2 学校保健

学校生活における児童・生徒の健康の保持増進のため、学校保健安全法に基づき保健教育・保健管理の充実を図るものである。本市では、児童・生徒の健康診断、学校感染症の予防措置、学校の環境衛生等の専門技術及び指導を受けるため、学校医、学校歯科医、学校薬剤師を設置している。また、健康診断に係る諸調査については、検査機関に委託し実施している。

なお、学校管理下における児童・生徒の災害に係る災害共済給付金の受給を目的とし、日本スポーツ振興センターに加入している。

### (1) 学校保健の主な年間行事

健 康 管 理	環 境 衛 生
① 定期健康診断（4～6月） ・内科、眼科、耳鼻科、整形外科、歯科検診 ・結核検診 ・心臓検診 ・尿検査 ② その他の健康診断（5～10月） ・修学旅行前健康診断 ・プール前内科健康診断 ・林間学校前健康診断 ・移動教室前健康診断 ③ 歯科講話（10月） ※小学校4年生対象 ④ 就学時健康診断（10～11月） ※翌年度小学校就学予定者対象	① 水質検査 ② 照度検査 ③ プール水質検査 ④ 理科室薬品検査 ⑤ 教室換気検査 ⑥ 給食室点検

### (2) 児童・生徒の健診実施状況（平成30・令和元年度）

#### ① 児童・生徒結核検診実施状況（単位：人）

区分	年度	項目	
		ツベルクリン 反応検査	エックス線 直接撮影
小学校	30年度	0	19
	元年度	0	19
中学校	30年度	0	6
	元年度	0	5

(注) 平成15年度から実施方法変更。

小・中学生全員が問診票提出対象。校医により、要検討者を抽出。結核対策委員会において、要検討者のうち、要精密検査者を選定し、ツベルクリン反応検査またはエックス線撮影を実施。

② 心臓検診、尿検査実施状況 (単位：人)

区分	年度	心臓検診			尿検査	
		心電図	心音図	専門医指導	一次	二次
小学校	30年度	940	9	6	5,202	92
	元年度	1,037	15	18	5,448	73
中学校	30年度	667	2	15	2,035	99
	元年度	683	16	15	2,000	80

注1 心臓検診の対象者は、小・中学校1年生全員及び内科検診で校医から指示のあった者。

注2 尿検査の対象者は全員。

(3) 学校管理下における災害発生状況 (平成30・令和元年度)

(単位：件)

区分	年度	災害発生の場所				災害発生の場合							
		学校内		学校外	合計	各教科	特別教育活動	学校行事	課外指導	休憩時間中	始業前・放課後の特定時間	通学路	合計
		校舎内	校舎外										
小学校	30年度	107	125	20	252	86	13	13	1	94	18	27	252
	元年度	119	133	19	271	110	14	8	0	90	18	31	271
中学校	30年度	109	76	22	207	72	2	20	80	26	5	2	207
	元年度	98	72	15	185	61	1	4	87	24	4	4	185

(4) 学校感染症罹患患者数 (平成27～令和元年度)

(単位：人)

疾患名	年度	小学校					中学校				
		27	28	29	30	元	27	28	29	30	元
第二種	インフルエンザ	1,492	1,255	1,725	1,176	938	168	327	441	323	213
	百日咳	0	0	0	1	5	0	1	0	0	1
	麻疹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	流行性耳下腺炎	81	515	18	17	19	9	35	4	0	0
	風疹	0	1	2	1	4	0	0	1	1	4
	水痘	41	117	221	70	182	0	7	4	3	0
	咽頭結膜熱	6	4	10	8	16	0	0	1	0	0
	結核	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
第三種	髄膜炎菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	腸管出血性大腸菌感染症	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0
	流行性角結膜炎	1	6	14	10	3	5	1	2	1	0
	急性出血性結膜炎	0	3	1	1	1	0	0	0	0	0
	コレラ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	細菌性赤痢	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	腸チフス・パラチフス	0	0	0	0	13	0	0	0	0	0
その他	498	521	484	410	356	65	72	42	36	16	

注1 第1種鳥インフルエンザ(H5N1)、ポリオ等の発生はない。

注2 インフルエンザは、医師がインフルエンザと診断して取り扱った者の数。

注3 第3種その他には、溶連菌感染症、感染性胃腸炎などが含まれる。

### 3 学校給食

#### (1) 学校給食のあゆみ

学校給食は、昭和20年代の食糧不足、栄養不足から児童を守るために開始されたが、昭和29年ごろから、単に栄養補給だけでなく教育の一環とされ、学校給食法の施行（昭和33年）にあわせ学校行事等の領域に、さらに昭和43年の学習指導要領の改正により特別教育活動の中の「学習指導」に位置づけられ、教育的導の充実が進んできている。

本市では、昭和23年7月、小金井第一小学校で週3回ミルクの補食給食を開始し、昭和31年9月に小金井第三小学校でB型完全給食を実施（週4回）、昭和34年9月に小金井第三小学校等でA型完全給食を実施（週5回）、以降順次全小学校の完全給食が進められた。

中学校は、昭和47年に東中学校で開始し、昭和52年度には全中学校で完全給食が実施されている。

給食の内容も、時代とともに変化している。

昭和40年代には、脱脂粉乳から牛乳へ変わり、給食のパンも多様化する。加工食品が普及したが、40年代後半には手作り献立が中心となる。50年代には、米飯給食がはじまった。60年代になり、小学校にランチルームが開設されランチルームで強化磁器食器が使われるようになった。

平成に入って、給食行事の取組が行われるようになった。平成20年からは、給食環境を充実するために、アルマイト食器から強化磁器食器への入替を進め、令和元年度に小・中14校全校入替を完了した。また、献立の充実のための備品を計画的に購入している。

近年では、給食食材の安全性への関心が高まっている。また、学校における食物アレルギー対応が重要となっており、安全・安心な給食を提供するために細心の注意を払っている。

#### 【給食の実施経過】

区分	年度	23	26	27	31	34	36	37	39	41	44	47	48	49	52
D型給食				二小											
C型給食			三小	一小											
B型給食					三小										
A型給食						三小 四小 東小	二小	一小	前原小	本町小	緑小	東中 緑中	南小 二中	一中	南中
備考		・23年7月（一小）週3回のミルク補食給食開始 ・26年2月（一小）脱脂粉乳、みそ汁副食の給食へ移行							・40年5月（一小）生牛乳始まる ・42年5月（全校小学校）生牛乳始まる ・46年4月 栄養士（各校）1名配置 ・47年1月 中学校完全給食開始						

(注) D型給食 みそ汁が毎日、週一回のおかずの補食給食  
C型給食 週3回（低・高学年に区分）の一日おきの完全給食

B型給食 週4回、パン、おかずの完全給食  
A型給食 週5回、パン、おかず、牛乳の完全給食

#### (2) 学校給食の概要

本市の学校給食は、「安全でおいしく温かい給食」を基本理念として、安全な食材を使用し、衛生管理に留意し、手作りを基本とした自校方式による調理を行っている。

献立は、各学校の栄養教諭・栄養士が作成し、給食内容は、文部科学省の「学校給食実施基準」等を踏まえ、適切な栄養量や食品構成となっている。また、食材についても、安全性を最優先し、各学校の栄養教諭・栄養士が物資納入業者に発注している。

アレルギー対応については、「小金井市立小中学校における食物アレルギー対応の基準」に沿って実施しており、一日2種類までの除去食対応としている。

学校給食法や学習指導要領では、学校における食育の推進が求められており、給食は「生きた教材」として活用されている。

平成25年4月に施行された「小金井市学校給食の指針」は、小金井市の学校給食の内容をもとに多くの市民や保護者の意見を取り入れて作成した指針であり、学校給食事業の指針としている。



(3) 給食回数（令和元年度）

小学校 年間187回

中学校 年間180回

(4) 給食費の推移（月額）

（単位：円）

区分		年度		
		21～25年度	26～28年度	29～令和元年度
小学校	低学年	4,080	4,200	4,369
	中学年	4,400	4,530	4,726
	高学年	4,730	4,870	5,066
中学校		4,970	5,210	5,449

(5) 調理業務の民間委託

本市では、学校給食のより一層の充実を目指して、中学校給食の調理業務の民間委託を実施した。

平成18年9月から小金井第一中学校及び小金井第二中学校で委託を実施し、この2校についての委託検証結果を受けて検討を重ねた結果、平成20年4月から東中学校、緑中学校、南中学校においても調理業務の民間委託を実施した。委託によって生み出された財源は、食器の改善や備品の整備など給食内容のより一層の充実のために使われている。

その後、小学校給食の調理業務についても見直しを行い、平成25年9月から小金井第二小学校、小金井第四小学校、前原小学校、緑小学校、南小学校の調理業務の民間委託を実施した。

直営校・委託校とともに、多くの市民・保護者の見守りのなか、より良い給食を目指している。

【調理業務委託状況】

区分	学校別	小学校									中学校				
	一小	二小	三小	四小	東小	前原小	本町小	緑小	南小	一中	二中	東中	緑中	南中	
委託・直営の別	直営	委託	直営	委託	直営	委託	直営	委託	委託	委託	委託	委託	委託	委託	
委託開始年月		25年9月		25年9月		25年9月		25年9月	25年9月	18年9月	18年9月	20年4月	20年4月	20年4月	



## 4 就学奨励・教育相談・適応指導他

### 1 就学奨励

#### (1) 奨学資金

##### ① 奨学生の資格要件

当市では、毎年4・5月に奨学生の募集を行い、6月中に当該年度の奨学生を選定している。奨学生の資格要件は、次のとおりである。

ア 市内に居住する者であること。

イ 支給の日の6か月前から引き続き市内に住所を有する者の子弟であること。

ウ 同種の奨学金を他から支給されていないこと。

エ 高等学校、大学（大学院を除く。）又は高等専門学校に在学し、成績優秀・心身健全で経済的理由により修学困難であること。

##### ② 奨学金額

平成30、令和元年度の奨学金額及び定員は、次のとおりである。

ア 高校生及び高等専門学校生（第1学年から第3学年まで）月額 5,300円 35人

イ 大学生及び高等専門学校生（第4学年及び第5学年）月額12,200円 3人

#### (2) 就学援助

「就学困難な児童及び生徒に係る就学奨励についての国の援助に関する法律」により、国と市が補助している。

##### ① 援助の目的

経済的理由によって就学困難な児童・生徒の保護者に対して学用品費等を給付し、義務教育の円滑な実施を図る。

##### ② 援助対象者

市内に居住し、かつ、国公立小・中学校に在籍する者で、生活保護法による要保護児童・生徒及び、それに準ずる程度に生活が困窮していると認められる準要保護児童・生徒

##### ③ 援助費目

学校給食費、学用品・通学用品費、校外活動費、

修学旅行参加費、入学時学用品通学用品費、医療費（学校保健安全法による疾病に限る）、林間学校参加費、移動教室参加費、卒業時諸経費、通級通学費

##### ④ 認定状況 (単位：人)

区分 年度	小 学 校			中 学 校			合計
	要保護	準要保護	計	要保護	準要保護	計	
26年度	24	479	503	21	299	320	823
27年度	31	484	515	18	289	307	822
28年度	21	435	456	20	246	266	722
29年度	20	402	422	10	220	230	652
30年度	23	351	374	12	195	207	581
元年度	17	386	403	13	194	207	610

(注) 3月31日現在

### 2 教育相談

現代社会の複雑化・多様化の中で、不登校・非行・いじめ・虐待など、多くの子供の問題が生じている。

これらに対応するため、専門の相談員による教育相談を行い、各校のコーディネーターと連携をとりながら問題の解決に努めている。

## (1) 教育相談

市内在住の幼児・児童・生徒の教育指導上の諸問題についての教育相談に応じるとともに、市内の学校、幼稚園・保育園の教員との連携を図り、教育相談活動の普及と充実に努めるため、おおむね、次の事業を行っている。

- ① 教育相談（電話相談を含む）の実施
- ② 悩みごとの相談受付と小金井市教育委員会指導室・各学校との連携
- ③ 学校不適応児童・生徒について「もくせい教室」との連携
- ④ もくせい教室在籍小・中学生およびその保護者のカウンセリング
- ⑤ 教育相談関係の研究会、研修会の実施・参加
- ⑥ 「教育相談所だより」「教育相談所紀要」の発行
- ⑦ 教育相談記録の整理・保管
- ⑧ 市保健センター、市子ども家庭支援センター、市児童発達支援センター（きらり）、保健所、幼稚園、保育園、小学校、中学校、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等との連携
- ⑨ 教育相談関係の諸機関、諸団体との連携、情報交換
- ⑩ その他、市教育相談活動の充実に関すること

## (2) 就学相談

児童・生徒の心身の障がいの状態や発達の状況等に応じて、適切な教育を受けることができるよう就学相談を行っている。

- ① 就学相談  
幼稚園、保育園、小・中学校等と連携をとりながら保護者の理解と納得が得られる相談を行う。

### 就学相談件数の推移

年 度	27	28	29	30	31
相談件数	49	65	47	65	105

### ② 転学相談

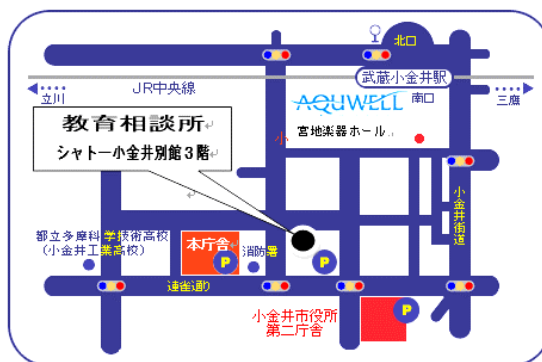
入学後、児童・生徒の障がいの状態や発達の状況等に応じて適切な教育が受けられるよう、通常学級、特別支援学級及び特別支援学校の転学相談を行う。

### 転学相談件数の推移

年 度	27	28	29	30	31
相談件数	6	10	8	9	8

### ★小金井市教育相談所

電 話 042-384-2097  
042-384-2508  
所 在 地 小金井市本町6-5-3  
(シャトー小金井別館3階)  
相 談 日 毎週月～土曜日（祝祭日休）  
午前9時～午後4時30分



月別		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計														
件数	新規	9	9	14	13	19	12	21	26	15	21	15	21	18	19	12	16	17	18	17	16	21	10	16	8	194	189	
	継続	69	92	72	97	77	102	93	112	110	135	121	153	131	172	127	182	132	176	146	178	145	193	156	203			
	計	78	101	86	110	96	114	114	138	125	156	136	174	149	191	139	198	149	194	163	194	166	203	172	211			
	終結	6	4	9	8	3	2	4	3	4	3	5	2	22	7	7	22	3	16	18	1	10	0	80	98	171	166	
学齢別	就学前	0	3	0	5	1	5	1	6	1	8	1	11	2	14	2	14	2	13	2	11	5	13	5	14			
	小学校	46	58	52	63	59	65	73	82	82	91	88	105	94	113	88	118	94	119	106	123	111	129	116	134			
	中学校	25	27	27	29	29	32	32	37	34	43	39	43	44	49	41	51	45	49	47	48	43	49	43	51			
	高等学校	7	12	7	12	7	12	8	13	8	14	8	15	9	15	8	15	8	13	8	12	7	12	8	12			
	その他	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
	計	78	101	86	110	96	114	114	138	125	156	136	174	149	191	139	198	149	194	163	194	166	203	172	211			
性別	男	46	71	48	76	62	76	73	91	78	98	83	114	98	125	93	125	100	121	114	127	116	131	122	136			
	女	32	30	38	34	34	38	41	47	47	58	53	60	51	66	46	73	49	73	49	67	50	72	50	75			
	計	78	101	86	110	96	114	114	138	125	156	136	174	149	191	139	198	149	194	163	194	166	203	172	211			
主訴別相談内容	1. 不登校	31	39	34	40	36	42	42	46	45	51	50	54	54	60	54	64	55	64	56	65	53	67	53	68			
	2. 子育て・しつけ	0	3	0	4	2	5	5	7	5	7	5	9	6	10	6	11	6	9	6	9	6	10	6	10			
	3. 発達障害	10	17	14	20	18	22	22	29	20	34	19	38	21	39	15	41	18	33	25	31	29	35	36	36			
	4. いじめ	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	5	4	4	4	4	4		
	5. 性格・行動上の問題	10	13	11	13	11	14	12	20	14	25	15	26	14	30	15	30	19	31	21	29	22	30	20	31			
	6. 学校・教員	5	4	4	3	4	4	3	4	3	4	4	5	5	4	5	4	6	4	6	4	5	3	6	3			
	7. 問い合わせ	3	0	3	0	2	0	2	0	2	0	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		
	8. 学業上の問題	7	7	8	9	9	7	13	10	19	13	22	15	26	18	22	17	22	20	24	24	25	24	23	26			
	9. 進路等	1	5	1	6	2	7	2	7	3	6	4	6	4	8	4	9	4	8	5	9	6	9	6	9			
	10. 家庭生活	4	4	5	5	4	4	5	4	6	4	6	5	5	5	5	5	5	5	5	5	7	6	7	6			
	11. 精神・身体・健康	3	2	3	2	4	1	4	2	4	2	4	3	4	4	3	2	3	3	3	3	3	4	3	4			
	12. 学校生活	1	3	0	3	0	3	0	2	0	4	1	4	3	4	3	5	3	6	3	6	2	6	4	8			
	13. 友人関係	0	0	0	0	0	1	0	2	0	2	0	3	1	3	1	4	2	5	2	4	2	4	2	4			
	14. その他	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	1	0	0	0	0	0	1			
	計	78	101	86	110	96	114	114	138	125	156	136	174	149	191	139	198	149	194	163	194	166	203	172	211			

(月別の左側が平成30年度、右側が令和元年度)



### 3 もくせい教室（適応指導教室）

心理的な要因等により登校できない児童・生徒が近年増加してきている。これらの不登校児童・生徒に対して適切な指導及び支援を行い、在籍校への復帰や社会的自立に必要な力を育成する。

#### (1)教室の運営

教室では次の活動を行っている。

- ① 在籍校との連携を密にして、在籍校の教育活動への参加を支援する。
- ② 年間2回、保護者との面接相談を行い、必要に応じて家庭訪問を実施する。
- ③ 関連資料の収集・整理を行い、必要に応じて在籍校に提供する。
- ④ 市立小・中学校のコーディネーター等との連携を図り、情報を共有する。
- ⑤ 教育相談所及び関係諸機関との連携を図る。

校外学習（芋掘り）



#### (2)指導方針

不登校児童・生徒の在籍校への復帰を図るため、次の指導を行っている。

- ① 温かい人間関係を育て、安心できる居場所をつくり、情緒の安定を目指す。
- ② 体験活動や集団活動を通して、自主性・協調性・社会性を育てる。
- ③ 個に応じた学習への取り組みを進め、学習意欲への動機付けを図る。
- ④ 諸活動を通して自分を表現し、自分のよさを見つけ自己理解を図る。
- ⑤ 基本的な生活習慣を身に付けさせる。

#### (3)教室の取組

教室では、通室してきている児童・生徒が異学年であることを踏まえ、学習活動や体験的活動の内容を工夫して行っている。

- ① 学習活動・・・個別指導を中心に教科書に沿った自由学習を行う。パソコン等も活用する。
- ② 体験活動・・・調理実習（4回）、遠足（2回）などの諸活動を行う。
- ③ 自由活動・・・スポーツ（卓球）、レクリエーション、ゲームなどの活動を行う。
- ④ 相談活動・・・児童・生徒、保護者との面談や相談・受験指導の補助を行う。

#### (4)運営状況

教室に在籍した児童・生徒の年度別・学年別・男女別の人数は次のとおりである。

調理実習



#### ★「もくせい教室」（適応指導教室）

所在地 小金井市本町6-5-3

(シャトー小金井別館3階)

電話 042-385-8414

開室 毎週月～金曜日 午前9時半～午後4時

年度	性別	学年									合計	
		小1	小2	小3	小4	小5	小6	中1	中2	中3		
平成27	男					3	3		1	3	10	22
	女		1		1		1	3	3	3	12	
平成28	男				1	1	4	6	4	1	17	28
	女							3	4	4	11	
平成29	男		1			1		5	1	4	11	26
	女	1				2	1	1	3	7	15	
平成30	男			1	2		2	3	8	6	22	38
	女				1	3	3	1	4	4	16	
令和元	男		2		2		2	1	5	13	25	53
	女				3	2	3	5	5	10	28	

#### 4 市立以外の幼稚園・学校一覧

種類	名 称	所 在 地	電話番号
幼稚園	東京学芸大学附属幼稚園	貫井北町4-1-1	042-329-7812
	小金井教会幼稚園	本町2-10-10	042-381-1726
	朋愛幼稚園	中町4-2-18	042-381-4800
	みそら幼稚園	東町2-27-7	0422-31-7581
	こどものくに幼稚園	前原町3-35-11	042-381-1701
	せいしん幼稚園	中町2-15-40	042-384-5315
	ぬくい南幼稚園	貫井南町5-12-15	042-383-5207
小学校	東京学芸大学附属小金井小学校	貫井北町4-1-1	042-329-7823
中学校	東京学芸大学附属小金井中学校	貫井北町4-1-1	042-329-7833
	中央大学附属中学校	貫井北町3-22-1	042-381-7651
	東京電機大学中学校	梶野町4-8-1	0422-37-6441
	武蔵野東学園武蔵野東中学校	緑町2-6-4	042-384-4311
特別支援	(都立) 小金井特別支援学校	桜町2-1-14	042-384-6881
高等学校	(都立) 小金井工業高等学校	本町6-8-9	042-381-4141
	(都立) 多摩科学技術高等学校	本町6-8-9	042-381-4164
	(都立) 小金井北高等学校	緑町4-1-1	042-385-2611
	中央大学附属高等学校	貫井北町3-22-1	042-381-5413
	国際基督教大学高等学校	東町1-1-1	0422-33-3401
	東京電機大学高等学校	梶野町4-8-1	0422-37-6441
大学	(国立大学法人) 東京学芸大学	貫井北町4-1-1	042-329-7111
	(国立大学法人) 東京農工大学	中町2-24-16	042-388-7003
	法政大学小金井校地	梶野町3-7-2	042-387-6003
専門学校	専門学校社会医学技術学院	中町2-22-32	042-384-1030
	東京工学院専門学校	前原町5-1-29	042-387-5111
	東京エアトラベル・ホテル専門学校	前原町5-1-29	042-387-5111

# 5 生涯学習

## 1 生涯学習の概要

### 【基本方針4 「生涯学習」と「文化・スポーツ」の振興】

市民一人一人が生涯にわたって学び、その成果を社会に還元できるようにするとともに、次代を担う子供たちの健やかな成長を社会全体で支えることが求められる。

そのために、学校・家庭・地域の教育力を高め、その連携が進むよう支援するとともに、市民が生涯を通じて、自ら学び、文化・スポーツに親しみ、社会参加できる機会の充実を図る。

### (1) 生涯学習の推進

- ① 市民一人一人が生涯にわたって自ら学び、文化・スポーツに親しみ、その成果を地域社会の活動に反映できるよう第3次小金井市生涯学習推進計画に沿って施策の推進に努める。
- ② 学校、家庭、地域がその役割と責任を自覚し、相互に連携協力して地域全体で教育力を高める活動を推進する。
- ③ 地域の貴重な資源である大学、文化施設、NPO等市民団体と連携して生涯学習施策を推進する。
- ④ 退職前後の中高年層を対象として、学習の機会や情報を提供し、地域活動への参加を推進する。
- ⑤ 市民の学習活動に資するため、市報やホームページ等を活用し、積極的に情報提供に努める。

### (2) 青少年教育の推進

- ① 家庭教育の充実を図るため、家庭教育に関する学習の機会や情報提供の充実を図る。
- ② 子供たちの安全安心な居場所づくりとして、学校、家庭、地域と一体となって実施している「放課後子ども教室」事業の充実を図る。
- ③ 清里山荘指定管理者と連携し、青少年が豊かな人間関係や社会性を育てていくことができるよう、自然体験教室、ふれあい体験教室等多くの体験活動の機会を提供するとともに、自然や科学に対する関心を深め、創造性豊かな青少年の育成に努める。

### (3) スポーツ・レクリエーション活動の推進

- ① 幼児期から高齢者までの市民が、スポーツ・レクリエーションに親しむ機会の場を提供し、健康・体力づくりを推進する。
- ② 楽しむスポーツから競技スポーツまで、幅広いスポーツ・レクリエーションの振興を図るため、スポーツ団体の活動を支援する。
- ③ 誰でも、いつでも気軽にスポーツすることができる環境づくりとして総合型地域スポーツクラブの活動を支援する。
- ④ スポーツ・レクリエーションの普及のため、スポーツ団体と連携して、指導者の育成・派遣等の指導体制の充実を図る。

### (4) 文化財の保存と啓発活動の推進

- ① 貴重な文化遺産を後世に継承していくため、埋蔵文化財の調査・保存・市指定文化財の保存及び郷土芸能の伝承を支援していくとともに、文化財センターの機能の充実を図る。
- ② 市民の郷土に対する理解を深め、市勢発展に資するため、「小金井市史」資料編・通史編を「小金井市史編さん年次計画」に基づき、順次刊行する。
- ③ 市民が生涯を通じて、地域の歴史や文化財に親しむことができるよう、文化財等の解説や学習団体の支援の充実を図る。
- ④ 史跡玉川上水、名勝小金井（サクラ）の整備活用を通して、東京都及び市民団体と協働してヤマザクラ並木の歴史的景観を復活させる等、協働のまちづくりを推進する。

### (5) 公民館の充実

- ① 誰もが気軽に立ち寄り、共に学び、共にふれあう身近な公民館運営に努める。
- ② 公民館運営に公民館運営審議会委員、企画実行委員の他、市民参加を図り、関連諸機関や市民団体とも協働して充実を図る。
- ③ 事業の実施には、地域社会との連携に努め、団体・サークルやNPO法人等の諸機関・諸団体とも協力して充実を図る。
- ④ 主催講座については、地域的・今日的な課題、心豊かに生きることのできる学びの充実を図り、市民の自主的・自発的な学習活動の推進を支援する。
- ⑤ 市民の学習活動に機材・教材を提供し、活動の場の環境整備に努める。
- ⑥ 広報活動に市民も参加し、情報の提供に努める。
- ⑦ これまでの公民館が果たしてきた役割を踏まえ、時代にふさわしい公民館の在り方について市民を交えて検討する。

## (6) 図書館の充実

- ① 「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」、「なんでも」利用できる図書館運営に努める。
- ② 「小金井市立図書館運営方針（改訂版）」に基づき、図書館施策を推進して行く。
- ③ 子供の読書活動推進のため、「第3次小金井市子ども読書活動推進計画」に沿って施策の推進に努める。
- ④ 図書館の利便性向上のため、市民用インターネット端末の設置、電子図書の導入、様々なデータベースの提供、資料用I Cタグの導入などのI C T化推進について検討を進める。
- ⑤ 将来の生涯学習の充実と発展を図るため、市民ニーズに沿った中央図書館の整備も含め、図書館の在り方について市民を交えて検討する。

## (7) 社会教育施設の整備

- ① 市民の学習・文化活動及び集会の場として、施設の整備充実を図る。
- ② 市民のスポーツ・レクリエーション活動の場として、施設の整備充実を図る。
- ③ 公民館、図書館、体育館、学校など既存施設の有効活用を積極的に推進する。
- ④ 震災の経験を踏まえた施設のあり方を検討する。

## (8) 社会教育財政

### ① 一般会計と教育費、社会教育関係費の割合

区分 年度	A 一般会計			B 教育費			C 社会教育関係費		
	決算額	決算額	B/A×100	決算額	C/B×100	人口1人当たりの支出額			
27	円 38,621,286,306	円 3,144,270,494	% 8.14	円 1,033,469,061	% 32.87	円 8,733			
28	40,243,534,260	3,064,262,802	7.61	999,585,912	32.62	8,446			
29	40,118,020,107	3,294,789,501	8.21	1,057,215,682	32.09	8,840			
30	45,587,073,801	3,217,566,331	7.06	1,025,564,411	31.87	8,432			
元	44,787,476,566	3,489,554,524	7.79	1,211,428,162	34.72	9,886			

注) 人口は4月1日現在

### ② 社会教育関係費の割合（職員の人件費を除く）

区分 年度	① 社会教育関係経費 総額（社会教育費・ 保健体育費）	② 社会教育総務費		③ 公民館費	
		決算額	②/①×100	決算額	③/①×100
27	円 769,450,605	円 37,228,169	% 4.84	円 184,252,509	% 23.95
28	737,019,267	35,294,985	4.79	207,795,488	28.20
29	784,764,793	35,095,423	4.47	206,371,240	26.30
30	745,123,899	49,740,453	6.68	190,897,150	25.62
元	911,479,472	25,339,227	2.78	193,523,012	21.23

区分 年度	④ 図書館費		⑤ 文化財保護費		⑥ 保健体育費		⑦ 少年自然の家費	
	決算額	④/① ×100	決算額	⑤/① ×100	決算額	⑥/① ×100	決算額	⑦/① ×100
27	円 133,349,389	% 17.33	円 60,638,839	% 7.88	円 303,550,414	% 39.45	円 50,431,285	% 6.55
28	141,528,654	19.20	7,171,586	0.97	298,589,135	40.51	46,639,419	6.33
29	226,519,353	28.86	7,239,637	0.92	263,260,061	33.55	46,279,079	5.90
30	151,732,756	20.36	11,858,925	1.59	298,689,034	40.09	42,205,581	5.66
元	186,066,680	20.41	9,352,876	1.03	450,385,244	49.41	46,812,433	5.14

## 2 社会教育委員

社会教育委員は、教育委員会の諮問に応じ、市民の生の声を社会教育活動に反映させるため、助言や答申を主な任務とする教育委員会の附属機関である。

社会教育委員は、会議において行政とかわりながら、社会教育に関する指導者として、行政と市民の間にあつて、市民の意向を行政や施設の運営に反映させるためのパイプ役を果たしている。

委員の構成は、小中学校校長の代表者1人、学識経験者1人、各社会教育関係団体の代表者5人及び公募市民3人の10人からなり、任期は2年間となっている。

### (1) 職務

- ① 社会教育に関する諸計画を立案すること。
- ② 教育委員会の諮問に応じ、意見を述べること。
- ③ 職務を行うために必要な調査研究を行うこと。
- ④ 教育委員会の会議に出席して社会教育に関して意見を述べること。
- ⑤ 教育委員会から委嘱を受けた青少年教育に関する特定の事項について、社会教育関係団体、社会教育指導者、その他関係者に対して助言と指導を与えること。

### 第30期 小金井市社会教育委員名簿

氏名	所属・団体名
所 夏目	小金井市立小中学校長会（緑小）
石原 芳	小金井市立小中学校PTA連合会
富田 謙次郎	公益財団法人 小金井市体育協会
城 瑞枝	小金井市文化連盟
長坂 寛	NPO法人小金井雑学大学
諏訪 啓二郎	特定非営利活動法人シニアSOHO小金井
○柴田 彩千子	国立大学法人 東京学芸大学
◎原田 隆司	公募市民
福井 高雄	公募市民
森本 榮子	公募市民

※1) 任期 自：令和元年9月9日 至：令和3年9月8日

2) ◎印=議長 ○印=副議長

### (2) 委員の主な活動

- ① 定例会 月例=年8回 小委員会=年5回
  - ア 社会教育関係事業計画等についての審議
  - イ 社会教育に関する調査・研究等
- ② 研修会等
  - ア 東京都市町村社会教育委員連絡協議会の活動総会、ブロック研修会、交流大会、各年1回

## 3 各種事業

### (1) 校庭開放

校庭開放は、都市化の進行とともに市内の遊び場が減少し、子どもの交通事故が多発するようになったことから、子どもの安全な遊び場を確保するため、市立小学校の校庭を開放する制度である。

昭和44年度に市立前原小学校で休業日の校庭開放を試行し、昭和51年度からは市立小学校9校のすべてを開放し、現在に至っている。

また、学校週5日制の実施に伴い、平成14年4月から毎週土曜日を開放している。

開放期間中の管理責任は、学校長から教育委員会に移り、教育委員会が指導者等を配置して運営するもので、主管課は生涯学習課になっている。

なお、校庭開放の利用方法及び過去5年間の開放実績等は次表の学校別利用状況のとおりである。

① 遊び場開放

児童・生徒及び幼児とその保護者を対象に遊び場として開放するもので、各校1名の指導員を配置している。

② 登録団体への開放

青少年の健全な育成を目的とする少年スポーツ団体で、教育委員会に登録申請し、承認を受けた団体を対象に開放する。

開放日時・内容

期 間	開放日	開 放 時 間	利用区分
3月～11月	土曜・日曜・祝日	午前8時30分～午後0時30分	登録団体
		午後1時～午後5時 ※11月遊び場 午後4時30分まで	遊び場・登録団体
12月～2月	土曜・日曜・祝日	午前8時30分～午前12時	登録団体
		午後0時30分～午後4時	
春季休業	3月26日～4月5日	午前8時30分～午後0時30分	登録団体
		午後1時～午後5時	遊び場・登録団体
冬季休業	12月26日～1月7日	午前8時30分～午前12時	登録団体
		午後0時30分～午後4時	
		午後0時30分～午後4時	遊び場開放

※夏季休業、年末年始（12月29日から1月3日まで）及び学校使用時その他教育委員会の判断により、中止又は開放しない場合がある。

学校別利用状況

(遊び場開放のみ)

学 校 名	平成25年度		平成26年度		平成27年度		平成30年度		令和元年度	
	利用人数	開放日数	利用人数	開放日数	利用人数	開放日数	利用人数	開放日数	利用人数	開放日数
第一小学校	人 407	日 68	人 289	日 56	人 316	日 52	人 734	日 67	人 666	日 55
第二小学校	393	52	311	35	393	35	569	45	537	36
第三小学校	1,212	67	1,194	65	814	55	1,209	70	827	57
第四小学校	1,496	57	1,379	57	1,518	56	1,510	63	1,238	51
東小学校	411	60	287	54	492	43	215	37	23	37
前原小学校	1,797	70	1,621	62	1,473	65	1,470	65	1,298	56
本町小学校	443	58	656	55	394	51	512	41	296	24
緑小学校	954	61	1,216	65	1,055	57	1,455	69	1,047	64
南小学校	1,049	77	944	68	916	59	1,193	70	1,127	57
合 計	8,162	570	7,897	517	7,371	473	8,867	527	7,059	437
1日あたり 利用者平均	14.32人		15.27人		15.58人		16.83人		16.15人	

(2) 放課後子ども教室

近年子どもが犠牲となる犯罪が相次いで発生したことや、子どもを取り巻く家庭や地域の教育力の低下が指摘されるなか、これらの課題に対処するため、平成18年5月当時の少子化担当大臣から文部科学省と厚生労働省が連携した新たな取り組みとして「放課後子どもプラン」の創設が発表されました。これに基づき、平成19年4月から地域社会の中で放課後の子ども達が安全で安心していられる居場所づくりを推進するため、教育委員会と福祉部局と連携を図り全小学校区において文部科学省の「放課後子ども教室推進事業」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」(学童保育所)を一体的に連携して実施する放課後子どもプラン(総合的な放課後対策事業)を推進することが求められています。

具体的には、学校施設（空き教室等）や児童館、公民館等の施設を活用し、各学区において学校関係者、地域住民、保護者等で構成されている推進委員会において様々なプログラムを企画し、子ども達に提供しています。

平成30年度

小学校区	ボランティア	実施回数	参加者数	指導員 等人数	教室数
9学区	139人	879回	33,415人	3,980人	41教室

令和元年度

小学校区	ボランティア	実施回数	参加者数	指導員 等人数	教室数
9学区	167人	837回	33,018人	3,689人	41教室

### (3) ボランティアセミナー

国分寺市、小平市、小金井市、東京学芸大学とが連携し地域、学校等でボランティアとして活躍していただくための講座を開講した。「放課後子ども教室」や子どもたちの居場所づくりを支援するボランティアを目指す人、スキルアップを望む人など誰でも参加できる。

平成30年度ボランティアの資質向上に関する三市・学芸大学連携講座

#### 【小平会場】

実施期間	実施回数	参加者	講師
10月30日 ～12月4日	7回	260人	東京学芸大学教授他

#### 【国分寺会場】

実施期間	実施回数	参加者	講師
11月13日 ～11月29日	7回	311人	東京学芸大学准教授 他

#### 【小金井会場】

実施期間	実施回数	参加者	講師
11月13日 ～11月29日	7回	233人	東京学芸大学准教授 他

講座内容（抜粋）

- ①教育支援者とは
- ②現代の子どもを知ろう
- ③思春期の子どもを知ろう
- ④気になる子どもたちの理解
- ⑤「困り顔」を抱える子どもたちへ
- ⑥造形ワークショップを企画しよう
- ⑦造形ワークショップをやってみよう

令和元年度ボランティアの資質向上に関する三市・学芸大学連携講座

#### 【小平会場】

実施期間	実施回数	参加者	講師
2月10日 ～2月28日	7回	155人	東京学芸大学教授他

#### 【国分寺会場】

実施期間	実施回数	参加者	講師
11月11日 ～11月26日	5回	123人	東京学芸大学准教授 他

#### 【小金井会場】

実施期間	実施回数	参加者	講師
11月11日 ～11月28日	5回	101人	東京学芸大学准教授 他

講座内容（抜粋）

- ①造形ワークショップを企画しよう
- ②多様な子どもたち
- ③支援者とは
- ④デジタルネイティブの子どもたち
- ⑤支援者交流会

#### (4) 成人の日記念行事

「成人の日」は、「大人になったと自覚し、みずから生きぬこうとする青年を祝いはげます」記念の日として昭和23年に制定され、平成12年から1月の第2月曜日に変更された。

小金井市では、昭和29年に、第1回成人式として開催した。現在では、「成人の日記念行事」として実行委員会方式で実施しており、市内の新成人に対し地域で祝う場を持つことを通じて、郷土小金井への愛着と、成人としての自覚を高めると共に、一堂に会することにより新成人相互の交流・親睦を深めることを目的とする立場から実行委員会の自主性を尊重しつつ実施している。小金井市の芸術文化活動の振興に大きな役割を果たしている。

年月日	記念行事	各種コーナー	対象者数	参加者数	参加率
平成31年 1月14日	開会のことば、国歌斉唱、主催者あいさつ、来賓祝辞、来賓紹介、新成人のことば、閉会のことば、小金井囃子、メッセージビデオ（F C東京選手、鈴木亜由子選手、小田島理恵選手）、抽選会（会場：小金井宮地楽器ホール）	着付け直し こきんちゃん着ぐるみ出演	1,291	683	53%
令和2年 1月13日	開会のことば、国歌斉唱、主催者あいさつ、来賓祝辞、来賓紹介、新成人のことば、閉会のことば、小金井囃子、メッセージビデオ（F C東京選手、鈴木亜由子選手）、抽選会（会場：小金井宮地楽器ホール）	着付け直し こきんちゃん着ぐるみ出演	1,323	722	55%

#### (5) 家庭教育学級

家庭教育学級は、保護者等が家庭教育に関する学習を一定期間にわたって、計画的、継続的に行う事業であり、本市では、小金井市立小中学校PTA連合会等に委託し実施している。

親と子のふれあいを大切にしながら、子どもの心身の発達に即したものの感じ方・考え方の基本を学び、遊びを通じて自立性や協調性をつちかひ、健康・安全についての能力を身につけさせることを学習内容としている。

#### (6) 思春期の子どもを持つ親のための子育て講座

思春期の子どもを持つ親のための子育て講座は、平成15年度から開設した事業で、思春期の子どもをめぐる状況や問題に配慮しながら、家庭教育の充実を図るために実施する事業であり、本市では、小金井市立小中学校PTA連合会等に委託し、実施している。

学習内容は、保護者等を対象に思春期の子どもの問題行動等について、悩みや不安を持つ保護者等が、その対処方法等を意見交換やコミュニケーションを通して学習できる講座内容としている。

#### (7) 心身に障害のある児童・生徒の地域活動促進事業

学校5日制に伴う学校外活動の一環として休業日となる土曜日に心身に障害のある児童・生徒を対象として、文化・スポーツ・レクリエーション活動等の事業を平成6年度から、小金井市学校5日制の会へ委託し実施している。

内容は水泳教室等年10回以上事業が開催され、豊かで充実した地域活動の促進が図られることを目的としている。

平成30年度

実施期間	4. 1～3. 31
実施回数	18回
実施場所	総合体育館（プール、小体育室）、東京都多摩障害者スポーツセンター、鉄道博物館他
内容	毎月2回程度(夏季休業・冬季休業期間を除く)、土曜日を中心に、総合体育館でボランティア指導員の協力をいただきプール活動を実施。また、東京都多摩障害者スポーツセンター主催の水泳記録会への参加、ボウリング、ビュッフエランチ、バスハイクなどの交流事業や体験事業も実施した。
参加者数	児童・生徒224人、指導者・介助者等244人、計468人

令和元年度

実施期間	4. 1～3. 31
実施回数	16回
実施場所	総合体育館（プール、小体育室）、大栄ボウル他
内容	毎月2回程度(夏季休業・冬季休業期間を除く)、土曜日を中心に、総合体育館でボランティア指導員の協力をいただきプール活動を実施。また、ボウリング、ビュッフエランチ、バスハイクなどの交流事業や体験事業も実施した。
参加者数	児童・生徒182人、指導者・介助者等220人、計402人



### (8) まなびあい出前講座

市民が主催する学習会などに、市民の方の要請に応じて市役所、警察署、消防署の職員が出向き、担当事業などについて話し、市民の学習活動を支援するための制度で、平成15年7月に発足した。

平成30年度まなびあい出前講座実績一覧 (単位：人)

NO	月日	講座名	担当課など	参加数
1	4.20	はげの森美術館	コミュニティ文化課	15
2	5.23	災害に備えて安全対策を	地域安全課	16
3	6.8	むし歯予防 乳幼児編	健康課	48
4	6.8	郷土の歴史と文化財	生涯学習課	15
5	6.13	むし歯予防 乳幼児編	健康課	64
6	6.21	小金井市の介護保険の話	介護福祉課	15
7	6.22	生活習慣と健康づくり (保健)	健康課	30
8	6.26	生活習慣と健康づくり (栄養)	健康課	18
9	6.29	郷土の歴史と文化財	生涯学習課	96
10	7.10	むし歯予防 乳幼児編	健康課	26
11	7.12	図書館を上手に利用しよう	図書館	12
12	7.17	消費者は狙われている	経済課	18
13	8.4	小金井の地名	生涯学習課	30
14	8.6	郷土の歴史と文化財	生涯学習課	40
15	8.24	生活習慣と健康づくり (栄養)	健康課	4
16	9.25	郷土の歴史と文化財	生涯学習課	19
17	10.14	小金井市の青少年健全育成 学童保育所はどこなところ? 児童館ってどういうところ?	児童青少年課	34
18	10.22	虫歯予防 障害児編	健康課	8
19	10.23	消費者は狙われている	経済課	14
20	10.31	虫歯予防 乳幼児編	健康課	29
21	11.22	すくすく子育て (保健) 健康や育児について	健康課	27
22	12.20	小金井の遺跡	生涯学習課	25
23	1.10	郷土の歴史と文化財	生涯学習課	20
24	1.25	郷土の歴史と文化財	生涯学習課	90
25	3.7	小金井の地名	生涯学習課	30
26	3.11	小金井市の介護保険の話	介護福祉課	18
27	3.22	名勝小金井桜の今昔	生涯学習課	10
28	3.30	災害に備えて安全対策を	地域安全課	25
合 計			796	

令和元年度まなびあい出前講座実績一覧 (単位：人)

NO	月日	講座名	担当課など	参加数
1	5.28	郷土の歴史と文化財	生涯学習課	80
2	5.29	むし歯予防 乳幼児編-ブラッシング習慣をつけよう	健康課	23
3	5.31	むし歯予防 乳幼児編-ブラッシング習慣をつけよう	健康課	61
4	6.6	ごみの出し方とリサイクル	ごみ対策課	22
5	6.21	郷土の歴史と文化財	生涯学習課	15
6	6.24	小金井さくら体操	介護福祉課	3
7	6.25	いつまでも健康でいるための食事と栄養の摂り方 (高齢者向け)	健康課	19
8	7.2	むし歯予防 乳幼児編-ブラッシング習慣をつけよう	健康課	32

9	7.11	小金井市の障がい者福祉サービス	自立生活支援課	15
10	7.11	土地区画整理事業について	まちづくり推進課	20
11	7.21、 9.1	郷土の歴史と文化財	生涯学習課	50
12	8.7	生活習慣病予防について	健康課	10
13	9.24	お口の健康 障がい者編	健康課	8
14	10.10	生活保護のしくみ	地域福祉課	20
15	10.21	むし歯予防 障がい児編—健康な歯を保つために	健康課	8
16	10.23	むし歯予防 乳幼児編—ブラッシング習慣をつけよう	健康課	44
17	10.29	災害に備えて安全対策を	地域安全課	10
18	10.31	こうして作る広報紙	広報秘書課	10
19	11.20	小金井の遺跡	生涯学習課	20
20	11.26	小金井市の介護保険の話	介護福祉課	25
21	11.28	災害に備えて安全対策を	地域安全課	20
22	11.29	お口の健康 障がい者編	健康課	3
23	12.11	市民課窓口の仕事	市民課	50
24	2.13	消費者は狙われている	小金井市 社会福祉協議会	20
合 計			588	

### (9) 地域参加のための講座

平成17年度より開始した、定年退職を迎える市民に小金井のことを知り、地域活動、暮らし方、仕事等を紹介し地域に眼を向けてもらい、定年後に地域貢献活動への参画、生きがいを見つけてもらうための講座。

平成30年度

回	内 容	月 日	参加者数(人)
第1回	小金井市教育委員会挨拶 講座ガイダンス 講演：シニア世代の人生設計と地域参加 ～実践的経験を踏まえて～	5. 19	14
第2回	小金井市文化財センター見学 講演：武蔵小金井駅周辺 野外バーベキュー大会	5. 26	17
第3回	体を動かそう：スポーツに親しむ多世代交流クラブ 震災シミュレーションゲームなど	6. 2	16
第4回	JR 豊田車両センター見学 三楽公園・貫井神社・滄浪泉園見学	6. 9	18
第5回	講演：消費者は狙われている 団体紹介：シルバー人材センター シニア世代の地域参加実践談	6. 16	14
第6回	国立天文台 三鷹キャンパス 国際基督教大学 湯浅八郎記念館 情報通信研究機構(NICT) 見学	6. 22	16
第7回	小金井市NPO法人・市民団体の概要 団体紹介：シニアSOHO小金井 講座を終えるにあたって 交流パーティー	6. 30	18
		参加者延べ人数	113

## 令和元年度

回	内 容	月 日	参加者数(人)
第1回	小金井市教育委員会挨拶、講座ガイダンス 講演：シニア世代の人生設計と地域参加～実践的経験を踏まえて～	5. 18	16
第2回	小金井市文化財センター見学 講演：小金井市を南北に縦断する旧道 野外バーベキュー大会	5. 25	20
第3回	体を動かそう：スポーツに親しむ多世代交流クラブ 救急・火災・地震 その時に	6. 1	15
第4回	国立天文台、ICU 湯浅八郎記念館、 情報通信研究機構 (NICT) 見学	6. 7	23
第5回	特殊詐欺などへの対応について 団体紹介：シルバー人材センター シニア世代の地域参加実践談	6. 15	10
第6回	東京農工大学 科学博物館見学 はけの道 小金井市遺跡・施設の見学	6. 22	11
第7回	小金井市NPO法人・市民団体の概要 団体紹介：シニアSOHO小金井 講座を終えるにあたって 交流パーティー	6. 29	17
		参加者延べ人数	112

## 4 社会教育関係団体

### (1) 社会教育関係団体登録制度

団体登録に必要な基準は、公の支配に属さない団体であり、継続的、計画的に社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とし、事業の成果が期待できることのほか、特定の政党や宗教を支持・活動及び営利事業等の行為を行わないもので、団体の組織及び運営に関し、次の要件を備えていること。

- ① 団体の構成員が10人以上で、原則として構成員の2分の1以上が市内に在住、在勤、在学していること。
- ② 代表者を置き、規約を有するなど、組織が確立していること。
- ③ 活動の本拠としての事務所又は連絡先を市内に有すること。
- ④ 団体の活動をするための自己財源及び団体独自の経理機構を有すること。

### (2) 社会教育関係団体補助金

この補助金は、1年以上の登録実績がある団体に対して、事業費の一部を助成するものである。団体からの申請にもとづき、社会教育委員の会議の意見を聴き、交付される。

補助の対象となる事業は、原則として社会教育を主たる目的とし、一般市民を対象にした事業で、おおむね次に掲げるものである。

- ① 各種講演会、講習会、大会等の事業
- ② スポーツ及びレクリエーション等の事業
- ③ 芸能文化活動等の事業
- ④ 調査研究の発表及び資料作成事業
- ⑤ その他社会教育の振興に必要と認められる事業

この補助対象事業は、1団体につき年間1事業とし、5回の補助を限度として見直しを行うものとする。

ただし、政治、宗教及び営利活動は補助の対象としない。

# 6 文化財・市史編さん

## 1 文化財

### (1) 文化財保護の目的と文化財の種別

文化財保護行政の目的は、文化財保護法第1条に、「文化財を保存し、且つその活用を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進歩に貢献することを目的とする。」と規定され、第3条に国及び地方団体の任務として「文化財がわが国の歴史、文化等の正しい理解のため欠くことのできないものであり、且つ将来の文化の向上発展の基礎をなすものであることを認識し、その保存が適切に行われるように、周到の注意をもってこの法律の趣旨の徹底に努めなければならない。」と規定されている。また、第182条第2項に「地方公共団体は、条例の定めるところにより（中略）当該公共団体の区域内に存するもののうち重要なものを指定して、その保存及び活用のため必要な措置を講ずることができる。」とあり、小金井市では、昭和46年7月に「小金井市文化財の保護に関する条例」を制定した。その後、文化財保護法の改正や時代の推移により、見直す必要があり、平成18年3月28日、同条例を全部改正し、「小金井市文化財保護条例」を制定した。

この条例の目的は、「小金井市の区域内に存する文化財について、その保存及び活用のため必要な措置を講じ、もって、市民の郷土に対する認識を深めるとともに、文化の向上に資すること」であり、この条例で定める文化財は以下のとおりである。

- ① 有形文化財（旧重宝）：建造物、絵画、彫刻、工芸品、書跡、典籍、古文書その他の有形の文化的所産で歴史上又は芸術上価値の高いもの（これらのものと一体をなしてその価値を形成している土地その他の物件を含む。）並びに考古資料及びその他の学術上価値の高い歴史資料
- ② 無形文化財（旧技芸）：演劇、音楽、工芸技術その他の無形の文化的所産で歴史上又は芸術上価値の高いもの
- ③ 無形民俗文化財（旧技芸）：衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術、民俗生活の推移の理解のため欠くことのできないもの
- ④ 有形民俗文化財（旧郷土資料）：衣食住、生業、信仰、年中行事等に関する風俗慣習、民俗芸能、民俗技術、用いられる衣服、器具、家屋その他の物件で生活の推移の理解のために欠くことのできないもの
- ⑤ 史跡：集落跡、古墳、旧宅その他の遺跡で歴史上又は学術上価値の高いもの
- ⑥ 名勝：庭園その他の名勝地で芸術上又は鑑賞上価値の高いもの
- ⑦ 天然記念物：動物（生息地、繁殖地及び渡来地を含む。）、植物（自生地を含む。）及び地質鉱物（特異な自然の現象の生じている土地を含む。）で学術上価値の高いもの。

### (2) 文化財保護審議会制度

文化財保護審議会は、旧条例の文化財専門委員に代わる制度で、教育委員会の諮問に応じて、文化財の保存及び活用に関する重要事項について調査審議し、並びにこれらの事項について教育委員会に意見を具申し、又は建議すること。また、教育委員会の求めに応じて、市の区域内に存する文化財に関する専門的な調査研究及び教育委員会が行う文化財保護事業に対して指導又は助言をすることを職務としている。委員の任期は2年、7名以内となっており、学識経験者から委嘱している。

文化財保護審議会名簿

第7期

	委員氏名	分野
会長	二宮 修治	博物館学
副会長	田中 鶴代	文化財科学
委員	伊藤 裕久	建築学
委員	鈴木 廣之	美術史
委員	椎名 豊勝	植物学
委員	孤島 法夫	郷土史

※任期：平成30年5月11日～令和2年5月10日

第8期

	委員氏名	分野
会長	二宮 修治	博物館学
副会長	伊藤 裕久	建築学
委員	鈴木 廣之	美術史
委員	椎名 豊勝	植物学
委員	孤島 法夫	郷土史
委員	太田 和子	近世史

※任期：令和2年5月11日～令和4年5月10日

### (3) 指定文化財

市文化財保護審議会に諮問し、その答申を受けて指定された文化財は、33件、登録された文化財は7件である。その内訳は別表のとおりである。また、国指定等6件、都指定7件がある。

#### 市指定文化財一覧

No.	条例種別	名称	時代	所在地	所有者等	指定年月日
1	有形文化財	応永廿九年銘薬師如来立像	1422	梶野町2-7-5	長昌寺	昭和48年2月13日
2	有形民俗文化財	渡辺家墓地月待板碑(付1基)	1538	中町4-9	共同管理	昭和48年2月13日
3	有形民俗文化財	寛文六年庚申塔	1666	中町4-11	金藏院	昭和48年2月13日
4	有形民俗文化財	寛政六年庚申塔	1794	貫井南町4-11	小金井市	昭和48年2月13日
5	有形民俗文化財	梶家所蔵板碑群	1308～	前原町3-32-15	個人所有	昭和48年2月13日
6	有形民俗文化財	梶家所蔵宝篋印塔	14世紀	前原町3-32-15	個人所有	昭和48年2月13日
7	有形民俗文化財	川崎平右衛門供養塔	1795	関野町2-8-4	真藏院	昭和48年11月17日
8	天然記念物	大久保家のカキノキ	近世～	緑町5-20-31	個人所有	昭和49年2月27日
9	天然記念物	浴恩館公園のツツジ群	近代	緑町3-2-37	小金井市	昭和49年2月27日
10	天然記念物	金藏院のケヤキとムクノキ	近世～	中町4-13-25	金藏院	昭和49年6月14日
11	有形文化財	閻魔堂木造閻魔王坐像	1777	貫井南町4-19	共同管理	昭和52年5月28日
12	無形民俗文化財	貫井囃子		貫井南町	貫井囃子保存会	昭和53年3月11日
13	無形民俗文化財	野謡		緑町	小金井郷土芸能保存会	昭和53年3月11日
14	史跡	空林荘	1933	緑町3-2-37	小金井市	昭和55年6月21日
15	史跡	旧浴恩館(青年団講習所跡)	1929	緑町3-2-37	小金井市	昭和63年3月17日
16	無形民俗文化財	小金井囃子		中町・東町	小金井囃子保存会	平成14年11月12日
17	無形民俗文化財	関野町餅つき		関野町1-7-20	関野町餅搗保存会	平成14年11月12日
18	有形文化財	金井観花詩歌図巻・附小金井桜樹碑拓本	1826	緑町3-2-37	小金井市	平成19年8月23日
19	有形文化財	中山谷遺跡10号住居址出土土器群	縄文時代	緑町3-2-37	小金井市	平成19年8月23日
20	有形文化財	中山谷遺跡23号住居址出土土器群	縄文時代	緑町3-2-37	小金井市	平成19年8月23日
21	有形文化財	野川中洲北遺跡出土旧石器時代石器群及び植物遺体	旧石器時代	緑町3-2-37	小金井市	平成23年4月25日
22	有形文化財	荒牧遺跡出土旧石器時代石器群	旧石器時代	緑町3-2-37	小金井市	平成23年4月25日
23	有形文化財	貫井遺跡2・3・6号住居址出土縄文時代中期土器群	縄文時代	緑町3-2-37	小金井市	平成23年4月25日
24	有形文化財	中山谷遺跡29号住居址出土縄文時代中期土器群	縄文時代	緑町3-2-37	小金井市	平成23年4月25日
25	有形文化財	貫井南遺跡出土縄文時代中期装身具	縄文時代	緑町3-2-37	小金井市	平成23年4月25日
26	有形文化財	前原町3丁目出土板碑	縄文時代	緑町3-2-37	小金井市	平成23年4月25日
27	有形文化財	鈴木英男家文書	江戸・明治	緑町3-2-37	小金井市	平成23年4月25日
28	有形民俗文化財	旧大澤家稗倉(穀櫃)	江戸・明治	緑町3-2-37	小金井市	平成23年4月25日
29	天然記念物	旧谷口家のオニイタヤ		中町4-16-5	東京都	平成26年4月17日
30	有形文化財	吉野家住宅	近世	桜町3-7-1	東京都	平成27年4月8日
31	有形文化財	天明家住宅	近世	桜町3-7-1	東京都	平成27年4月8日
32	有形文化財	奄美の高倉	近世	桜町3-7-1	東京都	平成27年4月8日
33	有形民俗文化財	宝永五年六十六部廻国供養塔	近世	中町4-12	小金井市	平成27年12月8日

#### 市登録文化財一覧

番号	条例種別	名称	時代	所在地	所有者等	指定年月日
1	有形文化財	貫井遺跡出土片口碗形土器	縄文時代	緑町3-2-37	小金井市	平成23年4月25日
2	有形文化財	前原町3丁目出土蔵骨器	室町時代	緑町3-2-37	小金井市	平成23年4月25日
3	有形文化財	小金井橋碑石 附小金井橋碑文	1852	緑町3-2-37	小金井市	平成23年4月25日

4	有形文化財	陸軍技術研究所境界石杭	1940～1942	緑町3-2-37 本町5-31	小金井市 個人・市所有	平成23年4月25日 平成30年8月23日
5	有形民俗文化財	下山谷念仏講用具	1719～	緑町3-2-37	小金井市	平成23年4月25日
6	有形民俗文化財	貫井坂下中組講梳組合器	1857	緑町3-2-37	小金井市	平成23年4月25日
7	有形民俗文化財	国産ミショー型自転車	明治時代	緑町3-2-37	小金井市	平成23年4月25日

#### 都指定文化財一覧

番号	条例種別	名 称	時代	所在地	所有者等	指定年月日
1	旧跡	金井原古戦場	中世	前原町一帯		昭和11年3月4日
2	有形文化財	旧自証院霊屋	近世	桜町3-7-1	東京都	昭和35年2月13日
3	有形文化財	茂呂遺跡出土石器	旧石器時代	桜町3-7-1	東京都	平成11年3月3日
4	有形文化財	旧前川家住宅主屋	近代	桜町3-7-1	東京都	平成27年3月16日
5	有形文化財	旧小出邸	近代	桜町3-7-1	東京都	平成31年3月29日
6	有形文化財	旧三井家本邸	近代	桜町3-7-1	東京都	平成31年3月29日
7	無形文化財	糸あやつり	近世～	貫井北町3-18-2	結城座	昭和31年3月3日

#### 国指定文化財等一覧

番号	条例種別	名 称	時代	所在地	所有者等	指定年月日
1	名勝	小金井(サクラ)	近世～	小平市～武蔵野市	東京都	大正13年12月9日
2	史跡	玉川上水	近世～	羽村市～渋谷区	東京都	平成15年8月27日
3	重要文化財	土製耳飾／調布市布田町下布田遺跡	縄文時代	桜町3-7-1	東京都	昭和54年6月6日
4	登録有形文化財	旧中村研一邸主屋	1959	中町1-11-3	小金井市	平成31年3月29日
5	登録有形文化財	旧中村研一邸茶室(花侵庵)	1960	中町1-11-3	小金井市	平成31年3月29日
6	記録選択	江戸の糸あやつり人形	近世～	貫井北町3-18-2	結城座	平成8年11月

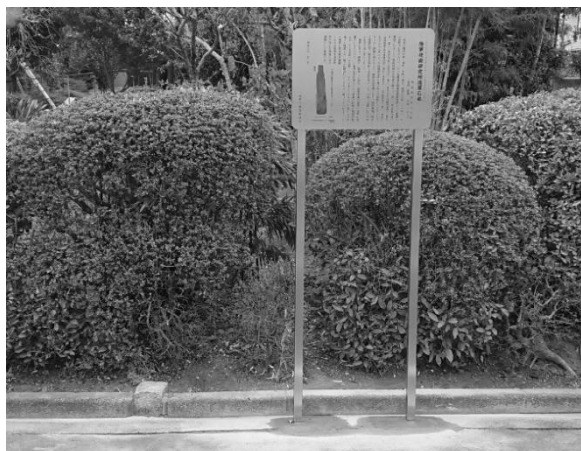
#### (4) 文化財管理公開謝礼

市内の指定文化財及びそれに準ずる文化財で、右表の12件の公開及び日常の管理に対して謝礼金を支給している。

なお、市指定無形民俗文化財については、平成14年度までの補助金に替わり平成15年度から管理公開謝礼を支給している。

#### (5) 文化財説明板の設置

啓発普及活動の一環として、指定文化財や遺跡等の内容について分かりやすく解説した説明板の設置を実施している。



文化財説明板の設置(平成30年度)

#### 管理公開謝礼対象文化財

種 別	名 称
有形文化財	応永廿九年銘薬師如来立像
有形文化財	閻魔堂木造閻魔王坐像(付諸像具)
有形民俗文化財	渡辺家墓地月待板碑(付1基)
有形民俗文化財	寛文六年庚申塔
有形民俗文化財	梶四郎家所蔵板碑群
有形民俗文化財	梶四郎家所蔵宝篋印塔
有形民俗文化財	川崎平右衛門供養塔
天然記念物	大久保家のカキノキ
天然記念物	金蔵院のケヤキとムクノキ
無形民俗文化財	貫井囃子
無形民俗文化財	小金井囃子
無形民俗文化財	関野町餅つき

#### 文化財説明板の設置状況(過去3年間)

年度	件 名	設置場所
29	南武蔵野新田開発陣屋跡	関野町2-5
30	陸軍技術研究所境界石杭	本町5-31
元	文政五年庚申塔	貫井北町5-20

## (6) 名勝小金井（サクラ）の整備・活用

玉川上水の史跡指定（平成15年8月27日）に伴い、東京都水道局は、平成18年度に「史跡玉川上水保存管理計画」を策定し、この中で、重点整備方針に、「名勝小金井（サクラ）のヤマザクラ並木の復活」が挙げられた。さらに東京都水道局は、平成21年度に「史跡玉川上水整備活用計画」を策定し、平成22年度から平成31年度まで10年間の具体的な整備計画を定めた。

整備事業は、東京都水道局がサクラを被圧する高木類を伐採、東京都教育庁・小金井市・市民団体が協働してヤマザクラの苗木を補植するというものである。名勝小金井（サクラ）の整備については、並木復活のための補植のルールを定めるとともに、新小金井橋から関野橋までの約640mをモデル整備区間に指定し平成22年度から平成24年度まで実施した。その後は、整備区間を関野橋から梶野橋間、小金井橋から新小金井橋間に分けて区間設定し事業を推進した。

これにより、平成22年度から令和元年度までの10年間で、小金井橋から梶野橋間上水兩岸に合計214本の苗木が補植され、苗木はおおむね良好に生育し名勝の再生が進んだ。令和2年度以降は未整備区間の小金井橋以西又は梶野橋以東を継続して整備する計画である。

また、小金井市は、平成24年度に「玉川上水・小金井桜整備活用実施計画」を策定した。この計画は、ヤマザクラ並木の復活とともに、市が管理する緑道（歩道）や橋梁等の景観整備を行うもので、平成26年度に玉川上水に架かる小金井公園前歩道橋を撤去、平成27年度に人道橋が設置・開通した。橋名は、市民公募により平右衛門橋と命名した。

サクラ並木の再生状況



## (7) 埋蔵文化財の保護

埋蔵文化財とは、土地に埋まっている過去の人々の生活の跡（遺跡）や生活道具等（遺物）をいい、文化財保護法（以下「法」という。）で国民の共有財産として保護が義務付けられている。

小金井市内には、国分寺崖線（ハケ）や野川の周辺等に23か所の遺跡が知られ、遺跡地図でその範囲が指定されている（周知の遺跡）。この周知の遺跡の中で土木工事を実施する場合には、法の規定により事前に届出又は通知が義務付けられており、土木工事等を予定している事業者は、事前に教育委員会の窓口で、工事予定地の遺跡の有無の照会を行っている。遺跡が存在する場合には、工事内容により、試掘調査、立会調査、発掘調査の必要の判断を行い、事業者が民間の場合は法第93条第1項規定による発掘届、事業者が公共団体の場合は法第94条第1項規定による発掘通知の提出を義務付けている。

平成18年度以降では、個人住宅建築に伴う届出が多く、基礎工事の際に埋蔵文化財担当職員による立会調査がほとんどで、試掘調査が9件、発掘調査が2件である。

### 近年の発掘届・発掘通知提出件数

年度	法第93条第1項	法第94条第1項
30	51件	2件
元	66件	1件

### 近年の発掘調査一覧

年度	遺跡名	所在地	原因
20	貫井遺跡	貫井南町3	市道拡幅工事
29	本町六丁目遺跡	本町6	再開発事業

### (出土品等の保存・活用)

発掘調査を実施した場合は、その結果を学術的な報告書にまとめ、地域の歴史を明らかにするための研究資料として広く活用されることになる。

これまでに市内遺跡の発掘調査によって出土した遺物は、旧石器時代から縄文時代の石器や土器を中心に整理箱にして約2,000箱にのぼり、現在、文化財センターで保存するとともに、展示を行って活用されている。また、平成14年度には出土した遺物写真、平成21年度には発掘調査の写真をデジタル化し、活用を図っている。平成29年度には、市立第四小学校玄関で貫井遺跡出土土器等の実物展示（常設）を開設した。

## (8) 文化財センター

文化財センターは、「浴恩館」として知られ、昭和3年(1938)に京都で行われた大嘗祭(昭和天皇即位式)に使用されたものである。昭和5年に財団法人日本青年館が現在地に移築し、全国の青年団指導者を養成する講習所として使用された。昭和8年(1933)から12年(1937)まで、『次郎物語』の作者である下村湖人が講習所長を務め、『次郎物語』第五部の舞台となった。昭和48年(1973)に小金井市が買収し、青少年センターとして使用されてきたが、建物の老朽化に伴い、改修し、平成5年6月6日、郷土資料（文化財等）を展示・保管する文化財センターとして開館した。市指定史跡。

### ① 施設の概要

展示室：考古・歴史・民具資料による「小金井の歴史と暮らし」・「下村湖人と浴恩館」に関する常設展  
この他、季節展示・企画展を実施

学習室：講座や各種学習会に利用  
 市史編さん室：市史編さん資料の保管  
 南 寮：青年団講習所時代の寄宿舎。浴恩館関係の展示。  
 空林荘：青年団講習所時代の講師宿舎。市指定史跡。  
 倉庫棟：青年団講習所時代の武道場  
 稗 倉：市内から移築した江戸時代の食料備蓄倉庫。市指定文化財。

#### 文化財センター入館者数（過去3年間）

年度	個人	団体	合計	開館日数
29	1,573人	2,004人	3,577人	277日
30	1,687人	1,069人	2,756人	259日
元	2,044人	1,203人	3,427人	261日

#### ② 利用方法

開館時間：午前9時～午後4時30分

休 館 日：毎週月曜日（月曜日が休日にあたる時はその翌日）・年末年始・臨時休館日

入 館 料：無料

使用申請：学習室使用、資料の閲覧は事前申請が必要

#### 企画展示：春と秋に年2回程度開催している（過去3年間）

年度	開催日	テーマ	参加者数
29	3.25～5.28	川崎平右衛門没後250年記念 名勝小金井桜	723人
	11.3～12.24	新収蔵資料展	662人
30	3.27～5.27	名勝小金井桜	744人
	11.1～12.24	明治150年市制施行60周年記念展示 小金井の絵図	665人
元	3.26～5.26	名勝小金井桜	867人
	11.1～12.25	小金井の石造物	578人

#### 文化財講演会（過去3年間）

年度	開催日	テーマ	参加者数
29	11.11	川崎平右衛門と小金井 講師：真下 祥幸（江戸東京たてもの園学芸員）	19人
30	11.10	江戸遺跡と小金井 講師：追川 吉生（東京大学埋蔵文化財調査室）	17人
元	11.17	はげの住環境～旧中村研一邸と佐藤秀三～ 講師：栢木 まどか（東京理科大学准教授）、 濱 定史（山形大学助教）	34人

#### 古文書講座（過去3年間）

年度	開催日	テーマ	参加者数
29	2.24・3.3・3.10	史料に探る中世の小金井 講師：下村 周太郎（東京学芸大学准教授）	86人
30	3.2・3.10	村のなかの修験 講師：岩橋 清美（国文学研究資料館）	57人
元	中止	小金井市史を読む （新型コロナウイルスの感染拡大予防のため中止）	—

#### 史跡めぐり（過去3年間）

年度	開催日	テーマ	参加者数
29	11.25	川崎平右衛門の故地を訪ねる（11月18日雨天中止、11月25日実施） 案内：生涯学習課文化財係	5人
30	11.17	野川流域の遺跡を訪ねて 案内：生涯学習課文化財係	15人
元	11.24	はげ周辺の文化財（11月23日荒天中止、翌日順延） 案内：生涯学習課文化財係	10人



## 2 市史編さん

小金井市史編さん委員名簿

	氏名	区分
委員長	根岸茂夫	学識経験者
副委員長	牛米努	学識経験者
委員	中嶋久人	学識経験者
同上	日高慎	一般市民
同上	井上恵美子	一般市民
同上	住野英進	市職員
同上	大熊雅士	市職員

※任期：令和元年8月20日～令和4年8月19日

### (1) 市史編さんのあゆみ

平成19年3月20日、市誌編さん委員会条例を改正し、市史編さん委員会条例とした。新たに学識経験者、市民委員を委嘱し、小金井市史編さん委員会を発足させた。新たな『小金井市史』は、資料編5冊(考古・近世・近代・現代・小金井桜)、通史編1冊の刊行が計画され、市制施行50周年にあたる平成20年度に『資料編 小金井桜』、同55周年の平成25年度に『資料編 近代』、平成27年度に『資料編 現代』、平成28年度に『資料編 近世』を、市制施行60周年の平成30年度に『通史編』及び『資料編 考古・中世』を発刊し、市史編さん計画の6冊を全て刊行した。

### (2) 市史編さん調査研究

#### ① 近世部会・近代部会・現代部会・考古部会の活動

平成22年度より、近代部会及び現代部会、平成26年度に近世部会、平成27年度に考古部会を発足させ、各資料編及び通史編の刊行に向けて調査・研究活動に取り組んできた。

#### ② 古文書調査委託

市史編さんのための基礎資料とするため、昭和52年度から専門家に委託して市内に残る古文書の筆写を続けて来た。平成2年度までに貫井南町の「鈴木英男家文書」650点の筆写を終了し、平成3年からは、近代の行政資料である「小金井市保管文書」に取りかかり、平成19年度までに168点の筆写を終了した。

平成20年度には鴨下家文書256点の筆写を終え、平成21年度から平成23年度まで、大久保家文書の調査(筆写)426点を実施し、市史編纂資料集に所収した。

平成24年度以降は、梶野家文書1,351点の調査(筆写)を実施、継続している。

#### ③ 市民協働

平成10年度、市誌編さん委員会から出された「市史編さん大綱」建議の付帯意見に、古文書講座の開設が挙げられ、平成11年から、文化財センターで古文書講座が始まった。平成13年、この講座の受講者有志により自主グループ「小金井古文書の会」が結成され、文化財センターで月2回の古文書学習が行われている。同会は、平成16年度から、小金井市内の古文書の解説に取り組んでいる。

### (3) これからの市史編さん

『小金井市史』を基礎資料としながら、市史編さん事業の蓄積を市史編さん活動又は文化財保護事業へと継承し歴史資料や文化財の活用を図る。市史編さん事業で調査・研究してきた成果を刊行物等に纏め発刊し、学校教育や生涯学習に役立てるとともに、市民の郷土に対する理解と愛情を深めるために、計画的に刊行物を作成する。

#### (4) 発行図書一覧

##### 小金井市誌・小金井市史

年度	書名	総頁数	判型
昭和43	小金井市誌Ⅰ 地理編		A5
昭和45	小金井市誌Ⅱ 歴史編		A5
昭和42	小金井市誌Ⅲ 資料編		A5
昭和51	小金井市誌Ⅳ 年表編		A5
昭和53	小金井市誌Ⅴ 地名編		A5
昭和53	小金井市誌Ⅵ 今昔話編		A5
22	小金井市史 資料編 小金井桜	899	A5
25	小金井市史 資料編 近代	824	A5
27	小金井市史 資料編 現代	902	A5
28	小金井市史 資料編 近世	914	A5
30	小金井市史 資料編 考古・中世	477	A4
30	小金井市史 通史編	809	A5

##### 小金井市史編纂資料集（過去3年間）

年度	番号	書名
29	小金井市史編纂資料 第57編	梶野新田梶野家文書(2)
30	小金井市史編纂資料 第58号	梶野新田梶野家文書(3)
元	小金井市史編纂資料 第59号	梶野新田梶野家文書(4)

#### (5) 小金井市史刊行記念講演会

年度	開催日	テーマ	参加者数
元	11. 2	『小金井市史』全巻の完成を記念して執筆者による各時代の歴史的特徴について講演 パネラー：根岸 茂夫、日高 慎、牛米 努、中嶋 久人 コーディネータ：大熊教育長 会場：宮地楽器ホール小ホール	70人

### 3 市制施行 60 周年記念事業（平成 30 年度）

事業名	期間	内容
小金井村絵図修復	～10. 31	市制施行60周年及び東京・明治150年記念事業 3枚の絵図の修復・電子化・複製品製作・企画展
刊行物	9. 28	小金井桜クリアファイル 4種各500部合計2,000部
記念講演会	2. 2	テーマ：古絵図でたどる小金井の幕末明治 会場：宮地楽器ホール 講師：牛米 努、太田 和子 参加人数：98人
提案型協働事業	10. 20 ～24	昭和の小金井写真展（コミュニティ文化課協働事業提案制度採択） 会場：宮地楽器ホール 来場者数：1,469人 共催：小金井史談会



小金井市史刊行記念講演会



市制施行 60 周年記念講演会  
古絵図でたどる小金井の幕末明治

コースにそって

A. 玉川上水にそって

- 1 史跡玉川上水
- 2 名勝小金井(サクラ)
- 3 玉川上水の橋
- 4 御成の松
- 5 皇政稲荷
- 6 都立小金井公園、江戸東京たてもの園
- 7 私島家ノサンチュウ(指定解除)
- 8 武蔵野新田開泰庭屋跡
- 9 真藏院・川崎平右衛門供養塔
- 10 八幡神社
- 12 桜樹接種碑
- 13 尾州家鹿場御定杭

B. 仙川にそって

- 14 陸軍技術研究所跡
- 15 江戸糸あやつり人形 結城座
- 16 山王稲穂神社
- 17 小金井分水、山王稲葉樋
- 18 大松木下之稲荷
- 19 三北院
- 20 小金井養生院跡・桜町病院
- 21 刀工金井信重屋敷跡
- 22 大久保家のカキキ
- 23 地蔵通り・宝暦元年庚申塔
- 24 大蔵神社
- 25 野詔
- 26 浴恩館・空林荘
- 27 洗恩館公園のツツジ群
- 28 山の神
- 29 龜久保田圃
- 30 市村島神社
- 31 弘化三年馬頭観音塔
- 32 長昌寺・応永廿九年銘薬師如来
- 33 権野の薬樋
- 34 永寿字宮・権野分教場跡
- 35 下築屋稲荷
- 36 東小金井駅・貨物駅跡

C. 連雀通りにそって

- 37 眞井通跡
- 38 はけうえ遺跡
- 39 瀧浪泉園
- 40 小金井警察署
- 41 前原権六墓
- 42 平代坂遺跡
- 43 前原地下式権六
- 44 権四郎家所蔵板碑群・宝篋印塔
- 45 小金井消防署
- 46 武蔵小金井駅
- 47 西之台遺跡
- 48 至永四年六地藏(六面石幢)
- 49 小金井村・町役場跡
- 50 永井鑑治郎・本木梅太郎燔燼碑
- 51 蛇の目ミンシ工場跡

D. 薬師道にそって

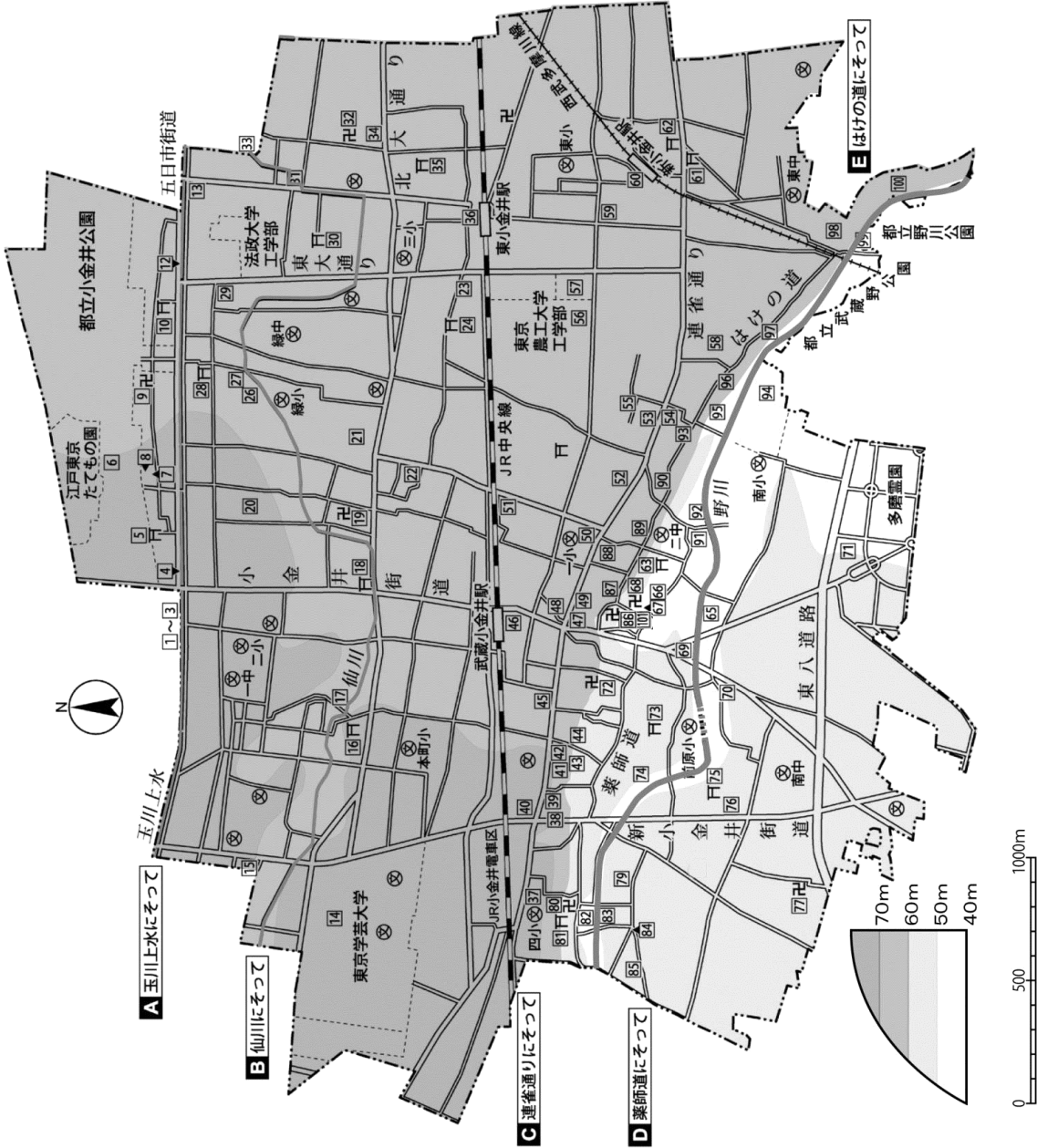
- 52 中山谷遺跡
- 53 渡辺文吉燔燼碑
- 54 幡下製糸場跡
- 55 地蔵・庚申塔・石灯籠
- 56 東京農工大学・科学博物館
- 57 梁山公園
- 58 梁山遺跡
- 59 御粟林跡
- 60 御小金井駅
- 61 空森稲荷神社
- 62 南関野天神社

E. はけの道にそって

- 63 小金井神社
- 64 小金井囃子
- 65 前原遺跡
- 66 寛文六年庚申塔
- 67 小金井小次郎の墓
- 68 西念寺
- 69 金井原古戦場
- 70 椿峠下墓地の石造物
- 71 多磨霊園
- 72 幡随院
- 73 中丸・神明宮・光明院跡
- 74 松平女子学校跡・モーリ農園跡
- 75 下矢天
- 76 眞井南遺跡
- 77 十手院
- 79 間廣堂木造間廣王坐像
- 80 眞明寺
- 81 眞井神社
- 82 眞井フール(水泳場)跡
- 83 菅状遺跡
- 84 寛政六年庚申塔
- 85 眞井囃子

E. はけの道にそって

- 86 金藏院・ウヤキとムクワキ
- 87 眞金井の湧水・オニイタヤ
- 88 渡辺家墓地月待板碑
- 89 眞隆墓地の廻國供養地藏・葦子塚
- 90 市立はけの森美術館・はけの小路
- 91 新橋遺跡
- 92 四割塚跡
- 93 小説『武蔵野夫人』ゆかりの地
- 94 七軒堂遺跡・くらやま
- 95 野川中洲北遺跡
- 96 小金井水田跡碑
- 97 武蔵野公園低湿地遺跡
- 98 JCOLLOC.15遺跡
- 99 二枚橋
- 100 都立野川公園
- 101 至永五年廻國供養塔



(4) 市内の文化財案内図

# 7 社会体育

## 1 社会体育のあゆみ

本市の社会体育は、主に競技団体の育成と各種競技大会、市民体育祭等を開催し、スポーツの振興を図ってきたが、近年これら競技性を重視したスポーツのほか、更なるスポーツ人口の拡大を図るため、子どもから高齢者に至るまで「いつでも・どこでも・いつまでも」スポーツに親しめる「生涯スポーツ社会」の実現に向け努めている。また、多様化するスポーツニーズにできるだけ応えていくため、組織体制について、昭和59年5月に「社会体育課」を設置し、平成元年4月に「体育課」に、平成19年4月に「スポーツ振興課」に、平成21年4月に「生涯学習課」と再編された。

主なスポーツ施設整備については、平成元年6月に市民待望の総合体育館（温水プール併設）を開館し、平成6年6月には市テニスコート場（全天候型7面）が旧西部コートあとに開設し、平成18年4月から栗山公園健康運動センターが教育委員会直営施設となった。さらに、かねてから懸案であった上水公園運動施設管理棟の建て替えが終了し、平成18年4月にオープンするなど、施設面でも一層の充実が図られた。平成21年4月からは、民間の能力を活用し、住民サービスの向上と効率化を図るため、総合体育館及び栗山公園健康運動センターの管理運営について、指定管理者制度を導入した。平成31年度には総合体育館において大体育室への空調設備設置等の大規模改修工事（第1期）を実施した。

また、主なスポーツ事業については、平成25年度に国内最大のスポーツの祭典である「スポーツ祭東京2013（第68回国民体育大会・第13回全国障害者スポーツ大会）」が東京では54年ぶりに開催され、本市は弓道競技及びバスケットボール競技を行い、全市民的な取り組みとして成功裏に収めた。平成26年度から平成28年度の毎年5月には全国で実施しているチャレンジデー事業に参加し、チャレンジデー当日は多くの市内在住・在勤・在学者が運動やスポーツを行い、市内全体でスポーツ推進に取り組んだ。平成29年4月には「豊かな生涯をスポーツとともに」を基本理念として、小金井市スポーツ推進計画を策定し、市としてスポーツへの取組を明確に位置付けた。

現在は、東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けて、聖火リレーや市内がコースの一部となる自転車競技（ロード）の準備を中心として、その他大会機運醸成等の取組を行っている。

## 2 スポーツ推進委員

平成23年8月にスポーツ振興法がスポーツ基本法に改正されたことにより、従来の「体育指導員」の名称が「スポーツ推進委員」に変更され、新たな役割として連絡調整等の職務が加わった。このことから、地域スポーツのコーディネーターとしての役割が一層期待され、活躍の場が広がっている。

令和2年4月1日現在、スポーツ推進委員は第29期を迎え、各委員は、広報部、事業部及び研修部の3部会に分かれて活動し、地域社会におけるスポーツ振興に力を注いでいる。スポーツ推進委員は、市民が自主的にスポーツレクリエーションに親しめるように実技の指導と助言をすることを始めとして、各種の行事・スポーツ事業に熱意と経験をもって取り組むなど、市民が社会体育に対してより深い理解を得られるよう各々日常活動に精励している。

第29期 小金井市スポーツ推進委員

氏名	特技	氏名	特技
明石康平	水泳	長谷川嘉子	バレーボール
岩崎恭子	フェンシング	林雅子	水泳
上田真美	バレーボール	藤井隆之	剣道
大澤則雄	野球	藤澤博	卓球
梶山健志	アメリカンフットボール	藤森寿美子	バレーボール
加藤淳子	ソフトボール	古畑俊男	トライアスロン
北原佳代	バレーボール	馬淵遥平	サッカー
小磯和成	サッカー	本橋玲子	テニス
小林靖子	バドミントン	森田真澄	バレーボール
三枝敏洋	サッカー	吉田路子	バスケットボール
鈴木直子	剣道	松尾京子	ソフトボール
田尻直子	テニス	安川元也	水泳
延本泰一	サッカー		

（任期：令和2年4月1日～令和4年3月31日）

## 3 スポーツ団体等の育成・支援

（公財）小金井市体育協会・NPO法人黄金井倶楽部（総合型地域スポーツクラブ平成18年4月発足）をはじめ、日常活動を行っている種々のスポーツ・レクリエーション団体や市民のグループが活動しやすいように連携し、支援していくとともに、指導者を養成し、市民のスポーツ・レクリエーションに対するニーズに対応していく体制を整え、その充実を図っている。

- （公財）小金井市体育協会及び加盟団体が実施するスポーツ・レクリエーション事業に対し、補助金等の支援をする。
- NPO法人黄金井倶楽部が実施するスポーツ・レクリエーション事業に対し、補助金等の支援をする。
- グループ化されていない愛好者に対して必要な助言をし、指導者派遣制度を設けて市民のニーズに対応する。

## 4 各種事業

市民が健康増進、体力づくりによって、明るく充実した日常生活が送れるよう各種スポーツ事業を実施している。

### (1) 市民体育祭 (昭和24年度～現在)

市民スポーツの振興及び体育の推進に資することを目的とし、年間を通じて実施している。



### (2) シニアスポーツフェスティバル (平成3年度～現在)

生涯スポーツの推進と中高年齢者の健康増進を図るため、満40歳以上の方を対象とし実施している。

### (3) 各種スポーツ教室

#### ① 市民スケート教室 (昭和40年度～現在)

スケート技術の習得と向上を図るとともに、市民スポーツの発展に寄与することを目的とし、年1回実施している。初心者には基礎から指導員が指導し、子どもから大人まで楽しめる教室となっている。

#### ② ジュニアサッカーフェスティバル (昭和40年度～現在)

5、6歳の幼児及び小学1、2年生とその保護者を対象に、高い指導力を有する指導体制を整え、サッカーを通じたスポーツに対する興味や夢を育むこと、また、心身の健やかな成長を目的とし、年1回実施している。親子を対象としているため、親子のふれあいの場ともなっている。

#### ③ 障害者(児)水泳教室 (昭和57年度～現在)

昭和56年「国際障害者年」を契機として開始した事業で、20歳未満の障害者(児)を対象としている。マンツーマン形式による指導で、水に親しみ水に慣れることから、泳げる楽しさと喜びを感じてもらい、25mの完泳を最終目標として実施している。



#### ④ 市民スキー教室 (平成元年度～現在)

市内での体験が難しい冬季スポーツであるスキーについて、競技の楽しさや自然環境の厳しさを感じながら、スキー競技の安全で正しい滑走の習得及び市民スポーツの発展を目的に実施している。

#### ⑤ 水泳教室 (平成元年度～現在)

楽しい水泳と年齢に応じた泳法を習得することを目的とし、中学生以上の市内在住・在勤・在学者を対象に10日間、市内在住・在学の小学生に対しては春休み・夏休み期間に10日間、合計20回の教室を実施している。



#### ⑥ 親子体操教室 (平成元年度～現在)

父母及び幼児を対象に実施している教室である。日常忙しい保護者の方には体を動かす機会の提供や親子のふれあいを深めることを、また、幼児には体を動かす楽しさを感じてもらうことを目的としている。

#### ⑦ 少年少女野球教室 (平成11年度～現在)

市内の小学生男女を対象に、野球を通して心身共に健やかに成長することを目的とし、年1回実施している。元プロ野球選手からの指導を受けることにより、スポーツに対する大きな夢を育むことにも繋がっている。

#### (4) レクリエーション活動

幅広い市民層が気軽に余暇活動や健康づくりのために参加できる事業を実施している。

##### ① スポーツフェスティバル（平成元年度～現在）

市民の健康を願い、楽しく元気に老若男女がスポーツ・レクリエーションに親しむ機会をつくり、あわせて市民間の交流を図ることを目的に、スポーツの日に開催した。平成30年度まで「市民スポーツレクリエーションの集い」とし開催していたが、令和元年度から「スポーツフェスティバル」に名称を変更して、規模も拡大し、ニュースポーツ等の体験等誰もが楽しむことができるイベントを目指している。令和元年度には、東京2020大会を契機とし、市内がコースの一部となる自転車競技（ロード）のバーチャル体験や車いすレーサー、ボッチャ、シッティングバレー等パラリンピック競技種目の体験ブースを設け、大会の機運醸成を図った。



自転車競技(ロード) バーチャル体験



ボッチャ体験



シッティングバレー体験

##### ② ボッチャ体験会（令和元年度～現在）

障がいの有無や年齢、性別等にかかわらず、同一ルールのもと競技を楽しむことができるボッチャ競技の体験会を開催し、競技の普及啓発並びに障がい者スポーツへの関心及び理解を促進することを目的とし、東京2020大会を契機に令和元年度から開始した事業である。多摩26市の対抗戦として開催される「東京都市町村ボッチャ大会」の予選会も兼ねている。



ボッチャ体験会（令和元年11月26日・総合体育館小体育室）



東京都市町村ボッチャ大会（令和2年2月26日・武蔵野市総合体育館）

##### ③ 水泳マラソン（平成3年度～現在）

総合体育館の温水プールを利用して、水泳愛好者の有効利用を図り、継続して興味をもって泳ぐことにより、体力維持と健康増進を目的に実施している。

対 象：小学校4年生以上の利用者（登録要）

内 容：毎回泳いだ距離を「参加記録証」に記録し、合計42.195kmを完泳することを目指す。

##### ④ 野川駅伝大会（平成16年度～現在）

児童・生徒等がタスキを繋ぐことにより、社会性を育み、自立心や感受性を醸成させると共に、各年齢層の交流と健康づくりに寄与することを目的とし、毎年1月に都立武蔵野公園で開催している。





⑤ 市制施行60周年事業（平成30年度）

60イニングティーボール大会、特別巡回ラジオ体操会・みんなの体操会及び小学生ドッジビー大会を実施した。



特別巡回ラジオ体操会・みんなの体操会

（平成30年10月7日・都立小金井公園（たてもの園前広場））



60イニングティーボール大会

（平成30年9月22日・上水公園運動施設グラウンド）



小学生ドッジビー大会

（平成31年1月26日・総合体育館大体育室）

(5) スポーツ開放

① スポーツ個人利用開放校（昭和44年度～現在）

市内小・中学校4校の体育館等において、指導員を配置し一般市民が気軽に参加できる事業を実施している。

実施種目等 ※開催日は、教育委員会が決定する。

種目	場所	開催日(※)	時間
卓球	緑小 体育館	日曜日	午後1時～午後4時
剣道	前原小 体育館	水曜日	午後6時～午後9時
バドミントン	本町小 体育館	日曜日	正午～午後3時
柔道	一中 柔剣道場	金曜日	午後7時～午後9時

② 南中学校中庭テニスコート夜間開放（昭和56年度～現在）

日中の施設利用が難しい社会人を対象に、夜間照明を備えた南中学校中庭テニスコート1面を夜間開放している。平成30年度及び令和元年度に、夜間照明のLED化を実施した。

③ 一中クラブハウス開放（平成元年度～現在）

市民の健康増進、スポーツ・レクリエーション等の場として、学校教育活動に支障がない範囲で市民開放している。卓球、体操等の実施可能な談話室及び各種武道に適した柔剣道場がある。

利用可能時間：9：00～12：00、12：00～15：00、19：00～21：00（事前の団体登録・利用申込要）



南中中庭テニスコート



一中クラブハウス（柔剣道場）

④ 土曜スポーツクラブ（平成16年度～現在）

土曜日の児童・生徒の居場所づくりの確保を図るとともに、スポーツに対する大きな夢を育み、心身ともに健やかに成長することを期するために、総合体育館大体育室の半面を利用し、ニュースポーツ、卓球、バドミントン等の指導を行っている。  
市内外問わず、小・中学生であればだれでも無料で参加することができる。

⑤ 民間体育施設開放（平成30年度～現在）

民間体育施設の協力のもと、その施設を市民の利用に供することでスポーツ振興を図ることを目的とし、平成30年12月から「学校法人田中育英会 総合学院テクノスカレッジ」の体育館を原則月2回市民開放し、バスケットボール、バドミントン、バレーボール等の競技で利用されている。

(6) 市代表選手派遣

スポーツ技術の向上と地域との交流を図るため、都民体育大会、市町村総合体育大会及び都民生涯スポーツ・スポレクふれあい大会に市代表選手を派遣している。

## 5 東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会に向けた取組

(1) 東京2020大会推進事業（平成28年度～現在）

東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会を見据え、大会への機運醸成を図るとともに、スポーツ人口の更なる拡大を目指し、各種競技体験イベント等による市民へのオリンピック・パラリンピックのPRとして、平成28年度から実施した事業である。令和2年3月に、新型コロナウイルス感染症の影響により大会が1年延期となったが、大会に向けた機運醸成は継続して取り組んでいく。

年度	事業名
28	リオ2016 出場選手報告会/パブリックビューイング他
29	車いすテニス普及啓発イベント・ パラパワーリフティング体験イベント
30	スポーツ科学の講演会・義足体験会 パラリンピック競技体験イベント 走り方教室
元	義足体験会・走り方教室 自転車競技（ロード）バーチャル体験・ パラリンピック競技体験 （スポーツフェスティバルで実施）



スポーツフェスティバル



義足体験会



走り方教室

(2) READY STEADY TOKYO 自転車競技（ロード）（令和元年7月21日）

小金井市内がコースの一部になっている自転車競技（ロード）について、大会1年前のテストイベントとして「READY STEADY TOKYO 自転車競技（ロード）」を開催した。市内コースの東八道路～小金井街道約1.8kmを各国の選手が駆け抜けた。当日は77人のコースサポーター（ボランティア）や近隣住民・沿道の事業者等多くの協力のもと大会を催行した。

1年延期となった東京2020大会であるが、令和3年7月14日（水）のオリンピック聖火リレー、7月24日（土）の自転車競技（ロード）男子、25日（日）女子への取組を中心に、大会の成功に向け準備を進めている。





東八道路・前原交番前交差点付近を走行する選手たち



コースサポーターの活動の様子

## 6 体育施設

### (1) 体育施設（屋外施設）

施設名		所在地	開設期間	規模	開場時間（貸出単位：2時間）
上水公園運動施設	グラウンド	小金井市桜町2-2-31	年間	多目的グラウンド2面（軟式野球・サッカーほか）	4月～9月 午前7時～午後7時
	テニスコート				10月～11月 午前7時～午後5時
			同上	2面（クレー）	12月～3月 午前9時～午後5時
小金井市テニスコート場		小平市上水南町3-12-32	同上	7面（全天候型）クラブハウス設置 ・管理室・更衣室・シャワー室 ・談話室・トイレ・休憩室2ヶ所	4月～9月 午前9時～午後7時 10月～3月 午前9時～午後5時

### (2) 総合体育館（屋内施設）

小金井市関野町一丁目13番1号 都立小金井公園内

階	施設名	主な利用種目・規模		面積
地下	大体育室	バレーボール 3面 バドミントン 8面	バスケットボール 2面 卓球 20台	1,352m <sup>2</sup> たて42m よこ32m 天井高2.5m
	小体育室	多目的室 各種ダンス 卓球 8台		367m <sup>2</sup> たて24m よこ15m 天井高6m
一階	柔道場	柔道・合気道等 98畳		267m <sup>2</sup>
	剣道場	剣道・空手道等 板張15m×15m		267m <sup>2</sup>
	幼児体育室			82m <sup>2</sup>
	喫茶コーナー	自動販売機 6台		67m <sup>2</sup>
一階	第一会議室			24人
	第二会議室	会議・研修等		24人
	第三会議室			24人
	ランニング走路	1周150m、幅2m 弾性塩化ビニール張		427m <sup>2</sup>
二階	温水プール	一般用水深120cm～150cm 日本水泳連盟公認 25m×14m 6コース		802m <sup>2</sup>
		幼児用水深40cm 水面積18m <sup>2</sup>		92m <sup>2</sup>
階	トレーニング室	ウェイトトレーニング、有酸素系マシン、エアロビクス等		218m <sup>2</sup>
	ホール	自動販売機 3台		118m <sup>2</sup>

### (3) 栗山公園健康運動センター（屋内施設）

小金井市中町二丁目21番1号

階	施設名	主な利用種目・規模	面積
地下2階	温水プール	一般用 水深1.2m 20m×8.5m 4コース ジャグジー 直径3mの円形型	466.5m <sup>2</sup>
地下1階	機能回復室	教室開催	50.9m <sup>2</sup>
1階	テニールーム	軽食・喫茶 30席	42.1m <sup>2</sup>
2階	グリーンフィットネスルーム	多目的室 各種ダンス 卓球 3台	193.9m <sup>2</sup>
4階	トレーニングルーム	各種トレーニングマシン、ストレッチマット	193.9m <sup>2</sup>

### (4) 使用料

施設名	使用区分	使用時間	使用料	
			小金井市民	小金井市民以外の方
小金井市 テニスコート 場		午前Ⅰ（9:00～11:00）	1,600円 （1面、2時間 につき）	2,400円 （1面、2時間 につき）
		午前Ⅱ（11:00～13:00）		
		午後Ⅰ（13:00～15:00）		
		午後Ⅱ（15:00～17:00）		
		午後Ⅲ（17:00～19:00）		

- 1 使用時間を超えた場合は、超過時間1時間（1時間に満たない場合は、これを1時間とする。）につき、使用を承認した使用区分に係る使用料の1時間相当額を徴収する。
- 2 使用者が入場料等（いずれの名義であるかを問わず、体育施設の入場者から徴収する入場の対価）を徴収する場合の使用料は、規定使用料の3倍の額とする。ただし、公共的団体が参加費を徴収して行う各種スポーツ大会等については、この限りではない。
- 3 使用時間には、準備及び原状回復の時間を含むものとする。

#### ・貸切使用料（総合体育館）

名称		使用区分	午前（9時～12時） 午後Ⅱ（15時～18時）	午後Ⅰ（12時～15時） 夜間（18時～21時）	全日（9時～21時）
大 体 育 室	全面使用		6,600円		26,400円
	3分の2使用		4,400円		17,600円
	2分の1使用		3,300円		13,200円
	3分の1使用		2,200円		8,800円
小 体 育 室 柔 道 場 剣 道 場	全面使用		1,800円		7,200円
	〃		1,700円		6,800円
	〃		1,700円		6,800円
会 議 室	3室使用		1,800円		7,200円
	2室使用		1,200円		4,800円
	1室使用		600円		2,400円
名称		使用区分	午前Ⅰ（9時～11時） 午後Ⅰ（13時～15時） 夜間Ⅰ（17時～19時）	午前Ⅱ（11時～13時） 午後Ⅱ（15時～17時） 夜間Ⅱ（19時～21時）	全日（9時～21時）
プー ル	全面使用		14,800円		88,800円
	2分の1使用		7,400円		44,400円
	3分の1使用		4,930円		29,600円
	6分の1使用		2,460円		14,800円

・貸切使用料（栗山公園健康運動センター）

名称		使用区分	午前Ⅰ（9時～11時）	午前Ⅱ（11時～13時）	全日（9時～21時）
			午後Ⅰ（13時～15時）	午後Ⅱ（15時～17時）	
グリーンフィットネスルーム	全面使用		1,200円		7,200円
温水プール	4コース		10,000円		60,000円

・個人使用料（栗山公園健康運動センター）

名称		使用区分	こども（中学生以下）	大人
グリーンフィットネスルーム			2時間 100円 1時間 50円	2時間 400円 1時間 200円
温水プール			2時間 100円 1時間 50円	
トレーニングルーム				

※60歳以上・障害者及びその介護者が使用するときは、100分50減額。ただし、個人使用に限ります。

- 1 使用時間を超えた場合は、超過時間1時間（1時間に満たない場合は、これを1時間とする。）につき、使用を承認した使用区分に係る使用料の1時間相当額を徴収する。
- 2 プールの2分の1又は4分の1を使用するときの使用料は、それぞれ2分の1又は4分の1とする。
- 3 貸切使用で、市内在住の通勤者以外の方が過半数を占めるときの使用料は100分の150の額とする。
- 4 使用者が入場料等（いずれの名義であるかを問わず、体育施設の入場者から徴収する入場の対価）を徴収する場合の使用料は、規定使用料の3倍の額とする。ただし、公共団体が参加費を徴収して行う各種スポーツ大会等については、この限りではない。
- 5 使用時間には、準備及び現状回復の時間を含むものとする。



総合体育館 大体育室



栗山公園健康運動センター トレーニングルーム



上水公園運動施設 グラウンド



小金井市テニスコート場

(5) 利用状況

① 屋外施設

(単位：件、人)

年度	グラウンド		テニスコートA		テニスコートB		合計		市テニスコート場		一中テニスコート	
	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数	件数	人数
27	2,110	38,066	1,202	5,099	1,054	3,896	4,366	47,061	7,566	42,238	184	1,284
28	2,112	35,730	1,141	5,127	1,065	4,185	4,318	45,042	7,968	46,364	194	1,235
29	2,086	35,863	1,205	5,124	1,119	4,131	4,410	45,118	7,815	45,756	220	1,362
30	2,153	37,417	1,192	4,958	1,085	3,989	4,430	46,364	7,796	44,234	251	1,432
元	1,994	32,556	1,051	4,444	952	3,520	3,997	40,520	7,714	43,838	294	1,554

※ 令和元年度は、一中テニスコートは3月2日、その他屋外施設は3月27日以降、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、利用中止

② 総合体育館

(単位：人)

年度	区分	大体育館	小体育館	柔道場	剣道場	ランニング	トレーニング室	プール	会議室	幼児体育館	計
27	個人	17,495	5,326	328	680	840	43,686	76,041	5,955	7,981	158,332
	貸切	34,259	23,457	23,591	17,257	—	—	45,788	10,287	974	155,613
	計	51,754	28,783	23,919	17,937	840	43,686	121,829	16,242	8,955	313,945
28	個人	19,060	6,808	306	768	847	48,204	80,719	5,442	7,022	163,734
	貸切	37,928	23,123	21,760	16,938	—	—	48,863	9,253	763	164,070
	計	56,988	29,931	22,066	17,706	847	48,204	129,582	14,695	7,785	327,804
29	個人	18,680	8,389	484	698	660	51,607	76,287	4,781	6,616	163,421
	貸切	38,384	21,692	19,599	15,745	—	—	49,243	8,841	23	158,308
	計	57,064	30,081	20,083	16,443	660	51,607	125,530	13,622	6,639	321,729
30	個人	18,615	9,422	387	882	750	51,581	76,007	52	6,614	175,698
	貸切	41,310	21,506	17,563	14,122	—	—	52,257	11,440	—	146,810
	計	59,925	30,928	17,950	15,004	750	51,581	128,264	11,492	6,614	322,508
元	個人	9,518	5,859	316	598	327	42,290	66,713	—	5,081	130,702
	貸切	25,241	18,926	13,670	11,156	—	—	46,281	8,843	—	124,117
	計	34,759	24,785	13,986	11,754	327	42,290	112,994	8,843	5,081	254,819

※ 令和元年度は、11月から3月まで、大体育室空調設置工事、トイレ改修等により全館休館等実施及び3月6日以降新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、利用中止

③ 栗山公園健康運動センター

(単位：人)

年度	プール	トレーニングルーム	フィットネスルーム	機能回復室	計
27	56,714	29,771	20,502	9,222	116,209
28	59,236	32,330	20,346	8,062	119,974
29	57,928	32,002	20,750	7,428	118,108
30	60,885	32,994	20,815	7,226	121,920
元	57,204	29,954	18,628	6,563	112,349

※ 令和元年度は、3月6日以降新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、利用中止

## 8 市立清里山荘

### 1 清里山荘のあゆみ

清里山荘は、市立小・中学校の児童・生徒の林間学校とあわせて市民の利用に供するため、八ヶ岳林間教育施設として昭和38年7月に開設されました。以来、多くの児童・生徒や市民の皆さんに親しまれ利用されてきましたが、建物が老朽化したため、また、施設の性格も従来の林間教育施設としての機能のほか青少年の宿泊研修施設、一般市民の保養に利用できる施設として平成元年6月に建て替え工事が進められ、平成3年5月3日に清里少年自然の家として装いも新たにオープンしました。

清里山荘からは八ヶ岳をはじめ富士山、奥秩父、南アルプス連峰が一望のもとに見渡せ、また、周辺には美し森や飯盛山などのハイキングコースや高原を巡るサイクリングロード、テニスコート、スキー場等のスポーツ施設や美術館等の文化施設も整備されており、山荘は四季を通じて利用できる施設です。

また、少年自然の家として、自然体験を通じて創造性豊かな青少年を育成することを目的とし、自然体験教室、天体教室など独自の事業を行っています。

山荘内には、体育館、研修室、天体観測室やバーベキュー小屋、多目的広場を設け、種々の活動ができるよう整備を図っています。



### 2 施設の概要

#### 〈名称・所在地〉

名称 「小金井市立清里山荘」

所在地 山梨県北杜市高根町清里字念場原3545-1

電話 (0551) 48-4649

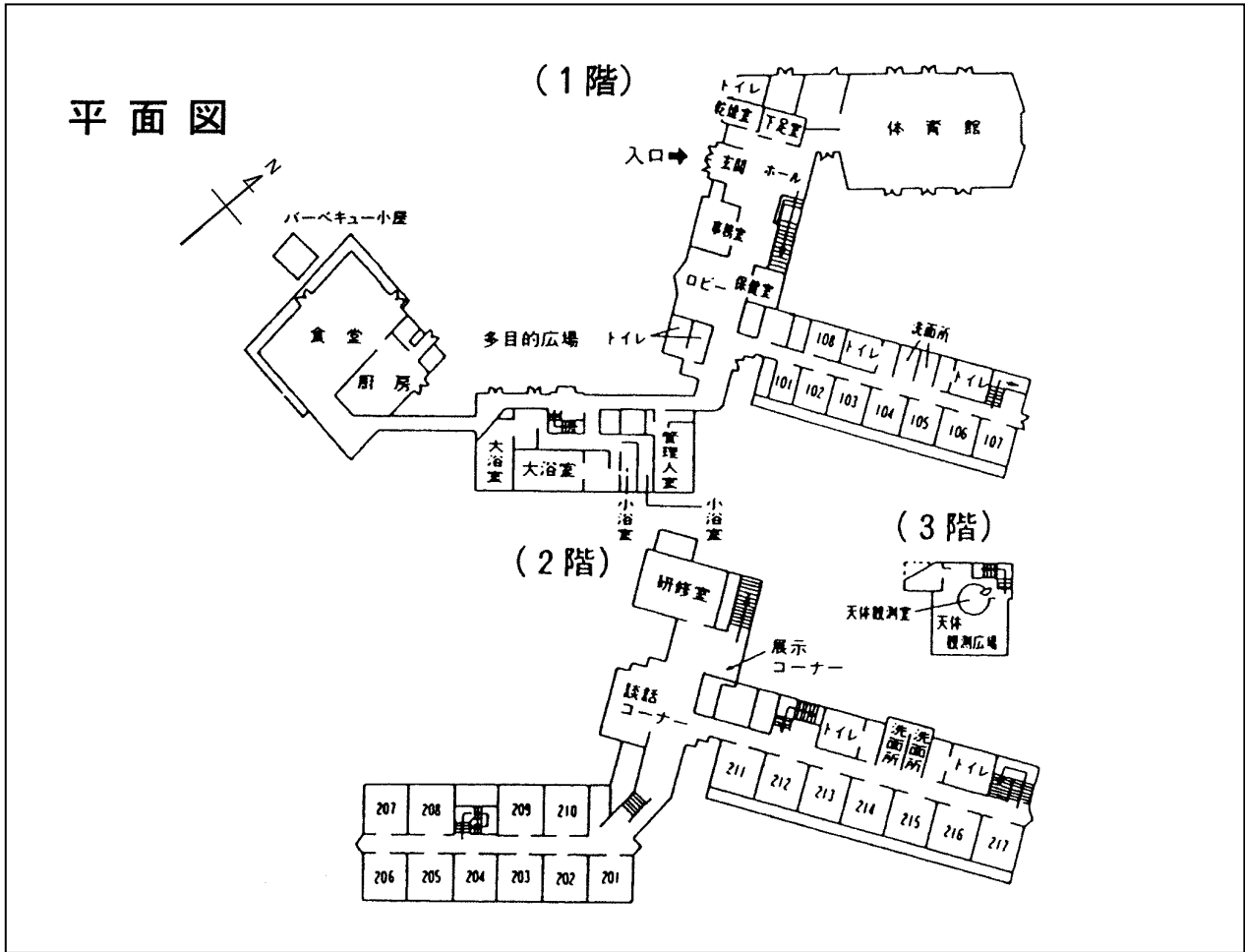
〈敷地面積〉 22,978m<sup>2</sup>

〈延床面積〉 3,810.70m<sup>2</sup> (附属施設を含む)

〈構造〉 鉄筋コンクリート造り、地上2階  
(一部3階)、地下1階

階	主な施設名	主な機能・内容
1階	客室	6室：15畳（2室30畳として利用可能） 1室：12畳 1室：身障者用（洋室・2人用）
	食堂	収容人員200人
	浴室	大浴室2（男女各1） 小浴室2（男女各1）
	体育館	バレーボール1面、バドミントン2面、 バスケットボール1面、卓球台10台
	乾燥室	スキー・スケート用具収納可能
	洗濯室	洗濯機3台（内乾燥機付1台）
2階	客室	10室：12畳（トイレ） 6室：15畳（2室30畳として利用可能） 1室：12畳
	研修室	収容人員40人：会議、講習会、研修会、 16mm映写機、スライド映写機、スクリーン、 ビデオデッキ、レクチャーアンプ 他
3階	天体望遠鏡	28cm大型反射望遠鏡、小型天体望遠鏡7台、 天体観測広場
その他		バーベキュー小屋、多目的広場、駐車場(20台)

〈内容〉



### 3 利用状況

単位：人

年度	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
27	246	725	177	1,763	2,644	823	597	230	273	281	186	365	8,310
28	312	658	149	1,392	2,008	405	534	155	260	321	241	393	6,828
29	190	747	134	1,577	1,972	472	374	224	247	315	267	329	6,848
30	326	851	223	1,441	1,802	568	504	168	254	313	248	322	7,020
元	387	881	248	1,182	2,237	475	514	299	250	261	297	152	7,183

(市内利用者数)

単位：人

年度	内訳	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	合計
27		373	3,194	425	49	2,365	6,436
28		351	2,263	426	36	2,215	5,291
29		344	2,309	316	43	2,065	5,077
30		351	2,245	320	29	2,171	5,116
元		432	2,478	320	38	2,327	5,595

(市外利用者数)

単位：人

年度	内訳	幼児	小学生	中学生	高校生	一般	合計
27		105	407	67	195	1,100	1,874
28		97	447	84	88	821	1,537
29		109	337	326	216	783	1,771
30		135	383	46	252	1,088	1,904
元		133	257	107	117	974	1,588

## 4 主催事業

### (1) 自然体験教室

清里の自然の中で動植物のふれあいを通して、豊かな感受性を養い、自然の大切さを学ぶ体験教室。対象は小学校3年から中学3年生。夏季と冬季に実施。

年度	会場	実施期間	内 容	参加者数
30	市立清里山荘	8/25(土)～26(日)	自然観察・トレッキング、キャンプファイアー、雪の中での雪像作り、動物の足跡探検など	34人
		2/2(土)～3(日)		27人
元	市立清里山荘	7/6(土)～7(日)		36人
		2/1(土)～2(日)		35人

### (2) 天体教室

天体の基礎的な講義と実際に天体望遠鏡による観察を行うことにより、自然への理解を深め、あわせて山荘の利用者促進を図る。対象は清里山荘宿泊者。毎月第3土曜日。(林間学校期間を除く)

年度	会場	実施回数	内 容	参加者数
30	清里山荘 天体観測室	9回	天体観測のお話、天体望遠鏡による星座の観察	183人
元	清里山荘 天体観測室	5回		95人

### (3) ふれあい体験教室等

山荘利用者サービス事業として、親子が共同で工作を行うことで親子の対話を深め、山荘の付近にある木の実などを使った工作の楽しみ、地元の食文化等も学んでもらう。対象は、山荘宿泊者。(林間学校期間を除く)

年度	会場	参加者数	内 容
30	清里山荘 近隣施設	311人	農業体験(種蒔き・収穫など)、ゴルフ大会、月見団子作り、りんご狩り、クリスマスコンサート、正月しめ縄作り、新春凧あげ大会、繭玉作り、よもぎまんじゅう作り
元	清里山荘 近隣施設	347人	農業体験(収穫など)、魚釣り体験、りんご狩り、押し花作り、ゴルフ大会、クリスマスコンサート、正月しめ縄作り、繭取り、よもぎ団子作り

### (4) バסטツアー

バストツアーを開催し、自家用車での利用が難しい方々に清里山荘を利用して頂き、平日の利用促進を図る。

年度	会場	実施回数	内 容	参加者数
元	清里山荘	1回	平日に小金井市内発着のバストツアーの開催。	19人

## 9 図書館

本市の図書館活動は、昭和28年4月公民館の開設に伴い、公民館の図書室として始まった。昭和39年8月に市立図書館として、第一小学校の校舎を借り開館した。昭和50年10月現在の本館を建設した。昭和61年7月夜間開館を実施し、昭和62年7月には、図書館に電算システムを導入。昭和63年10月東分室を開設した。

平成元年6月に図書館協議会が発足した。平成3年10月緑分室を開設した。

また、平成6年7月武蔵野市、三鷹市、田無市、保谷市、小金井市の5市で図書館相互利用を開始した。(その後田無市と保谷市が合併し、西東京市となったので現在は4市)平成14年4月から本館において祝日開館を実施した。

平成17年5月に昭島市と共同開発した電算システムが稼働した。このシステムは図書館の開館日・開館時間に制限されることなく、24時間365日インターネット・モバイル端末・携帯電話から蔵書の検索、予約等ができる。

平成21年10月には府中市と図書館相互利用を開始した。

平成26年4月、貫井北分室を開設した。

### 第16期 図書館協議会委員 (定数10人)

氏名	選出団体
森川 覚	市立小中学校長会
○鴨下 万亀子	社会教育関係団体代表
諏訪 啓二郎	社会教育委員
大久保 智絵	家庭教育の向上に資する活動を行う者
吉田 和夫	学識経験者
林 聖子	学識経験者
◎大串 夏身	学識経験者
坂野 勝一	公募市民
大塚 奈奈絵	公募市民
小木曾 美弥子	公募市民

任期 令和元年11月1日～令和3年10月31日

◎会長 ○職務代理

## 1 利用方法

開かれた図書館として、誰でも利用でき、利用カードの交付を受ければ、本の貸出し冊数の制限もなく、貸出期間も3週間と長く借りられる。なお、CDについては、1人5点まで2週間である。

## 2 施設

名称	住所	開館時間及び休館日
本館	本町1-1-32	開館時間：午前10時～午後5時 ただし、平日の水・木・金曜日は午後8時まで(1階のみ) 休館日：月曜日・第1金曜日・年末年始
別館		開館時間：午前10時～午後5時 ただし、毎週火・水・木曜日は団体利用、毎週金・土・日曜日・祝日は個人利用 休館日：本館休館日
東分室	東町1-39-1 (東センター内)	開館時間：午前9時～午後7時 休館日：第1・第3火曜日・年末年始
緑分室	緑町3-3-23 (緑センター内)	開館時間：午前10時～午後5時 休館日：火曜日・第1金曜日・祝日・年末年始
貫井北分室	貫井北町1-11-12 (貫井北センター内)	開館時間：午前9時～午後7時 休館日：第1・第3火曜日・年末年始
西之台会館 図書室	前原町3-8-1 (西之台会館内)	開館時間：午前10時～午後5時 休館日：第2・第4水曜日・祝日・西之台会館休館日



### 3 蔵書統計表（館別・分類）

令和2年3月31日現在

（単位：冊）

館別	分類	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	絵本	合計
		総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術・工学	産業	芸術・美術	言語	文学		
本館	一般	10,256	7,920	20,113	34,051	11,445	12,577	4,935	15,922	3,468	75,393		196,080
	児童	973	652	4,026	3,244	7,047	1,894	1,227	4,006	895	32,147	37,668	93,779
	計	11,229	8,572	24,139	37,295	18,492	14,471	6,162	19,928	4,363	107,540	37,668	289,859
東分室	一般	604	1,154	3,189	3,857	2,731	3,183	835	2,834	773	13,160		32,320
	児童	187	137	467	706	1,216	374	220	802	193	6,301	9,277	19,880
	計	791	1,291	3,656	4,563	3,947	3,557	1,055	3,636	966	19,461	9,277	52,200
緑分室	一般	640	1,519	4,413	5,677	2,768	3,432	1,103	3,409	612	13,161		36,734
	児童	190	153	705	739	1,509	425	314	897	183	7,780	9,285	22,180
	計	830	1,672	5,118	6,416	4,277	3,857	1,417	4,306	795	20,941	9,285	58,914
貫井北分室	一般	794	1,487	4,102	7,124	4,054	5,393	1,479	3,998	748	19,126		48,305
	児童	211	199	738	1,068	1,571	603	420	823	228	8,137	9,883	23,881
	計	1,005	1,686	4,840	8,192	5,625	5,996	1,899	4,821	976	27,263	9,883	72,186
西之台会館図書室	一般	32	238	398	408	400	1,258	130	325	56	3,640		6,885
	児童	18	41	135	153	369	129	92	201	30	2,398	3,072	6,638
	計	50	279	533	561	769	1,387	222	526	86	6,038	3,072	13,523
合計	一般	12,326	12,318	32,215	51,117	21,398	25,843	8,482	26,488	5,657	124,480		320,324
	児童	1,579	1,182	6,071	5,910	11,712	3,425	2,273	6,729	1,529	56,763	69,185	166,358
	計	13,905	13,500	38,286	57,027	33,110	29,268	10,755	33,217	7,186	181,243	69,185	486,682

その他の資料（令和2年3月31日現在）

・ハンディキャップ資料

- (1) 点訳図書 174 タイトル
- (2) 録音テープ 243 タイトル 1,251 巻
- (3) デイジー 64 タイトル

・CD 合計16,589 枚

- 本館5,175 枚
- 東分室5,335 枚
- 緑分室4,028 枚
- 貫井北分室2,051 枚

## 4 利用状況

令和2年3月31日現在

項 目		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
人口（1月1日現在）	人 A	117,978	119,359	120,268	121,443	122,306
蔵書冊数（3月31日現在）	冊 B	443,345	451,616	464,619	473,700	486,682
内 訳	一般書	291,052	296,371	307,291	312,798	320,324
	児童書	152,293	155,245	157,328	160,902	166,358
登録者数（3月31日現在）	人 C	73,301	37,915	39,204	38,687	38,161
年間貸出冊数	冊 D	941,853	956,422	908,074	962,557	917,440
図書購入決算額	円	44,132,086	43,841,000	43,858,728	43,582,765	49,944,971
図書購入冊数	冊	23,160	23,788	24,531	23,449	25,097
登録率	% (C/A)	62.1	31.8	32.6	31.9	31.2
貸出密度	(D/A)	8.0	8.0	7.6	7.9	7.5
実質貸出密度	(D/C)	12.8	25.2	23.2	24.9	24.0
市民一人当たり蔵書数	(B/A) 冊	3.8	3.8	3.9	3.9	4.0

## 5 各種事業

### (1) ハンディキャップ・サービス

図書館を利用するに当たって障がいのある方を対象に行っているサービス。主に、視覚障がい者を対象に「対面朗読」「録音図書（カセットテープとデジター）」「点訳図書」の提供をしている。また、これらのサービスを利用するために図書館に来館できない方に、郵送や宅配サービスも行っている。

なお、協力していただくボランティアの育成事業として、点字講習会、音訳講習会を1年おきに開催している。

### (2) レファレンス・サービス

多種多様な情報があふれている現代において、個人がその中から必要な情報を引き出すには、困難な状況にある。図書館の資料と機能を活用し、利用者から寄せられる質問や相談に対して、その解決のための援助や資料の紹介をしていくため、職員によるレファレンス・サービスを行っている。また、地域行政資料の収集にも努めている。

### (3) 児童サービス

#### ① 小金井市子ども読書活動推進計画

すべての子どもが読書に親しめる読書環境の整備のため、平成16年度に「小金井市子ども読書活動推進計画」を策定、平成21年度に「第2次小金井市子ども読書活動推進計画」を策定、平成27年度に「第3次小金井市子ども読書活動推進計画」を策定し、地域・学校及び関係各課と連携し、促進に努めている。

#### ② おはなし会

子どもたちに本や物語の世界に親しんでもらい、図書館へ来館する習慣づけとなるように、子どもと本をつなげるおはなし会を各館で実施している。本館では3歳以上の子どもを対象に毎週水曜日、0歳～2歳及びその保護者を対象としたおはなし会を不定期で火曜日に、緑分室では月1回土曜日に、東分室では赤ちゃんのためのおはなし会及び幼児のためのおはなし会を不定期に、貫井北分室では毎月3回土曜日に実施している。

年 度	平成30年度	令和元年度
回 数	112回	99回
参加者数	1,493人	1,581人

本館、東分室、貫井北分室では、集大成として、12月におたのしみ会を行っている。

(4) 団体貸出

市内の小学校、保育園、地域団体やボランティア団体等にまとめて一定期間の貸出しを行っている。

年 度	平成30年度	令和元年度
団 体 数	197団体	182団体
貸出冊数	29,048冊	28,499冊

(5) ヤング・アダルト・サービス (YA)

読書離れが進んでいるといわれる中高生を対象として、身近な関心事から読書の楽しみへと広げられるよう資料などを通して手助けするサービスである。図書・雑誌等魅力ある資料をYAコーナーに収集し提供する。

(6) 図書館主催事業

主催事業として講演会等を行い、図書館と資料の利用を促進する事業を行っている。  
児童サービスの一環として読み聞かせ等に関する講座も行っている。

(7) リクエスト・サービス

求められた資料が貸出中の場合や、未所蔵の場合はリクエストを受けている。未所蔵のものについては関係機関、類縁機関等からの借用又は、選書会議を経て購入する等の方法で、出来る限り、利用者に資料を提供できるよう努めている。

年 度	平成30年度	令和元年度
リクエスト数	199,196件	208,439件

(8) 他市との連携

武蔵野市、三鷹市、西東京市、府中市と協定を結び図書等の相互利用を行っている。今後も近隣の市と相互利用できるように努める。

(9) 大学図書館との提携

専門分野の研究等のために本の閲覧ができる。貸出しについては東京経済大学及び東京農工大学が利用できる。

年 度	平成30年度	令和元年度
利用件数	222件	211件

(10) 施設の提供

本館別館を市内の社会教育活動に関係する団体は(火・水・木曜日)を無料で利用できる。一般利用は(金・土・日曜日・祝日)を無料で利用できる。

(11) コピー・サービス

図書館利用者のために、著作権法の範囲内で図書館資料の複写サービスを行っている。

(12) テーマ本の展示

季節や話題になっている事象について展示を行っている。

(13) 講演会

年 度	平成 30 年度	令和元年度
テ ー マ	落語の世界へようこそ	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止
開 催 日	平成 31 年 3 月 17 日	
講 師	立川 談修氏 (落語家) 鏡味 仙成氏 (太神楽師)	
参加者数	45 人	

平成 30 年度は、市民交流センターとの連携事業

(14) 利用者用インターネット閲覧サービス

本館と貫井北分室において、利用者用インターネット閲覧サービスを行っている。また、国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを実施しており、本館のみ複写サービスを実施している。

年 度	平成30年度	令和元年度
本 館	197回	197回
貫井北分室		117回

貫井北分室は令和元年7月5日よりサービス提供開始

## 6 図書館活動の充実

- ① 「いつでも」、「どこでも」、「だれでも」、「なんでも」利用できる図書館運営に努める。
- ② 多様化、高度化する市民要望に応えるため、図書資料の充実に努めるとともに、インターネット環境の整備や電子資料の活用を検討し、保存方法についても検討していく。
- ③ 子供の読書活動推進のため、読書環境の整備に努める。

# 10 公民館

## 1 施設の概要

### (1) 公民館本館（旧本町分館）

所在地 小金井市本町2-15-11

施設内容

部屋別	面積	定員
学習室A	46.3 m <sup>2</sup>	20人
学習室B	79.0 m <sup>2</sup>	40人
集会室	62.0 m <sup>2</sup>	30人

### (3) 公民館東分館

所在地 小金井市東町1-39-1

施設内容

部屋別	面積	定員
学習室A	57.7 m <sup>2</sup>	30人
学習室B	55.8 m <sup>2</sup>	30人
家事実習室	69.9 m <sup>2</sup>	30人
生活室	55.8 m <sup>2</sup>	20人
視聴覚室	51.2 m <sup>2</sup>	20人

### (5) 公民館貫井北分館

所在地 小金井市貫井北町1-11-12

施設内容

部屋別	面積	定員
学習室A	52.2 m <sup>2</sup>	30人
学習室B	42.9 m <sup>2</sup>	27人
学習室C	27.0 m <sup>2</sup>	8人
学習室D	38.2 m <sup>2</sup>	15人
生活室A	33.1 m <sup>2</sup>	8人
生活室B	41.9 m <sup>2</sup>	16人
ITルームA	18.5 m <sup>2</sup>	8人
ITルームB	18.7 m <sup>2</sup>	8人
創作室	55.8 m <sup>2</sup>	24人
北町ホール	110.1 m <sup>2</sup>	70人
スタジオ	20.3 m <sup>2</sup>	5人

### (2) 公民館貫井南分館

所在地 小金井市貫井南町4-3-23

施設内容

部屋別	面積	定員
学習室A	85.5 m <sup>2</sup>	35人
学習室B	80.9 m <sup>2</sup>	35人
学習室C	56.0 m <sup>2</sup>	30人
視聴覚室	55.5 m <sup>2</sup>	20人
集会室A	89.9 m <sup>2</sup>	30人
集会室B		25人

### (4) 公民館緑分館

所在地 小金井市緑町3-3-23

施設内容

部屋別	面積	定員
学習室A	168.3 m <sup>2</sup>	25人
学習室B		20人
学習室C		25人
家事実習室	73.1 m <sup>2</sup>	50人
生活室	29.9 m <sup>2</sup>	15人
レクリエーション室	144.0 m <sup>2</sup>	110人
研修室A	70.3 m <sup>2</sup>	20人
研修室B		10人
研修室C		10人
視聴覚室	96.3 m <sup>2</sup>	45人
集会室A	70.3 m <sup>2</sup>	25人
集会室B		25人

## 2 公民館運営審議会

公民館運営審議会は、館長の諮問に応じ、公民館運営上の諸課題について答申すると共に、公民館における各種事業の企画実施につき、調査審議するものである。

審議会は市立小中学校校長（1人）、教育・学術・文化・産業・社会事業等に関する団体又は機関の代表（5人）、学識経験者（1人）及び公募市民（3人）の10人で構成されている。

委員の委嘱は教育委員会が行う。

委員の任期は2年（公職等により委嘱された委員はその任期）で、運営審議会委員長及び副委員長は互選により定められる。

### 第35期小金井市公民館運営審議会委員

氏名	所属・団体
浅野正道	学校の長
國分ひろみ	教育・学術・文化団体
菅沼七三雄	教育・学術・文化団体
渡邊恭秀	産業団体
雨宮安雄	社会事業団体
増山麻実	家庭教育の向上に資する活動を行う者
新井浩子	学識経験者
嵯峨山康夫	市民
杉山恭子	市民
畠山重信	市民

任 期 令和3年9月8日まで。ただし、令和2年3月31日現在の委員である。

## 3 公民館企画実行委員

公民館企画実行委員は、館の行う各種事業の専門的な事項を調査研究し、企画実施にあたるもので成人教育、文化活動部門を設けている本市独自の制度である。

委員任期は2年で、公募（各種団体の推薦を含む）により教育委員会が委嘱している。

公民館本館企画実行委員	
氏名	推薦団体等
生馬一枝	立候補
荻込美津代	立候補
岸川公一	立候補
照井耕之助	立候補
藤原美知江	立候補
宗像高子	立候補

公民館緑分館企画実行委員	
氏名	推薦団体等
東弥司良	立候補
大島建雄	立候補
大野雅弘	立候補
杉井亜紀子	立候補
横須賀裕	立候補
長坂義明	立候補

公民館貫井南分館企画実行委員	
氏名	推薦団体等
阿部光子	立候補
今村誠	立候補
大野芳輝	立候補
金ヶ江博紀	立候補
川原美紀	立候補
高橋陽子	立候補

公民館貫井北分館企画実行委員	
氏名	推薦団体等
閑野寿幸	立候補
原賢一	立候補
福田久治	立候補
河野君枝	立候補
中谷栄子	立候補

公民館東分館企画実行委員	
氏名	推薦団体等
稲垣芳樹	立候補
柏倉明	立候補
熊野賢三郎	立候補
橋爪文彦	立候補
若井隆司	立候補
矢部響子	立候補

任 期 令和2年7月20日まで。ただし、令和2年3月31日現在の委員である。

## 4 各種事業

### (1) 少年教育事業

#### 子ども体験講座 緑分館

学校週5日制に対応して、子ども又は親子を対象に、親子のふれあいや体験を通じた豊かな人間性の育成を目的として平成15年から実施している。

年度	回数	内 容	延参加人数
平成30	1回	野川のいきもの観察	20人
	1回	ロボットと触れ合いませんか！	65人
	1回	プロマジシャンが教える親子で楽しむマジック教室	39人
	1回	自然の素材を使ったクリスマスリースを作いませんか？	22人

年度	回数	内 容	延参加人数
令和元	1回	野川のいきもの観察	17人
	1回	浴恩館公園のいきもの観察	30人
	1回	昔の遊びを体験しよう～ぶんぶんごま～	17人
	1回	自然の素材でつくる！クリスマスリース作り	23人

#### ① ひがし子ども囲碁教室 東分館

市内の小学生を対象に、囲碁を通してルールやマナーの大切さを学び、併せて地域の大人との関わりを体験してもらうことを目的として平成22年から実施している。

年度	回数	内 容	延参加人数
平成30	47回	ひがし子ども囲碁教室	755人
令和元	42回	ひがし子ども囲碁教室	851人



写真；ひがし子ども囲碁教室の様子

### (2) 青年教育事業

#### ① 青年学級「みんなの会」 本館

知的障がいのある成人を対象に、地域の仲間づくりを通じた社会人としての自覚の向上、社会生活に必要な知識や技術の取得、レクリエーションを通じた楽しい経験を積むこと等を目的として昭和50年から実施している。

年度	回数	内 容	延参加人数
平成30	25回	開級式、阿波踊り体験、お菓子作り、ダンス、サマーキャンプ、美術、書道、スポーツ大会、社会見学、修学旅行など	763人
令和元	22回		671人

#### ② 国際交流事業・国際交流イベント

国際化に対応し、外国文化や外国人に対する理解を深め、在住外国人には日本文化を知ってもらうため、また両者の交流を深めることを目的として平成9年から実施している。

#### 緑分館

年度	回数	内 容	延参加人数
平成30	2回	世界の紡績工場！バングデシュ	41人
平成30	2回	癒しの国ラオス	28人

年度	回数	内 容	延参加人数
令和元	4回	不思議の国ネパール	80人

### ③ 生活日本語教室 緑分館

生活日本語教室は、地域の外国人を対象に、言葉の障壁から生活に孤立することなく、また日本の文化や習慣に溶け込んで心豊かな毎日を送る一助として平成9年から実施している。また、その支援にあたるボランティアスタッフの資質向上のため、日本語教育の技術的な面や諸外国の生活文化についてのスタッフ研修も実施している。

外国人が、生活に必要な日本語の基礎知識を勉強する講座で、レベル別に少人数のグループに分かれ20余名のスタッフが支援している。教室では、2015年から日頃の勉強の成果を発表会で発表し、季節毎の教室独自のイベント企画やバス旅行もあり、楽しく勉強している。毎週土曜日午前10時30分～12時（ただし行事、祝日の場合は休み）

年度	回数	内 容	延参加人数
平成30	45回	日常生活に必要な日本語の支援、年中行事などを通じた各種イベント	1,544人
令和元	39回		1,242人

#### 生活日本語教室ボランティアスタッフ養成講座

年度	回数	内 容	延参加人数
平成30	5	日本語ボランティアが求められていること 他4講座	107人
令和元	5	日本語能力試験の勉強法 他4講座	119人

講 師 志賀 玲子さん

（東京経済大学教授）、他4名

### ④ 若者コーナー 貫井北分館

若者による自主講座や、若者自ら企画する進路就活講座、料理教室や華道・茶道などを通じた世代交流講座、それらを企画・実施するためのチームづくりや居場所づくりの講座を平成26年から実施している

平成30年度

令和元年度

事業名	回数	延参加人数	担当館
若者コーナーの運営と活用 はじめてのマンガ・イラスト講座	1回	15人	貫井北分館
若者コーナーの運営と活用 知っているとならぬ毎日が楽になる心理学 ～心のプロと一緒に考える～	1回	10人	貫井北分館
若者による自主講座 はじめての家具職人2 ～切る、組む、磨く～	1回	17人	貫井北分館
若者による自主講座 色が変わる！マジカルパンケーキ	1回	16人	貫井北分館

事業名	回数	延参加人数	担当館
進路就活講座 新しい農ライフ 都市農業のすすめ	1回	13人	貫井北分館
世代間交流の推進 きたまち“和”体験 はじめての茶道・華道	2回	16人	貫井北分館
世代間交流の推進 サマー・ロビー・コンサート	1回	約30人	貫井北分館
世代間交流の推進 きたまちキッチンパティシエのお菓子教室	2回	32人	貫井北分館



若者による自主講座 つくって！はじめてのラテ アート	1回	11人	貫井北分館
若者による自主講座 農工大落研が教える落語体 験会	1回	16人	貫井北分館
若者による自主講座 都市の中の自然を写真に収 める ～身近な自然を切り取る一 枚を撮ろう～	1回	7人	貫井北分館
若者による自主講座 親子で作る野菜の蒸しケー キ ～小金井野菜をもっとおい しく食べよう～	1回	22人	貫井北分館
世代間交流の推進 きたまち“和”体験 はじめ ての茶道・華道	2回	35人	貫井北分館
世代間交流の推進 きたまちキッチン 親子料 理教室	2回	29人	貫井北分館
世代間交流の推進 きたま ちキッチン パティシエのお菓子教室	2回	33人	貫井北分館
世代間交流の推進 サマー・ロビー・コンサート	1回	約30人	貫井北分館
世代間交流の推進 スプリング・ロビー・コンサ ート	1回	約30人	貫井北分館
進路就活講座 入門！ライフ・リテラシーゲ ーム	1回	7人	貫井北分館
きたまちYAサポーター・ きたまちYAひろば	6回	31人	貫井北分館
環境づくり 文化祭・学園祭 ポスター掲示	/	/	貫井北分館
環境づくり しるべお守り	/	/	貫井北分館

世代間交流の推進 親子料 理教室 ～冬野菜をつかったクリス マスプレート～	2回	34人	貫井北分館
世代間交流の推進 スプリング・ロビー・コンサ ート	1回	約40人	貫井北分館
若者コーナーの運営と活用 はじめてのマンガイラスト 講座	1回	16人	貫井北分館
若者コーナーの運営と活用 こがねいの若者の森と居場 所づくり	2回	18人	貫井北分館
若者による自主講座 気象予報士・防災士 平井信行さんのわくわく授 業	1回	50人	貫井北分館
若者による自主講座 はじめての家具職人3 ～切る、組む、磨く～	1回	14人	貫井北分館
若者による自主講座 法政大学小金井将棋部が教 える将棋体験教室	1回	16人	貫井北分館
若者による自主講座 農工大落研が教える落語体 験会	1回	11人	貫井北分館
公民館貫井北分館・図書館 貫井北分館連携事業 若者による自主講座 哲学対話～じっくりテツガ クする時間～	1回	13人	貫井北分館
環境づくり 文化祭・学園 祭ポスター掲示	/	/	貫井北分館
環境づくり しるべお守 り・きたまちだるま	/	/	貫井北分館

(3) 成人教育事業

① 高齢者学級

高齢化社会を迎え、高齢者が様々なテーマの学習や体験活動により相互に親睦と交流を深め、地域の仲間づくりを通して生きがいある生活を送るために昭和58年から実施している。

平成30年度

事業名	回数	延参加人数	担当館
生きがい広場	17回	547人	本館
けやき学級	22回	693人	貫井南分館
くりのみ学級	18回	532人	東分館
みどり・朴の樹学級	15回	497人	緑分館
はなみずき学級	15回	490人	貫井北分館

令和元年度

事業名	回数	延参加人数	担当館
生きがい広場	15回	522人	本館
けやき学級	20回	636人	貫井南分館
くりのみ学級	18回	569人	東分館
みどり・朴の樹学級	15回	538人	緑分館
はなみずき学級	15回	496人	貫井北分館



写真：朴の木学級



写真：はなみずき学級

② 子どもの人権講座 本館

ありのままの子育ち・子育て、子どもの権利条約、子どもの虐待、発達障害、特別支援教育、子どもの貧困、子どものエンパワーメントなどについて学び合うことを目的として平成19年から実施している。

年度	回数	内 容	延参加人数
平成30	5回	あなたは大切にされていますか？ ～私がわたしであるために～	150人

年度	回数	内 容	延参加人数
令和元年	5回	あなたは大切にされていますか？ ～私がわたしであるために～	172人

③ シルバー大学

本館では平成4年に開始されたシルバー大学が平成29年に高齢者学級から発展的に独立し、年齢を問わず成人一般を対象に、政治経済・国際問題・技術革新・伝統文化など今日のかつ専門的な課題を取り上げている。

平成30年度

事業名	回数	延参加人数	担当館
シルバー大学（前期）	8回	395人	本館
シルバー大学（後期）	8回	367人	本館

#### ④ 市民アカデミー

市民アカデミーは、国内及び国際の政治、経済、地域、社会。技術革新、芸術文化等々の今日的な課題を学ぶことにより知識と教養を深め、日々の生活に活力を得ることを目的にしている。

令和元年度

事業名	回数	延参加人数	担当館
市民アカデミー（春期）	8回	398人	本館
市民アカデミー（秋期）	8回	169人	本館

※ 令和元年より、シルバー大学から市民アカデミーに名称を変更した。

#### ⑤ 市民講座

地域課題や生活課題をより深く取り上げ、課題解決のきっかけとなるような自己学習・相互学習の場として昭和45年から実施している。

平成30年度

事業名	回数	延参加人数	担当館
夏こそ始める！冷え症改善のための温活講座	1回	33人	本館
多摩地域の「江戸名所」の挿絵を巡る	3回	54人	本館
家族で乗こえる「小1の壁」	2回	32人	本館
はげ（国分寺崖線）を学ぶ	3回	59人	貫井南分館
ニュース映画に見る昭和史パート5 高度経済成長の光と影 1961-1969年	4回	164人	東分館
多文化共生講座 イン ドネシアとタイ王国の 文化 ～学び交流し地域共生 を考える～	3回	71人	東分館
生活習慣病を防ぎ健康 長寿！ ～趣味も仕事も生涯現 役をめざして～	1回	29人	東分館
公民館の学びと役割に ついて考えて見ません か～今そしてこれからの デザインとは～	3回	42人	東分館
東京近郊の史跡めぐり ～お台場跡と石垣山一 夜城跡～	3回	46人	東分館

令和元年度

事業名	回数	延参加人数	担当館
夏休み！親子で考えるお金のしくみ	2回	35人	本館
「江戸名所図会」の挿絵の湧水を巡る	3回	56人	本館
冬を元気にのりきる温活のススメ	1回	29人	本館
親子で社会科見学	1回	19人	貫井南分館
家族でできる身近な防災を考えよう	2回	19人	貫井南分館
器具を使わず筋トレ	2回	13人	貫井南分館
平成をふりかえる ～映像から残された課題 を考える～	4回	42人	東分館
ゼロから学ぶSDGs ～地球を守るための17 の共通目標を考える～	4回	96人	東分館
地域課題・研究講座 小金井と水～水の恵みを 再考～	3回	39人	東分館

忍び寄るフェイクニュース ～その情報、信じられますか？～	2回	61人	東分館
スタジオジブリ映画が伝えたかったこと ～制作現場のスタッフたちの志～	1回	49人	緑分館
他人事ではない！ 誰にでも起こりうる貧困生活！	2回	36人	緑分館
クリスマスに聞く J-POP	1回	72人	緑分館
教育行政の役割	1回	63人	緑分館
異常気象を知る	4回	97人	貫井北分館
ペーパーフラワー講座	1回	16人	貫井北分館
介護者サポーター講座	4回	51人	貫井北分館
認知症カフェぬくいきた	24回	224人	貫井北分館

関東の名城を知る ～小机城跡と鉢形城跡～	3回	47人	東分館
多文化共生とは？ ～グローバル社会で外国人と共存するには～	2回	37人	東分館
多摩地域とスタジオジブリ ～映像の中でみる多摩地域～	2回	45人	緑分館
秋のランチ Box 作り&まちかどコンサート	1回	75人	緑分館
写真で見る小金井の今・昔 ～古きを訪ね、新しきを知る～	1回	24人	緑分館
認知症カフェぬくいきた	22回	360人	貫井北分館
介護者サポーター講座	5回	86人	貫井北分館
電子マネーや キャッシュレス決済を知る	4回	69人	貫井北分館

## ⑥ 成人大学講座

市民の学習要求の高まりに対応し、市内の大学など高等教育機関との連携協力を図りながら一般教養・専門知識・技術等に関する学習の場として平成2年から実施している。

### 平成30年度

事業名	回数	延参加人数	担当館
日本語の見かた考えかた	3回	125人	本館
今の農業はこうなっている！！	3回	83人	緑分館

### 令和元年度

事業名	回数	延参加人数	担当館
100年後の地球に引き継ぐ環境問題	3回	92人	本館
近未来の日本の技術	3回	87人	緑分館

⑦ 成人学校

日常生活に役立つ知識や技術の向上を図るとともに、文化創造を通じた相互交流と親睦を目的として昭和26年から実施している。

平成30年度

令和元年度

事業名	回数	延参加人数	担当館
菜園教室	45回	1,014人	本館
篆刻入門	4回	88人	本館
ペットと幸せに暮らすために	2回	29人	本館
江戸野菜に親しもう	42回	900人	貫井南分館
植物観察 御岳溪谷	1回	22人	貫井南分館
アコースティック・ギター弾き語り入門	8回	119人	貫井南分館
そば打ち体験	1回	22人	貫井南分館
親子で作る！ネイチャークラフト	1回	9人	貫井南分館
撮る、見る、見返す！ 家族で写真を120%楽しむ方法	2回	31人	貫井南分館
怪談の系譜～平安・江戸・明治～	3回	113人	東分館
親子対象講座 JAXA コズミックカレッジ 親子でバルーンロケットを飛ばそう	1回	32人	東分館
子育て世代対象講座 毎日がもっと輝くお洒落のヒント ～ファッション&インテリア～	2回	22人	東分館

事業名	回数	延参加人数	担当館
菜園教室	41回	843人	本館
ペットと幸せに暮らすために	5回	52人	本館
江戸野菜に親しもう	40回	802人	貫井南分館
書に親しむ	6回	63人	貫井南分館
押し花アートの世界へ	1回	15人	貫井南分館
そば打ち体験	1回	22人	貫井南分館
防災クッキング“ポリパン®” ～誰でも簡単！ ポリ袋でパン作り～	1回	20人	貫井南分館
編んで脳トレ！布ぞうり講座	1回	8人	貫井南分館
かるーい粘土でデコレーションPART1 ～子どもも大人も楽しく作れるお花のミニフレーム	1回	10人	貫井南分館
かるーい粘土でデコレーションPART2 ～子どもも大人も楽しく作れる貝殻モチーフのリース	1回	15人	貫井南分館
かるーい粘土でデコレーションPART3 ～子どもから大人まで楽しく作れるクリスマスリース	1回	12人	貫井南分館
作家たちが見た、1964年の東京オリンピック ～世紀の祭典はいかに描かれたか～	4回	103人	東分館

健康・体力づくり講座 はじめての方のウォーキング教室 ～理論と実技で健康効果を高めよう～	2回	36人	東分館
世界遺産を知る ～小笠原諸島と富岡製糸場～	3回	45人	東分館
やさしく学ぶアート講座 ～世界遺産・国立西洋美術館の建築とコレクション～	3回	110人	東分館
くちぶえファミリーコンサート ～レッスン付き～	1回	28人	東分館
共働夢農園「野菜作りコース」	47回	1,133人	緑分館
共働夢農園「親子コース」・ とうもろこし作り	6回	104人	緑分館
ハーブ教室～オーガニックで育てるハーブ～	4回	63人	緑分館
庭木剪定入門	6回	116人	緑分館
子育て・子育て支援 子育て世代の骨盤リセット	1回	12人	貫井北分館
子育て・子育て支援 コミュニケーション力アップ講座	3回	39人	貫井北分館
子育て・子育て支援 みんなマジシャン！親子で学ぶ手品教室2	1回	31人	貫井北分館
子育て・子育て支援 身だしなみのプロから学ぶ自分磨き講座	2回	25人	貫井北分館
子育て・子育て支援 ベビーマッサージ講座	2回	22人	貫井北分館

親子対象講座コスミックカレッジ ～星空案内人による宇宙のお話と工作会～	1回	14人	東分館
健康・交流づくり講座 走れる裸足感覚サンダル・ワラッチを作ろう！	1回	10人	東分館
マイクロバスで行くそば打ち体験！ ～本場群馬県邑楽町を訪ねて～	1回	17人	東分館
日本経済の今そしてこれから	2回	42人	東分館
日本の世界遺産を知る ～百舌鳥・古市古墳群～	1回	31人	東分館
ファミリーコンサート ～春を呼ぶギターとマンドリンの調べ～	1回	25人	東分館
子育て世代対象講座 可愛くて美味しい！ 子どもがよろこぶパンダの飾り巻き寿司レッスン	1回	14人	東分館
子育て世代対象講座 子育てママの、私をリセットするお灸	1回	14人	東分館
庭木剪定入門	6回	110人	緑分館
ハーブ教室～寄せ植えで楽しむキッチンハーブ～	4回	92人	緑分館
共働夢農園「野菜作りコース」	41回	837人	緑分館
共働夢農園「親子コース」・ とうもろこし作り	6回	115人	緑分館
きたまちセンターの花サポーター講座	9回	89人	貫井北分館

子育て・子育て支援 お父さんといっしょに遊ぼう！	1回	12人	貫井北分館
子育て・子育て支援 子育て世代のデコ和菓子講座	1回	11人	貫井北分館
健康づくり講座 歌って踊って楽しく健康づくり～気分はタカラジェンヌ～	3回	50人	貫井北分館
健康づくり講座 初めてのスポーツ吹矢	2回	22人	貫井北分館
健康づくり講座「体にやさしい発酵食品①てま味噌づくり」	1回	12人	貫井北分館
健康づくり講座「体にやさしい発酵食品②味噌玉づくりとランチ会」	1回	12人	貫井北分館
きたまちセンターの花づくり～寄せ植えとハーブ編～	14回	161人	貫井北分館
地域研究 太宰治ゆかりの地探訪	1回	18人	貫井北分館
地域研究 石碑から学ぶ小金井	1回	18人	貫井北分館
地域研究 朝顔のラセン作り発祥の地小金井	1回	21人	貫井北分館
地域研究 オリジナルご朱印帳を作って小金井神社を訪ねる	2回	16人	貫井北分館
インスタ映えするカフェごはん	2回	20人	貫井北分館



写真：貫井南分館、江戸野菜に親しもう

まだ間に合う！ラクビー観戦を楽しもう！ はじめてのラクビーワンポイント講座	1回	11人	貫井北分館
地域研究 見て聞いて知る無形民俗文化財—小金井ばやし講演会	1回	23人	貫井北分館
地域研究 オリジナルご朱印帳を作って小金井神社を訪ねる	2回	15人	貫井北分館
健康づくり講座 ウォーキングをはじめよう	8回	128人	貫井北分館
健康づくり講座 体にやさしい発酵食品①みそまる（即席みそ汁）づくりランチ会	1回	11人	貫井北分館
健康づくり講座 はじめてのスポーツ吹矢	2回	40人	貫井北分館
健康づくり講座 体にやさしい発酵食品②てま味噌づくり	1回	9人	貫井北分館
子ども・子育て支援 おうちでできるボディコンディショニング	1回	5人	貫井北分館
子ども・子育て支援 親子のコミュニケーション力アップ講座	2回	27人	貫井北分館
子ども・子育て支援 お父さんといっしょに遊ぼう！	1回	11人	貫井北分館
子ども・子育て支援 子育てパパの筋トレ講座	1回	8人	貫井北分館
子ども・子育て支援 1歳前後のベビーとママヨガ	3回	52人	貫井北分館
子ども・子育て支援 思春期の子どもとのコミュニケーション講座	2回	17人	貫井北分館

### ⑧ 男女共同参画講座

現在、女性が直面しているさまざまな問題の本質や背景を相互に学習し、社会参加のあり方を考え、その解決方向を共同学習を通じて学ぼうというもので昭和38年から婦人学級として出発し、平成4年に女性学級、平成17年に現行の通り名称変更した。平成25年度より市民がつくる自主講座<男女共同参画部門>としても実施している。

平成30年度

事業名	回数	延参加人数	担当館
家庭や社会だけじゃない「パラレルキャリア」な生き方～人生をより楽しむために～	4回	53人	貫井北分館
新しい生き方「パラレルキャリア」～自分の働き方改革～	2回	30人	貫井北分館
もう一度働きたい女性のためのステップアップ講座～再就職準備で素敵に自分磨き～	3回	24人	東分館



写真：新しい生き方「パラレルキャリア」

令和元年度

事業名	回数	延参加人数	担当館
きたまち保育サポーターによる保育	32回	100人	貫井北分館
第4回きたまち保育サポーター講座	6回	66人	貫井北分館
孫・ママ・パパとの関わり方を考える子育て講座	1回	9人	貫井北分館
歴史を作った女性たち～ココ・シャネルと津田梅子の生涯～	2回	58人	東分館

### ⑨ 連携事業

図書館と公民館の連携により、社会教育施設の活用促進、また、若者当事者が参画することによる主体的な学びを促し、生涯にわたって学びが循環する持続可能な地域づくりにつなげるため、実施している。

平成30年度

事業名	回数	延参加人数	担当館
多様性を尊重する社会づくりにむけて私たちにできること はじめてのLGBT LGBTを知るための基礎講座	1回	33人	貫井北分館

令和元年度

事業名	回数	延参加人数	担当館
図書館貫井北分館・公民館 貫井北分館連携事業 きたまちYAサポーター・きたまちYAひろば	6回	23人	貫井北分館
図書館貫井北分館・公民館 貫井北分館連携事業 こども哲学～こどもだって哲学者！日頃の「なぜ？」を話そう！～	4回	43人	貫井北分館



図書館貫井北分館分室・公民館貫井北分館連携事業 第17回ビブリバトル	1回	29人	貫井北分館
図書館貫井北分館分室・公民館貫井北分館連携事業 いのちの電話を知っていますか？ ～いのちの電話の成り立ちと実践を知る～	1回	16人	貫井北分館
図書館貫井北分館分室・公民館貫井北分館連携事業 活版印刷 きたまち堂 ～バレンタイン・カードとマイ・ノートづくり～	1回	15人	貫井北分館
図書館貫井北分館分室・公民館貫井北分館連携事業 第18回ビブリバトル	1回	16人	貫井北分館

#### ⑩ 陶芸入門

創作の基礎から窯出しまで陶芸の技術を学び、手づくりの魅力を味わってもらうこと、また陶芸を通して地域のつながりと仲間づくりを深めることを目的として昭和54年から実施している。

年度	回数	延参加人数	担当館
平成30	13回	169人	緑分館
令和元	13回	203人	

年度	回数	延参加人数	担当館
平成30	6回	95人	貫井北分館
令和元	6回	83人	

#### (4) 文化活動事業

##### ① 利用団体のつどい

利用団体が年に一度一堂に会し、互いの活動成果を発表し合い、交流を深め、地域のつながり確かめ合うことを目的として、各館毎に実行委員会方式により昭和56年から実施している。

平成30年度

事業名	期間	延参加人数
公民館本館まつり	5/19・20	約600人
貫井南センターまつり	5/12・13	約400人
東センターまつり	7/6～7/8	約1,400人
緑センターまつり	6/1～6/3	約1,000人
貫井北センターまつり	3/23・3/24	約800人

令和元年度

事業名	期間	延参加人数
公民館本館まつり	5/25・26	約600人
貫井南センターまつり	5/11・12	約400人
東センターまつり	7/5～7/7	約1,500人
緑センターまつり	5/31～6/2	約900人



写真：公民館本館まつり



写真：貫井南センターまつり



写真：東センターまつり



写真：緑センターまつり



写真：貫井北センターまつり

## ② 音楽鑑賞のつどい

様々な音楽文化に触れ、曲や演奏の美しさを味わい、豊かな感性を育てることを目的として平成元年から実施している。

### 貫井南分館

年度	件数	講座名	延参加人数
平成 30	1 回	スプリングコンサート (元NHK歌のおねえさんによる ファミリーコンサート)	50 人



写真：スプリングコンサート(元NHK歌のおねえさんによるファミリーコンサート)

### 緑分館

年度	件数	講座名	延参加人数
平成 30	1 回	オペラって楽しい！！Vol. 5 ～愛の妙薬～	70 人
令和元	1 回	オペラって楽しい！！Vol. 6 ～モーツァルトの世界・魔笛～	346 人



写真：オペラって楽しい！！Vol.5

## ③ 芸術のつどい

地域の芸術文化活動の支援、出展者間および出展者と来場者との交流の促進、公民館を拠点とした活動団体の増加のため平成26年から実施している。

### 貫井北分館

年度	回数	内容	延参加人数
平成 30	3 回	地域の芸術文化活動支援 はたおり教室	21 人
令和元	3 回	地域の芸術文化活動支援 はたおり教室 ～むかしからの高機をつか った伝統裂き織体験	17 人

(5) 市民がつくる自主講座

市民の主体的な学習活動を支援するため、公民館が講師謝礼負担や会場確保等を行い市民が企画・運営する事業として平成14年から実施している。（平成25年度からは男女共同参画部門を追加）

平成30年度

講座名	件数	延参加人数
ヴィルサイユの光と影 他7講座（一般部門）	8件	591人
聞かせてあなたのライフワーク バランス他5講座（男女共同参画部門）	6件	585人

令和元年度

講座名	件数	延参加人数
篆刻をはじめましょう 他8講座（一般部門）	9件	496人
子育て 仕事 保育園えらび 他6講座（男女共同参画部門）	7件	227人

(6) 視聴覚ライブラリー

① 市民映画会

市民映画会は、映画文化普及のため昭和48年から毎月1回実施し、上映の度に作品解説として機関誌『こがねい虫』を発行している。

市民映画上映作品

年度	回数	上映作品 （監督）	観客数		合計
			午前	午後	
平成30	6回	おじいさんと草原の 小学校他	356人	291人	647人
令和元	6回	わたしは、ダニエル・ブレイク他	229人	205人	434人

② 視聴覚ライブラリー

視聴覚ライブラリーは、各種の視聴覚機材・教材を保管し、貸し出すとともにその利用について助言・指導を行うことを目的として昭和43年から実施している。

視聴覚教材・機材貸出件数

平成30年度

		件数	教材・機材名	件数
16ミリフィルム	学校教育	0件	スクリーン	5件
	社会教育	0件	暗幕	1件
ビデオテープ	学校教育	0件	ワイアレスアンプ	5件
	社会教育	0件	データプロジェクター	29件
16ミリフィルム映写機		3件	実物投影機	3件
スライド映写機		0件	ビデオデッキ	0件
OHP		0件	DVDデッキ	7件
			ブルーレイデッキ	1件

令和元年度

教材・機材名		件数	教材・機材名	件数
16ミリフィルム	学校教育	0件	スクリーン	9件
	社会教育	1件	暗幕	2件
ビデオテープ	学校教育	0件	ワイアレスアンブ	6件
	社会教育	2件	データプロジェクター	19件
16ミリフィルム映写機		1件	実物投影機	0件
スライド映写機		0件	ビデオデッキ	5件
OHP		0件	DVDデッキ	5件
			ブルーレイデッキ	0件

※平成28年度報告分から外部への貸出しのみを記載することとした。

(7) ITサポートセンター こがねいパソコン相談室

ITボランティアの協力を得て、市民一人ひとりを対象にITに関する質問に答え、基礎能力の向上に資する目的で平成14年から実施している。

年度	延回数	延相談者数	ボランティア数
平成30年	467回	926人	997人
令和元年	84回	937人	9人

※ 令和元年度は、新型コロナウイルスの影響により、2月19日（水）で終了

## 5 公民館の利用状況

公民館の利用状況（利用者と件数の推移）

館名 \ 年度	平成 27 年度	※1 平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
本館	13,652 時間 3,029 件 46,524 人	8,731 時間 2,459 件 33,493 人	8,880 時間 2,496 件 34,277 人	8,815 時間 2,474 件 31,998 人	8,354 時間 2,390 件 29,753 人
本町分館	7,758 時間 2,162 件 28,661 人				
貫井南分館	14,442 時間 2,633 件 36,592 人	15,426 時間 2,921 件 41,151 人	15,242 時間 2,936 件 40,768 人	15,575 時間 3,011 件 41,550 人	14,498 時間 2,822 件 37,033 人
東分館	24,227 時間 4,770 件 63,972 人	25,648 時間 5,212 件 70,125 人	25,641 時間 5,391 件 72,017 人	24,637 時間 5,165 件 68,830 人	23,227 時間 4,779 件 63,693 人
緑分館	26,849 時間 5,482 件 82,777 人	28,363 時間 5,973 件 85,095 人	30,080 時間 6,785 件 88,584 人	29,058 時間 6,554 件 87,492 人	27,421 時間 6,170 件 83,153 人
貫井北分館	24,313 時間 5,917 件 60,584 人	26,876 時間 6,752 件 71,681 人	28,419 時間 6,862 件 72,309 人	29,791 時間 7,250 件 74,665 人	29,320 時間 7,134 件 72,440 人
合計	111,241 時間 23,993 件 319,110 人	105,044 時間 23,317 件 301,545 人	108,262 時間 24,470 件 307,955 人	107,876 時間 24,454 件 304,535 人	102,820 時間 23,295 件 286,072 人

※1 本館移転準備による休館 4 日、選挙による休館として本館 6 日、貫井南分館 5 日

## 6 公民館事業別予算

経費 \ 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度
公民館運営審議会等に要する経費	3,066 千円	3,097 千円	3,007 千円	3,067 千円	2,774 千円	2,916 千円
公民館事業に要する経費	85,491 千円	111,874 千円	125,201 千円	123,101 千円	123,351 千円	120,602 千円
公民館管理に要する経費	71,283 千円	70,204 千円	79,952 千円	79,942 千円	64,773 千円	70,006 千円

# 11 小金井市の教育年表

年 月	内 容	年 月	内 容
明治 2. 2	明治維新後の改革により品川県が置かれ、小金井諸村は、その管下に入る。	明治 37. 4	国定教科書全国の小学校で使用開始される。
2	府県に小学校設置を奨励	40. 3	小学校令改正により義務教育年限は6年、高等小学校が2年又は3年となる。
3. 9	平民の苗字が許可される。	大正 6. 10	多摩鉄道（現西武多摩川線）武蔵境―北多摩間開通、新小金井駅開設される。
12	品川県は、小金井地方に郷学校の設立を命じる。	11. 3	小金井村役場庁舎完成（現福祉会館地）
4. 7	文部省が設置される。	13. 12	小金井堤の「小金井桜」を内務大臣が史蹟名勝天然記念物保存法により「名勝」に指定する。
5. 1	廃藩置県の後、小金井諸村が神奈川県に編入される。	15. 1	武蔵小金井駅開業・バス路線開通（小金井―府中）
8	文部省、学制を公布し、学区制を定める。	昭和 3. 8	小金井郵便局開局（無集配局）
6. 6	金蔵院に3村（上・下小金井村・下小金井新田）で尚綱（しょうけい）学舎（第一小学校の前身）を開設、貫井に貫井学舎、梶野に永寿学舎が開設される。	4. 7	昭和病院（伝染病用）小平市に田無ほか8ヶ町村により設立
7. 4	小金井村金蔵院内に設置の尚綱学舎を小金井学校と改称する。	5. 3	浴恩館開館
12. 5	小金井学校、簡易小学校となる。	7	小金井村、昭和病院組合に加入
9	教育令の発布により、学区制が廃止される。	6. 2	青年団講習所開所（8年～12年・所長下村湖人）
11		11. 3	金井原古戦場が東京府から旧跡の指定を受ける。
13. 12	町村ごとに公立小学校が設置される。教育令の改正により、義務教育を3年と定める。	6	小金井に初の体育組織、軟式野球連盟発足
14. 5		12. 2	町制施行（世帯数 1784 人口 9481人）この年小金井カントリー倶楽部開場
16.	小学校教則綱領制定される。この年、小金井村最初の郵便事務開始される。	14. 11	府立機械工業学校（都立小金井工業高校の前身）地鎮祭を挙げる
19. 4	師範学校令、中学校令、小学校令公布される。	15. 4	官立東京高等蚕糸学校（東京農工大学工学部の前身）が現在地に移築
20. 5		16. 4	小金井尋常高等小学校が小金井国民学校と改称される。
22. 4	小学校教科書検定規則が制定される。町村制施行、小金井村、貫井村、小金井新田、関野新田、梶野新田、十ヶ新田の6ヶ村により小金井村をつくる。	8	光華殿（現在の江戸東京たてもの園ビクターセンター）を皇居前広場から大緑地（現在の都立小金井公園）に移築することに決定
4	甲武鉄道（中央線の前身）、新宿―立川間開通	18. 7	東京都制施行
23. 10	教育勅語発布される。	21. 4	小金井国民学校中部分教場（第二小学校の前身）が開校
25. 7	小金井尋常小学校の修業年限を4か年と定める。	21. 5	東京第二師範学校が池袋から貫井北町に移転
11	小金井村貫井に貫井分教場（旧貫井学校）、梶野に梶野分教場（旧日進学校）を置く。	5	東宮仮寓所と学習院中等科が小金井大緑地内に移転し授業開始
26. 4	小金井村を含む三多摩地方が神奈川県から東京府に編入される。	22. 4	教育基本法、学校教育法公布により新学制による小学校、新制中学校が発足する。小金井国民学校を町立小金井小学校と改称する。
31. 1	小学校に学校医を置く。		
34. 5	小金井尋常小学校を小金井尋常高等小学校と改め、場所を金蔵院から現在の第一小学校の地に移転		
36. 4	小学校国定教科書制度が成立		

年 月	内 容	年 月	内 容
昭和 22. 5	小金井中学校開校（第一中学校の前身） 東京サレジオ学園が現在地に移転	昭 33. 10	市制施行（世帯数 9771、人口 40124人）
9	小金井国民学校中部分教場が小金井第二 小学校として独立する。	11	社会福祉協議会発足
23. 3	自治体警察小金井警察署開設	34. 4	東小学校開校
3	北多摩中央消防組合（小金井・国分寺・小 平）が発足	4	東京学芸大学附属小金井小学校開校
4	都立機械工業学校を都立小金井新制高等 学校と改称	9	小金井電車が完成
5	戦後初の体育組織、小金井陸上競技協会が 発足	35. 4	北多摩中央消防組合を解消し、東京消防庁 北多摩中央消防署が発足
7	教育委員会法公布される。	10	世界連邦平和都市宣言
9	都立小金井保育園開設	36. 3	小金井市商工会発足
11	小金井町体育協会発足	4	小金井市誌編さん委員会発足
24. 5	東京学芸大学が設置され、3 師範学校と青 年師範学校が学芸大学に包括され、東京第 二師範学校は同大学の小金井分校となる。	6	都立小金井児童学園が開園
11	第 1 回町民運動会開催される。	8	小金井電報電話局開設、ダイヤル式通話と なる。
12	小金井大緑地の東宮仮寓所焼失	37. 2	小金井郷土芸能保存会が結成される。
26. 4	町立小金井第一小学校東部分校が小金井 第三小学校として独立	3	交通安全都市宣言
4	町立小金井第一小学校貫井分校が小金井 第四小学校として独立	38. 4	中央大学附属小金井高等学校が現在地に 移転
11	第 1 回文化祭開催（第 22 回まで開催）され る。	7	山梨県北巨摩郡高根町に市立清里山荘が 完成
11	東京学芸大学附属小金井中学校が現在地 に移転	39. 2	小金井市社会福祉協議会が法人組織とな る。
27. 10	小金井町役場庁舎完成（現在地）移転	3	東京学芸大学、現在地に統合を完了
10	第 1 回小金井町教育委員会委員選挙実施 される。	4	東中学校開校
28. 5	小金井町公民館開館（旧役場庁舎）	4	前原小学校開校
7	公民館図書室として図書館活動が始まる。	4	上水公園運動施設（野球場 2 面）完成
29. 1	都立小金井公園（もと大緑地）開園	4	市で小学校 1 ～ 3 年の教科書無償配布を 実施
1	武蔵野郷土館（もと光華殿）、小金井公園 内に開設	6	法政大学工学部が現在地に移転
1	第 1 回成人式開催される。	8	都立小金井保健所開設
4	小金井第二中学校を開校	8	都立武蔵野公園開園
5	町史編さん始まる。	8	市立図書館開館（一 小木造校舎 2 階）
30. 5	小金井町体育会設立	9	中央線東小金井駅が営業開始
7	青年学級を小金井第二中学校と公民館に 開設	40. 4	東小金井貨物駅が営業開始
8	町民音楽の夕べ開催される。	6	二枚橋老人福祉センター完成
31. 6	地教法公布、教育委員が任命制となる。	8	第 1 回市民スポーツテスト実施
10	任命制教育委員 5 名発令	11	武蔵野地区の電話がダイヤル即時通話に なる。
10	教育委員会事務局役場へ移る（現市役所 内）。	41. 4	本町小学校開校
11	小金井町周回駅伝始まる。	5	上水公園運動施設テニスコート、バレーコ ートが完成
32. 4	学芸大学附属幼稚園開園	5	本町児童館開館
33. 4	都立小金井高等学校が都立小金井工業高 等学校と改称される。	42. 8	婦人会館開館 この年、臨海学校にかえて海の移動教室 を実施
		43. 6	くりのみ保育園開園
		6	市福祉会館が完成し、公民館が併設され る。
		11	
		44. 4	小金井郵便局完成、集配局として業務開始
		4	緑小学校開校 「社会教育だより」の発行を始める。

年 月	内 容	年 月	内 容
44. 4	学校開放制度で遊び場、スポーツ開放始まる。	9. 3	教育委員会事務局中町三丁目16番6号へ移る。
45. 6	わかたけ保育園開園	8	教育委員会会議録を公開
7	「小金井市文化財保護に関する条例」制定 文化財専門委員制度発足	60. 3	郷土に素材を求めた道徳自作資料作成
46. 4	教育相談所設置	3	市誌編さん資料「小金井における鴨下製糸 工場の発生と衰退」を発行
7	公民館、上水公園運動施設の使用料無料化	3	開放型的小金井第一中学校屋内運動場増 改築
10	「小金井市誌 I 歴史編」発行	4	中学校に外国人英語指導助手制度を導入 する。
11	都立小金井保育園が小金井市に移管され、 市立小金井保育園となる。	61. 4	人権尊重教育推進委員会発足
47. 3	第1回文化財展開催	4	小学校1学年40人学級開始
4	緑中学校開校	6	中学校の親向けガイド「健やかな成長を願 って」を発行
48. 1	公民館本町分館開館	7	図書館本館夜間開館開始
2	市文化財の指定(薬師如来立像他3件)を 始める。	11	小金井第四小学校に郷土資料室を開設
4	南小学校開校	62. 3	「小金井村郷土史(昭和9年発行)」復刻 版発行
4	さくら保育園開園	3	小金井第二中学校屋内運動場増改築
5	貫井南センターが公民館、児童館を併設し て開館	4	小中学校コンピュータ導入検討委員会発 足
9	青少年センター(旧浴恩館)開館	4	移動図書館(あおぞら号)開始
10	第1回市民まつり開催	6	教師の小中学校交流会開始
	市の木…けやき 市の花…桜に決定	7	図書館にコンピュータを導入
50. 2	東京都公民館研究大会(事務局市)	7	単位PTAに家庭教育学級委託
4	けやき保育園開園	9	地域に根ざした教育推進で各学校講演会 開催
4	市営西部テニスコート開設	63. 1	教育相談所移設(本町五丁目2番)
10	市立図書館を建設、開館する。	1	市内小中連合技術家庭科展覧会開催
51. 4	財団法人、小金井市体育協会が発足	2	西之台会館図書室開館
7	ピノキオ幼児園開園	3	稗倉、青少年センターへ移築復元
10	高齢者事業団発足	7	「教育だより」の発行を始める。
52. 4	南中学校開校	10	小金井市社会教育委員の会議提言
8	青少年海外派遣補助事業開始(平成15年度 廃止)	10	公民館東分館開館
8	小金井市社会教育委員の会議答申	10	図書館東分室開館
53. 4	国際基督教大学高等学校開校	10	教職員研修センター開館(東小学校内)
10	三宅村と友好都市盟約を締結	平成. 1	小金井第三小学校屋内運動場改築
11	第31回優良公民館文部大臣表彰	4	市総合体育館開館
54. 4	小金井市市民憲章が制定される。	4	社会体育課が体育課となる。
10	滄浪泉園開園	4	中学校1学年40人学級開始
55. 4	都立小金井北高等学校開校	5	小学校国際理解教育事業「ハローフレンズ 教室」始まる。
6	都立野川公園開園	6	図書館協議会発足
56. 4	南中テニスコート夜間開放始まる。	2. 9	ゆとり宣言
7	児童生徒非行防止対策協議会を設置	10	小金井第二小学校校舎改修
57. 4	小金井市非核平和都市宣言	11	成人大学講座始まる。
58. 3	「小金井の教育」の発行を始める。	3. 2	教育委員会事務局組織二部制(3.2.2. 施行)となる。
4	高齢者学級開設		
8	上之原会館が開館		



年 月	内 容	年 月	内 容
3. 3	東小学校屋内運動場増改築	10. 3	子ども緊急避難所開設
4	小・中学校全学年40人学級実施完了	7	生涯学習推進懇談会答申
4	市テニスコート場開設	10	小金井市情報公開条例施行
5	清里少年自然の家開館	10	市制40周年記念事業「ボッセル市中学生招聘」
8	玉川上水が国の史跡に指定	11. 3	小金井市社会教育委員の会議答申
10	公民館緑分館開館	9	「小金井市の学校給食」50周年記念誌発刊
10	図書館緑分室開館	10	東小学校コンピュータ教室設置 (コンピュータ寄贈)
10	青少年センター閉館	12. 3	図書館協議会答申並びに提言
4. 3	東中学校屋内運動場増改築	5	緑中学校校舎改修工事着手
4	小金井第二中学校と南中学校の通学区一部変更	9	教室相談所、もくせい教室移転(本町六丁目5番)
6	「学校週5日制に伴う学校外活動検討委員会」を庁内に設置	13. 1	「四市行政連絡協議会」の図書館相互利用実施要綱制定(三鷹市、武蔵野市、西東京市、小金井市)
8	「学校週5日制に伴う学校外活動対策協議会」を設置	4	学校教育部と社会教育部を教育部に統合、社会教育課が生涯学習課となる。(13. 4. 1施行)
8	小金井市中学生海外派遣事業開始(平成18年度廃止)	9	全小学校にコンピュータ教室設置完了
9	小金井市立小・中学校「学校週5日制」始まる。	14. 4	学校完全週5日制実施
9	全中学校にコンピュータ教育設置完了	4	学校完全週5日制下における新教育課程の全面実施
10	小金井第一小学校校舎改修	4	図書館本館祝日開館開始
10	「学校施設活用検討委員会」を設置	5	前原小学校耐震補強工事着手
5. 3	「公民館40年の歩み」発刊	7	学校外活動推進協議会発足
6	文化財センター開館	10	生涯学習推進組織委員会発足
7	小金井市社会教育委員の会議提言	15. 3	小金井市学校教育推進検討委員会答申
10	南中学校校舎改修	6	小金井第一小学校耐震補強工事着手
10	移動図書館車「あおぞら号」再開	15. 6	本町小学校耐震補強工事着手
10	市障害者福祉センターの開館	7	小金井市男女平等基本条例制定
6. 2	教育委員会事務局前原三丁目41番15号へ移る。	7	小金井市環境基本条例制定
4	「もくせい教室」の開設	7	まなびあい出前講座発足
4	「言語障害学級」の開設	10	市制45周年 市の鳥(かわせみ)と市の虫(かんたん)を制定
7	「5市行政連絡協議会」における図書館相互利用開始	10	緑中学校合唱部 NHK全国学校音楽コンクール・全国コンクール金賞受賞
10	市総合体育館の使用料改正に伴い「回数使用券方式」の導入	10	公民館創立50周年記念シンポジウム(記録誌発行)
10	市栗山公園健康運動センターの開館	16. 2	社会教育関係団体補助金(見直し)について提言
7. 2	生涯学習推進検討委員会発足	2	「総合型地域スポーツクラブ」の在り方について提言
3	「青少年委員30年史」発刊	2	中村研一記念美術館市へ寄贈
4	学校週5日制月2回実施	3	「小金井市生涯学習推進計画」策定
5	小金井第二中学校校舎改修工事着手	3	「小金井市子ども読書活動推進計画」策定
8	小金井市社会教育委員の会議提言		
8. 3	小金井第一小学校屋内運動場、プール改築		
8. 5	生涯学習推進懇談会発足		
12	男女平等都市宣言の制定		
9. 5	小金井第二中学校耐震補強工事着手		
9	小学校施設管理の機械化移行		

年 月	内 容	年 月	内 容
4	小金井市市民参加条例制定	20. 1	「小金井市教育委員会教育目標」策定
9	小金井市立小学校宿泊体験学習充実検討委員会答申	4	教育三法改正
12	小金井第一小学校合唱部、緑中学校合唱部等による新潟中越地震被災者・三宅島帰島支援コンサート開催	4	「小金井市教育委員会の基本方針」策定
17. 5	図書館「インターネット・サービス」開始	4	南小学校「くじらぐも学級」、小金井第一中学校「I組」開設
5	小金井第一小学校耐震補強工事（その2）着手	4	東中学校・緑中学校・南中学校の学校給食調理業務委託化（市立中学校全校調理業務委託化）
5	小金井第二小学校耐震補強工事着手	5	東小学校耐震補強工事着手
5	緑小学校耐震補強工事着手	5	南小学校耐震補強工事着手
6	図書館協議会答申	5	小金井第一中学校耐震補強工事（その2）着手
9	小学校の巡回警備開始	5	東中学校耐震補強工事着手
12	障害者青年学級「みんなの会」30周年記念誌発行	9	小金井第二小学校校庭芝生化
18. 3	体育館・公民館・福祉会館で公共施設予約システム導入	10	市制施行50周年記念事業実施
	小金井市文化財保護条例制定	21. 3	全小中学校耐震補強工事完了
5	東京国際スリーデーマーチ小金井公園で開催		「第2次小金井市生涯学習推進計画」策定
5	小金井第二小学校耐震補強工事（その2）着手	4	市総合体育館、市栗山公園健康運動センターに指定管理者制度導入
5	小金井第四小学校耐震補強工事着手	5	「第2次小金井市子ども読書活動推進計画」策定
5	緑小学校耐震補強工事（その2）着手	7	図書館協議会答申
9	小金井第一中学校・小金井第二中学校の学校給食調理業務民間委託化	10	府中市と図書館相互利用を開始
9	市立清里山荘に指定管理者制度導入	22. 3	玉川上水・小金井桜整備活用計画を策定
12	第44回東京都公民館研究大会（事務局市）	9	本町小学校校庭芝生化
19. 3	「小金井市における特別支援教育のあり方について」答申	11	国民読書年記念事業実施
	市史編さん委員会条例制定	23. 2	定点撮影資料データ化実施
4	学校教育部と生涯学習部の2部制実施	4	東小学校「ひまわり学級」開設
4	市立小学校第5学年・第6学年での英語活動実施	9	小金井第四小学校校庭芝生化
4	教育相談所 土曜日の相談業務開始	9	東中学校校庭芝生化
5	小金井第三小学校耐震補強工事着手	12	公民館貫井南分館にエレベーター設置
5	小金井第一中学校耐震補強工事（その1）着手	24. 3	都営住宅併設館本町分館耐震補強工事実施
5	南中学校耐震補強工事着手	6	第59回全日本勤労者弓道選手権大会（スポーツ祭東京2013弓道競技リハーサル大会）
5	図書館別館を開館	8	東日本大震災復興支援第50回男子・第42回女子全日本教員バスケットボール選手権大会（第68回国民体育大会バスケットボール競技リハーサル大会）
8	「多摩島しょ子ども体験塾」実施	9	前原小学校校庭芝生化
9	「2007青少年のための科学の祭典 with サイエンスライブショー」実施	10	「いじめのないまち小金井」宣言
9	市立小中学校へ防犯カメラを設置	25. 4	小金井第一中学校「I組」「G組」開設
10	第60回優良公民館文部科学大臣表彰受賞	4	緑中学校「I組」開設
		7	図書館協議会「（仮称）貫井北町地域センター図書館分室の運営体制について」答申

年 月	内 容	年 月	内 容
8	小金井市生涯学習支援センター機能の実現に向けて（提言）		図書館協議会から「小金井市の図書館の在り方について」答申
9	小金井第二小学校、小金井第四小学校、前原小学校、緑小学校、南小学校の学校給食調理業務委託化	9	全小中学校の非構造部材改修工事完了
9	第68回国民体育大会弓道競技会	11	図書館運営方針を改訂
10	第68回国民体育大会バスケットボール競技会	31.3	旧中村研一邸2棟（主屋・茶室）が国登録有形文化財（建造物）に登録
26.4	図書館貫井北分室開設	令和元.7	図書館本館階段室内壁等改修工事完了
4	公民館貫井北分館開設		READY STEADY TOKYO 自転車競技（ロード）開催（東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会テストイベント）
4	公民館貫井北分館及び図書館貫井北分室の事業をNPO法人市民の図書館・公民館こがねいに委託	9	団体貸出用パックの本格運用開始
6	南中学校校庭芝生化	11～3	総合体育館大規模改修工事（第Ⅰ期）の実施
12	図書館協議会「図書館サービスの見直しについて」答申	2.3	図書館本館外壁等改修工事完了
27.3	移動図書館（あおぞら号）運行終了 玉川上水人道橋（平右衛門橋）開通	3	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、公民館全館休館
8	公民館東分館及び図書館東分室の事業をNPO法人市民の図書館・公民館こがねいに委託 東京農工大学府中図書館との相互協力開始		
10	新教育委員会制度へ移行		
28.3	「第3次小金井市子ども読書活動推進計画」策定 「第2次明日の小金井教育プラン」策定 「第3次小金井市生涯学習推進計画」策定		
4	公民館本館を本町分館へ仮移転 本町分館を休止		
10	図書館本館利用者用インターネット閲覧サービス開始		
10	国立国会図書館デジタル化資料送信サービス開始 図書館協議会に「『小金井市の図書館の在り方について』」諮問		
29.3	図書館本館防災照明等改修工事完了 「小金井市スポーツ推進計画」策定		
7	公民館運営審議会「公民館中長期計画の策定について」答申		
9～12	図書館本館空調設備改修工事のため休館 別館に臨時窓口を開設		
30.1	図書館本館空調設備改修工事のため休館 別館に臨時窓口を開設		
3	図書館本館空調設備改修工事終了 図書館本館開館		

## いじめのないまち 小金井宣言

未来を担う子どもたちが、笑顔とともに元気で、毎日を過ごすことは、みんなの願いです。ここに、「いじめのないまち 小金井」を宣言します。

- 1 こころをつなぎ「いじめゼロ」をめざします。
- 1 がまんをしないで相談します、相談させます。
- 1 ねばりづよく、かけがえのない命を守ります。
- 1 いじめをしない、させない勇気を持ちます。

小金井市は、学校等、市民の皆さんとも力を合わせ、子どもたちが温かい人間関係を築き、夢と希望を持って健やかに育つことができるように、全力で取り組むことを誓います。

平成24年10月1日 小金井市  
小金井市教育委員会

---

### 令和2年版 小金井の教育

発行 令和3年2月  
編集・発行 小金井市教育委員会  
東京都小金井市前原町3-41-15  
☎ 042-387-9872

---

古紙を配合しています

平成15年10月 公募により  
市の鳥・市の虫を制定

市の鳥



【川蝉・翡翠】カワセミ  
(ブッポウソウ目カワセミ科)

市の虫



【邯鄲】カンタン (バッタ目カンタン科)



●市の木/ケヤキ



●市の花/サクラ

昭和48年10月 公募により  
市の木・市の花を制定